

事業評価シート一覧

番号-所属	番号-通番	事業名	担当課名
660010	1	休日の部活動の段階的な地域移行(休日の地域クラブ活動)推進事業	ぎふ魅力づくり推進政策課
660020	1	GIFUナイトビュー事業(岐阜パノラマ夜景)	観光コンベンション課
660020	2	GIFUナイトビュー事業(灯り物語)	観光コンベンション課
660020	3	岐阜市まちなか博士育成事業	観光コンベンション課
660020	4	岐阜市まちなか観光推進事業	観光コンベンション課
660020	5	富山市との観光物産交流事業	観光コンベンション課
660020	6	戦国観光推進事業	観光コンベンション課
660020	7	信長公居城連携協議会	観光コンベンション課
660020	8	岐阜市観光宣伝隊	観光コンベンション課
660020	9	シェアサイクル事業	観光コンベンション課
660020	10	フォトツーリズム推進事業	観光コンベンション課
660020	11	ロケツーリズム推進事業	観光コンベンション課
660020	12	クアオルトぎふの魅力づくり	観光コンベンション課
660020	13	笑いと感動のまちづくり事業	観光コンベンション課
660020	14	岐阜観光コンベンション協会運営負担金(コンベンション推進)	観光コンベンション課
660020	15	岐阜観光コンベンション協会運営負担金(観光振興)	観光コンベンション課
660020	16	岐阜・下呂・郡上観光宣伝協議会	観光コンベンション課
660020	17	東海地区外国人観光客誘致促進協議会	観光コンベンション課
660020	18	外国人観光客誘致促進事業	観光コンベンション課
660020	19	境川ふれあい夏祭り花火大会負担金	観光コンベンション課
660020	20	長良川流域観光推進協議会	観光コンベンション課
660020	21	日本観光振興協会負担金	観光コンベンション課
660020	22	岐阜県観光連盟負担金	観光コンベンション課
660020	23	ぎふ長良川花火大会負担金	観光コンベンション課
660020	24	岐阜駅構内岐阜市観光案内所运营管理	観光コンベンション課

番号-所属	番号-通番	事業名	担当課名
660020	25	道の駅柳津交流センター運営管理	観光コンベンション課
660020	26	長良川うかいミュージアム(岐阜市長良川鵜飼伝承館)運営管理	観光コンベンション課
660020	27	長良川国際会議場運営管理	観光コンベンション課
660020	28	じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)運営管理	観光コンベンション課
660020	29	岐阜城運営管理	観光コンベンション課
660020	30	岐阜城天守閣耐震化事業	観光コンベンション課
660040	1	鵜飼観覧船事業	鵜飼観覧船事務所
660040	2	船員互助会助成金	鵜飼観覧船事務所
660040	3	船員組合補助金	鵜飼観覧船事務所
660040	4	観覧船建造事業	鵜飼観覧船事務所
660040	5	ウミウ捕獲技術保存協議会	鵜飼観覧船事務所
660040	6	長良川遊覧船事業	鵜飼観覧船事務所
660050	1	アートライブ・ウエルカム！アーティスト	文化芸術課
660050	2	岐阜市民文化祭(市民芸術祭)	文化芸術課
660050	3	岐阜市民文化祭(美術展覧会)	文化芸術課
660050	4	岐阜市民文化祭(市民文芸祭)	文化芸術課
660050	5	長良川薪能	文化芸術課
660050	6	さんぽde野外ライブ	文化芸術課
660050	7	岐阜文化再発見～民話ライブ～	文化芸術課
660050	8	こよみのよぶね	文化芸術課
660050	9	各種芸術文化団体への補助金	文化芸術課
660050	10	文化会館施設整備	文化芸術課
660050	11	文化会館指定管理	文化芸術課
660050	12	「清流の国ぎふ」文化祭2024開催準備事業	文化芸術課
660060	1	岐阜市多文化交流推進事業	国際課
660060	2	外国人のための日本語講座事業補助金	国際課

番号-所属	番号-通番	事業名	担当課名
660070	1	岐阜市スポーツ協会事業補助金	市民スポーツ課
660070	2	市民総合スポーツ大会	市民スポーツ課
660070	3	各種スポーツ大会派遣補助事業	市民スポーツ課
660070	4	新春ぎふシティマラソン大会	市民スポーツ課
660070	5	「岐阜スүүプス」連携推進	市民スポーツ課
660070	6	岐阜市スポーツ少年団事業補助金	市民スポーツ課
660070	7	ハイレベル指導者派遣事業	市民スポーツ課
660070	8	岐阜市スポーツ推進委員支援事業補助金	市民スポーツ課
660070	9	岐阜市スポーツ指導員支援事業補助金	市民スポーツ課
660070	10	「FC岐阜」連携推進	市民スポーツ課
660070	11	地域体育振興事業補助金	市民スポーツ課
660070	12	強化指定選手事業	市民スポーツ課
660070	13	学校体育施設開放事業	市民スポーツ課
660070	14	岐阜市レクリエーション普及事業補助金	市民スポーツ課
660070	15	屋外体育施設管理	市民スポーツ課
660070	16	屋内体育施設管理	市民スポーツ課
660070	17	岐阜市公共施設予約システム事業	市民スポーツ課
660070	18	屋外体育施設管理	市民スポーツ課
660070	19	スポーツスタートアップ事業	市民スポーツ課
660070	20	トップアスリート次世代継承事業	市民スポーツ課
660070	21	ぎふアクションスポーツフェスティバル事業	市民スポーツ課
660070	22	岐阜県民スポーツ大会派遣補助金	市民スポーツ課
660070	23	高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン	市民スポーツ課
660070	24	市民スポーツ・レクリエーション活動推進事業	市民スポーツ課
660080	1	文化財説明板設置・修繕事業	文化財保護課
660080	2	史跡加納城跡整備事業	文化財保護課

番号-所属	番号-通番	事業名	担当課名
660080	3	史跡岐阜城跡整備事業	文化財保護課
660080	4	信長学フォーラム	文化財保護課
660080	5	信長塾	文化財保護課
660080	6	長良川鵜飼文化未来継承事業	文化財保護課
660080	7	日本遺産推進事業	文化財保護課
660080	8	岐阜市郷土の宝顕彰事業補助金	文化財保護課
660080	9	岐阜市文化財未来継承事業補助金	文化財保護課
660090	1	歴史博物館運営管理	歴史博物館
660090	2	歴史博物館総合展示室リニューアル事業	歴史博物館
660090	3	歴史博物館特別展	歴史博物館
660090	4	歴史博物館教育普及	歴史博物館
660090	5	加藤栄三・東一記念美術館運営管理	歴史博物館
660090	6	加藤栄三・東一記念美術館教育普及	歴史博物館

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660010 001

【1.基本情報】

事業名	休日の部活動の段階的な地域移行(休日の地域クラブ活動)推進事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	ぎふ魅力づくり推進政策課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	市	
開始・終了年度	令和5年度	～	年度	根拠法令・関連計画	運動部活動の地域移行に関する検討会議提言 文化部活動の地域移行に関する検討会議提言	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		休日の学校部活動が地域移行した地域クラブ活動において、活動を充実させ、持続可能な地域クラブ活動の形成を目指すことで部活動の地域移行を推進するため。
内容 (手段・手法など)		・休日の地域クラブ活動に対し、地域の専門的な実技指導力を有する者を配置する。 ・岐阜市立中学校における部活動の地域移行に関する懇談会を開催し、関係者による意見交換を行う。
事業 の 対 象	何を	地域クラブ社会人指導者
	誰に	各地域クラブ
	どのくらい	135人配置する
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	20,930	650
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	0	0	20,930	650

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	9,882
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	報償費	0	0	9,566
	役務費	0	0	236
	旅費	0	0	78
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	0	9,882

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	0	0	30,812

【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	104
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	7,809
計(F)	0	0	7,913

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	0	0	22,899

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	—	—	中学生生徒・保護者・教職員
受益者数	0	0	14,500
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	1,579

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	社会人指導者派遣数		単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	-	-	135	
実績値	-	-	135	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	地域クラブの数		単位	団体
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	-	-	106	
実績値	-	-	106	
達成状況	—	—	○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	令和7年度末までに休日の学校部活動を全て地域クラブに移行する必要があるため、指導者の配置等は必要である。
		市立中学校の部活動が地域移行した地域クラブであるため、市で行う必要がある。
		教育委員会で類似の事業を行っているが、教育委員会は部活動を対象とし、当課は地域クラブを対象にしているため、統合することは難しい。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	休日の学校部活動を地域クラブに移行することで、教員が休日出勤する必要がなくなり、教員の負担が軽減され、十分な効果が認められる。
		学校部活動の教育的意義を引き継いだ活動であるため、市が行うことが望ましいが、他都市では民間事業者が行う事例もあるため、調査研究を行う。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	教員が休日の部活動のために出勤する必要がなくなり、負担が軽減され、十分な効果が得られた。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	市立中学校の生徒、誰もがスポーツや文化活動に触れる機会を充実させることに繋がり、公平性の面から適正であるといえる。しかしながら、他都市において受益者負担を導入する動きもあるため、動向を注視していく。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	教育委員会所管の部活動においては、部活動指導員及び社会人指導者を配置し、地域クラブ活動においても社会人指導者を配置することで、部活動及び地域クラブを持続可能な活動にしており、現状維持が望ましい。 また、令和6年度に設置した岐阜市中学校部活動地域移行検討委員会において、今後の事業の方向性を話し合っている。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660020 001

【1.基本情報】

事業名	GIFUナイトビュー事業(岐阜パノラマ夜景)					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	委託(民間)	補助等の種類		その他負担金	実施主体	GIFUナイトビュー事業実行委員会
開始・終了年度	平成 13 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	—	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		本市の貴重な観光資源である金華山・長良川を活用した事業の実施により、全国から幅広く観光客の誘致を図り、地域経済の活性化に寄与する
内容 (手段・手法など)		岐阜城パノラマ夜景(岐阜城)
事業 の 対 象	何を	イベント
	誰に	市民・観光客
	どのくらい	計70日間程度
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	969	30	954	30	966	30
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	969	30	954	30	966	30

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		2,600	2,630	3,000
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	2,600	2,630	3,000
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		2,600	2,630	3,000

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		3,569	3,584	3,966

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		3,569	3,584	3,966

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	市民、観光客	市民、観光客	市民、観光客
受益者数	1,837	9,689	14,022
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,943	370	283

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	イベント開催数	単位	日
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	70	70	96
実績値	33	77	95

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	イベント参加者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	20,000	12,000	12,000
実績値	1,837	9,689	14,022
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	岐阜城パノラマ夜景は平成13年から開始し、コロナ禍以外は例年1万人以上が来場する岐阜市の夜の観光スポットとして定着している。 市の新たな観光資源の創出、岐阜城なども含めた観光資源への観光客誘致を目的としており、観光関係団体と共に、市も事業費を負担すべき。 類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	岐阜城パノラマ夜景は、岐阜城及び金華山ロープウェイの協力のもと実施しており、実行委員会においてはチラシ作成や広告費用のみ負担している。 現在も実行委員会形式で実施しており、観光関連事業者や地元自治会の協力を得ながら進めている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	岐阜城パノラマ夜景は、各メディアに毎年紹介されるなど岐阜市のイベントとして定着しており、例年一定数の観光客が訪れている。 毎年、来場促進イベントやノベルティグッズの検討を行い、夜景への誘客効果を高める工夫を行っている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	岐阜城パノラマ夜景の開催期間において、ロープウェイは運賃、岐阜城は入館料を徴収しており、受益者負担の面で公平性は確保できている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	岐阜城パノラマ夜景は、山上に岐阜城を有する岐阜市ならではのイベントであり、また集客実績のあるナイトタイムコンテンツとして今後も継続していくべきと考える。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660020 002

【1.基本情報】

事業名	GIFUナイトビュー事業(灯り物語)					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	補助等	補助等の種類		その他負担金	実施主体	GIFUナイトビュー事業実行委員会
開始・終了年度	令和	2	年度～		年度	根拠法令・関連計画
						—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		本市の貴重な観光資源である金華山・長良川を活用した事業を実施することにより、全国から幅広く観光客の誘致を図り、地域の活性化に寄与する。	
内容 (手段・手法など)		ぎふ灯り物語の開催	
事業 の 対 象	何を	ぎふ灯り物語の開催	
	誰に	市民・観光客	
	どのくらい	1回	
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		周遊企画、入場料金の変更など	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,261	70	2,226	70	2,254	70
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,261	70	2,226	70	2,254	70

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		12,467	12,000	12,000
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	12,467	12,000	12,000
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		12,467	12,000	12,000

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		14,728	14,226	14,254

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		10,000	6,000	6,000
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	3,407	2,536
計(F)		10,000	9,407	8,536

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		4,728	4,819	5,718

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	市民・観光客	市民・観光客	市民・観光客
受益者数	4,284	9,134	7,016
受益者負担額(千円)	1,767	5,482	0
受益者負担率(%)	12.0%	38.5%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,104	528	815

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	イベント開催数	単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	1	1	1
実績値	1	1	1

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	イベント参加者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	6,000	10,000	11,000
実績値	4,284	9,134	7,016
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	鵜飼のオフシーズンにおける魅力的なナイトタイムエコノミーの創出を 図ることを目的に、伝統的工芸品を活用した「岐阜市ならではの」の灯り イベントを実施することで、岐阜市への誘客促進に繋げる。 市の新たな観光資源の創出や観光客誘致を目的としており、観光関 係団体と共に、市も事業費を負担すべきである。 鵜飼のオフシーズンにおける魅力的なナイトタイムエコノミーの創出を 図ることが目的であり、類似事業は存在しない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	観光業界の閑散期である冬の時期に、9日間で7千人以上の集客があ り、効率的である。 実行委員会形式で実施しており、観光関連事業者や地元自治会の協 力を得ながら進めている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	岐阜和傘・岐阜提灯といった国の伝統的工芸品を活用したライトアップ イベントは本市でしか実施できないという強みがあり、本市への誘客促 進に有効である。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	令和3年度に導入した受益者負担の実績や反響などを基に、入場料 の増額など適正な負担について検討を継続している。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	拡充	鵜飼閉幕期間中に楽しめる、本市ならではのイベントとして入場者数も 増加していることから、継続すべきと考える。 持続可能な実施方法については、引き続き検討を重ねていく。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660020 003

【1.基本情報】

事業名	岐阜市まちなか博士育成事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成 17 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	—	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		市民・事業者・行政の3者が協働で市内の歴史、素材を活用したまちの活性化を図る	
内容 (手段・手法など)		岐阜市まちなか博士認定試験の実施 平成29年度については信長公450プロジェクトを記念した「信長検定」を実施	
事業 の 対 象	何を	岐阜市の歴史・地理・文化等の知識、教養の習得	
	誰に	市民及び観光事業従事者(申込者数:約250人)	
	どのくらい	年一回認定試験の実施	
令和5年度からの変 更点 (継続事業の場合)		—	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	969	30	954	30	966	30
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	969	30	954	30	966	30

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		399	844	224
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	印刷製本費	113	559	85
	報酬	132	137	100
	使用料	139	95	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		399	844	224

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		1,368	1,798	1,190

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		1,368	1,798	1,190

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	試験申込者数	試験申込者数	試験申込者数
受益者数	227	276	225
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	6,026	6,514	5,289

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	試験開催回数	単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	1	1	1
実績値	1	1	1

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	受験者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	210	210	210
実績値	181	209	178
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統合はできるか 【1】【2】から	中	観光事業者の新規採用者など毎年200名近い受験者数があり、本市 のホスピタリティ向上を図るニーズに合っている。 岐阜市の歴史・地理・文化等の知識、教養の習得を目的とするため、 国や県での実施は難しい。また営利目的では受験者数が減少する恐 れがあり、民間事業者が主催での実施は難しい。 類似の事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	必要最低限の予算内で実施している中で、受験者が観光事業従事者 など200名近くあることから、費用対効果は高い。 専門的知識や市民目線を持つ有識者の協力のもと、必要最低限の予 算内で実施している。民間活用することにより、予算増に繋がる恐れが ある。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	事業を実施することで、本市の魅力の説明できる人材が育成される。ま た、観光事業（宿泊施設、観光施設等）の従事者が受験することで、得 た知識が観光客へ発信されるなど、本市の観光PRに寄与している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	受益者負担がないことで、受験に係る制限は少なく、申込者数が確保 できるメリットがある反面、未受験者が発生しやすいというデメリットがあ る。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状 維持	これまで、のべ約5,800人と多くの方が受験申込し、合格者がまちな か案内人になるなど、まちなか歩き・まちなか観光の推進や市民の知 識向上にも大いに貢献している。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660020 004

【1.基本情報】

事業名	岐阜市まちなか観光推進事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	直営	補助等の種類		その他	実施主体	岐阜市
開始・終了年度	平成 19 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	—	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		岐阜市を訪れた観光客に対しおもてなしの心を持って接することで、観光客の満足度を上げ、岐阜市のイメージアップに繋げるとともに、リピーターを確保する。
内容 (手段・手法など)		岐阜市まちなか案内人の会の活動の充実と組織体制の更なる強化を支援し、岐阜公園周辺・川原町界限などにおける観光案内拡充を図ることで、案内体制の整備・強化とホスピタリティの向上を目指す。
事業 の 対 象	何を	岐阜公園周辺・川原町界限を中心とした観光案内
	誰に	岐阜市を訪れる観光客
	どのくらい	毎日
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,615	50	1,590	50	1,610	50
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,615	50	1,590	50	1,610	50

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		100	222	159
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	報償費	25	136	72
	消耗品費	75	85	87
	食糧費	0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		100	222	159

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		1,715	1,812	1,769

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		1,715	1,812	1,769

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	観光客	観光客	観光客
受益者数	859	5,591	6,203
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,997	324	285

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	岐阜市まちなか案内人の会員数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	50	50	50
実績値	53	53	63

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	案内件数	単位	件
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	100	100	100
実績値	44	93	128
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	観光ガイドに関する問い合わせが多く、本事業は観光客の満足度向上のためにも必要である。 岐阜市まちなか案内人の会は、岐阜市まちなか博士認定試験合格者の有志で組織されており、市内の観光案内を通じて本市の観光振興に寄与するボランティア団体であることから、市の支援が必要である。 ボランティアでガイドを行う類似団体は市内に無い。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	必要最低限の予算内で会の支援を行う中で、「歴史探訪登山」「歴史探訪まち歩き」は定員を超える申し込みがあることから、費用対効果は高い。 岐阜市まちなか案内人の会は、岐阜市まちなか博士認定試験合格者の有志で組織されており、まちなか博士育成事業と連携した観光ボランティアガイドとして効率的な仕組みを実現している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	本事業により、岐阜市まちなか博士認定試験の合格者に活動の場を提供するとともに、本市の魅力をより詳細に説明できる人材が育成され、本市の観光振興に大いに寄与している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	全ての観光客が受益対象者になり得るため公平である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	岐阜市まちなか案内人の会は観光ボランティアガイドとして一定数の需要があり、平成26年度からはボランティア団体として独立している。よって、会の活動支援の方法について、他団体との関係も含めて検討が必要。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660020 005

【1.基本情報】

事業名	富山市との観光物産交流事業							
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名		観光コンベンション課		
実施方法	補助等		補助等の種類		加入団体負担金	実施主体	岐阜市・富山市観光物産交流推進協議会	
開始・終了年度	平成	20	年度～	令和	5	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		当事業は、平成19年12月26日に富山市と締結した「岐阜市・富山市都市間交流協定」を受けて実施するもので、両市の連携・交流を一層充実させ、圏域を越えた新しい時代の都市間交流を行いながら広域交流の推進、広域連携の推進を図っていく。	
内容 (手段・手法など)		岐阜市、富山市が合同で観光物産展事業、交流人口拡大事業等を実施する。	
事業 の 対 象	何を	岐阜市、富山市合同の観光物産展及び誘客推進事業	
	誰に	市民、企業等	
	どのくらい	岐阜市・富山市相互の観光物産展をそれぞれ2回ずつ開催。鵜飼や遊覧船など各種料金割引事業の実施。両市の交通動線周辺地域における観光物産展を1回開催。	
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,230	100	3,180	100	3,220	100
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,230	100	3,180	100	3,220	100

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		663	1,067	990
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	663	1,067	990
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		663	1,067	990

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		3,893	4,247	4,210

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		3,893	4,247	4,210

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	富山市民	富山市民	富山市民
受益者数	53	75	90
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	73,453	56,627	46,778

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	物産展、割引利用の実施件数	単位	件
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	30	50	50
実績値	56	78	93

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	岐阜市観光HPアクセス数	単位	件
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	120,000	120,000	120,000
実績値	368,229	538,151	919,633
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	両市のPRと相互交流の推進を図っていくため、15年間交流事業を続けた。 協議会事業として、民間の協力も得ながら各種事業を実施している。 観光物産展開催等に伴い、各種手続きが必要であるため、事務に関しては市が取りまとめる必要がある。 「岐阜市・富山市都市間交流協定」を受けて観光の視点から行っている事業はこれ以外にない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	低	交流人口拡大事業として、富山市民を対象に岐阜市の鵜飼乗船料割引助成事業を実施しているが、利用者があまり多くなかったため、令和元年度より観光施設利用料割引助成、また、令和3年度より宿泊料割引助成を開始したところである。観光展は、各回1万人を超える人がイベントに訪れている。 両市の協議会で実施しており、観光関連事業者の協力も得ながら進めている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	両市で、イベント等に合わせて観光物産展を開催しており好評を得ている。交流人口拡大事業についても年々利用者が増加している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	富山市民を対象に岐阜市の鵜飼乗船料割引助成事業、観光施設割引助成事業及び宿泊料割引助成事業を実施。また、岐阜市民を対象に富山市の乗り物利用料割引、宿泊施設割引事業及び飲食代金割引助成事業を実施しており、両市の交流人口拡大を促進している。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	廃止	岐阜市・富山市観光物産交流推進協議会は、両市の相互交流及び連携により、商業、観光、物産等の振興及び活性化を図ることを目的としており、その目的が達成されたため、事業を取りやめる。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660020 006

【1.基本情報】

事業名	戦国観光推進事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	委託(民間)	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	令和 3 年度	～	令和 5 年度	根拠法令・関連計画	—	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		2020年NHK大河ドラマ「麒麟がくる」を通じて高めた本市の「戦国武将ゆかりのまち」としてのブランドイメージを継承しながら、2023年大河ドラマ「どうする家康」で再び岐阜市が取り上げられるであろうことを踏まえ、関連市町と連携を図り、本市の戦国ゆかりのコンテンツの魅力を発信し、観光誘客に繋げる。			
内容 (手段・手法など)		NHK大河ドラマ「どうする家康」を活用したPRを実施 「信長公ゆかりの地」岐阜市と「家康公ゆかりの地」岡崎市でDOする(学ぶ、遊ぶ、食べる)をコンセプトとした、スマートフォンを使って参加する周遊ラリーを開催 大都市圏及び近郊で開催された戦国、武将などをテーマにした観光展に出展しPRを実施			
事業 の 対 象	何を	大河ドラマ「どうする家康」相互協力リーフレット作製 「岐阜からDOする！信長公家康公満喫ラリー」の開催 戦国関係イベントの出展			
	誰に	観光客及び市民			
	どのくらい	70,000部 1回 4回			
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		・大河ドラマ「どうする家康」相互協力リーフレット作製 ・「岐阜からDOする！信長公家康公満喫ラリー」の開催			

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,938	60	3,816	120	3,864	120
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,938	60	3,816	120	3,864	120

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		3,072	6,157	7,714
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	委託料	3,072	3,333	6,189
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		3,072	6,157	7,714

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	5,010	9,973	11,578

【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	1,500	1,488	3,085
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	1,500	1,488	3,085

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	3,510	8,485	8,493

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	参加者	来場者 (NHK大河ドラマ「どうする家康」展)	参加者 (ラリー)
受益者数	30,895	17,913	2,040
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	114	474	4,163

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	戦国、武将などをテーマにした観光展への出展	単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	-	4	4
実績値	-	4	4

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	岐阜市観光HPアクセス数	単位	件
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	120,000	120,000	120,000
実績値	368,229	538,151	919,633
達成状況	○ (達成)	○ (達成)	○ (達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	大河ドラマ「麒麟がくる」の放送及び大河ドラマ館の設置を通じて高めた本市の「戦国武将ゆかりのまち」としてのブランドイメージを活用し、魅力発信を行い誘客に繋げる必要がある。 戦国観光を通して本市への観光客誘致を目的としており、市が担う必要がある。 類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	「岐阜からDOする！信長公家康公満喫ラリー」には2,040人の参加があり、費用対効果は高い。 県内他市町村等と情報共有や意見交換を行いながら進めている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	戦国には多くのファンがあり、各種戦国関係のドラマ等で全国的な盛り上がりを見せることもあるため、本市の戦国観光のコンテンツをアピールすることは、本市に対する誘客効果が高い。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	全ての方が受益対象者であり公平である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	廃止	昨年度、大河ドラマ「どうする家康」の放映が終わり、一定の役割は終わったことから、予算執行を伴わない各種イベント出展等へと切り替えることとしたため。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号	0660020	007
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	信長公居城連携協議会				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課	
実施方法	補助等	補助等の種類	加入団体負担金	実施主体	信長公居城連携協議会
開始・終了年度	平成 22 年度 ~	令和 5 年度	根拠法令・関連計画	—	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		戦国武将「織田信長公」が居城した岐阜市、近江八幡市、小牧市、清須市の4市が連携し、広域観光の路を確立するとともに信長公の居城をキーワードとした共同PRによる観光客誘致を行い、観光振興を図る。
内容 (手段・手法など)		本市への観光客誘致宣伝活動
事業 の 対 象	何を	岐阜市をはじめとする四市の観光資源
	誰に	観光客となりうるすべての人々
	どのくらい	スタンプラリーの実施(年間)
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		「どうする家康 浜松 大雅ドラマ館」周辺でのPRブース出展

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,230	100	3,180	100	3,220	100
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,230	100	3,180	100	3,220	100

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		399	356	244
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	399	356	244
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		399	356	244

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		3,629	3,536	3,464

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		3,629	3,536	3,464

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	岐阜市、近江八幡市、小牧市、清須市	岐阜市、近江八幡市、小牧市、清須市	岐阜市、近江八幡市、小牧市、清須市
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	スタンプリー参加者	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	400	700	700
実績値	1,078	1,163	1,369

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	岐阜市観光HPアクセス数	単位	件
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	120,000	120,000	120,000
実績値	368,229	538,151	919,633
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	歴史的な共通テーマを持った誘客事業は、昨今、観光客の関心も高く、効果的な誘客を図るのに必要であったことから、14年間事業を実施した。 450プロジェクト後の岐阜市を「信長公命名のまち岐阜市」としてブランド発信していくうえで、居城連携は必要である。 類似事業はない
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	総事業費がそれほど大きくないため、少ない予算でいかに大きな効果を生むことができるかが課題。また、岐阜市（40万円）と他3市（20万円）とで負担金額が異なる点も検討が必要。 居城というテーマに合った関係4市が広域連携を組み、効率的な事業を実施している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	岐阜市単独の誘客活動では得られなかった、広域的な誘客を図ることができた。また「にっぽん城まつり2024」に共同出展を行い、お城ファンの方々にターゲットを絞った効果的なPRを行うことができた。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	低	4市を訪れた観光客は、入場料など、それぞれの施設で受益者負担を担っている。一方で、3市の負担金割合の面では負担金額に差があり、検討の必要がある。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	廃止	信長公居城連携協議会は、「織田信長公」が居城した4市が連携し、広域観光の路を確立するとともに信長公の居城をキーワードとした共同PRによる観光客誘致を行い、観光振興を図ることを目的としており、事業の一定の目的を達成したため、協議会を発展的に解散し、事業を取りやめる。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660020 008

【1.基本情報】

事業名	岐阜市観光宣伝隊					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成 29 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	岐阜市観光宣伝隊事業要領	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		信長公＝岐阜市という都市ブランドの定着を図るとともに、魅力ある観光資源を広く国内外にPRし、本市の観光の振興及びイメージアップを図る。
内容 (手段・手法など)		ぎふ魅力づくり推進部長を隊長とする「岐阜市観光宣伝隊」を組織し、要件を満たしたものを観光宣伝隊員として任命 活動にあたり、実費弁償を支給し活動を支援
事業 の 対 象	何を	市内外での観光プロモーションでのPR活動
	誰に	観光展等への訪問者
	どのくらい	年間4回程度
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	646	20	636	20	644	20
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	646	20	636	20	644	20

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		85	113	255
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	報償費	85	113	255
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		85	113	255

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		731	749	899

【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	731	749	899

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	観光宣伝隊登録団体	観光宣伝隊登録団体	観光宣伝隊登録団体
受益者数	8	8	8
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	91,375	93,625	112,375

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	団体認定数	単位	団体
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	8	8	8
実績値	8	8	8

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	プロモーションへの参加回数	単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	10	10	10
実績値	2	4	9
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	市内観光資源の知名度を向上するにあたり、来場者の注目を浴びることができる素材が必要。 市全体の魅力を発信するため市が行う必要がある。 観光PRを行うにあたり外部団体と共同して市観光PRを実施する事業はほかにはない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	交通実費程度を支払う条件で協力をいただいております、事業に対する費用負担は適正である。 PR活動を行う団体を市が立ち上げるには、人的資源や事業費用が別途必要となり、既存の団体を活用することが効率的と考える。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	派遣した観光展において、パンフレットの配布や写真撮影などの活動を積極的に行っており、知名度向上などPRに効果があると考えます。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	市の観光PRの協力を希望する団体が、実費のみで参加しており、別途出演料は発生していないため、適正と考える。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	観光展において様々な展示内容を企画実施するにあたり、職員のみでの出展では来場者への効果的なPRや広報が難しい場合もあるため、より目を引く衣装やPRを行うことができる団体を活用することで広くPRすることができる。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660020 009

【1.基本情報】

事業名	シェアサイクル事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	委託(民間)	補助等の種類		実施主体	ecobike(株)	
開始・終了年度	令和	4	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市シェアサイクル事業実施要綱

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		本市の観光振興に資する二次交通手段を確立させ、本市へのさらなる誘客を図るため、また観光客のみならず、市民も利用しやすい日常の足として利用促進を図る。
内容 (手段・手法など)		市内に設置するサイクルポート間で自由に貸出・返却が可能なシェアサイクルを導入。また、短時間から利用できる料金設定により、市民にとっても一層利用しやすい環境を整える。アプリからの乗車手続きとキャッシュレス決済への対応により、利用者の利便性向上を図る。
事業 の 対 象	何を	シェアサイクル(シェアサイクルポート)
	誰に	市民及び観光客
	どのくらい	JR岐阜駅などの24ヶ所のポートで、合計130台の自転車を貸し出す。
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	2,862	90	2,898	90
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	2,862	90	2,898	90

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	18,645	18,558
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	委託	0	18,213	18,213
	手数料	0	194	275
	工事	0	68	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	18,645	18,558

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	21,507	21,456

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	9,276	9,235
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	5,256	6,482
計(F)		0	14,532	15,717

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	6,975	5,739

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	—	シェアサイクル利用者	シェアサイクル利用者
受益者数	-	6,356	8,576
受益者負担額(千円)	-	4,502	6,000
受益者負担率(%)	0.0%	20.9%	28.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	1,097	669

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	シェアサイクルポート		単位	箇所
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	-	24	25	
実績値	-	24	25	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	シェアサイクル利用件数		単位	件
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	-	-	27,000	
実績値	-	15,650	22,672	
達成状況	—	—	×（未達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	本市の観光資源が駐車場の少ない市中心部に集積する中、自転車などの2次交通の整備は重要である。 民間事業者による事例はあるが、ホテルによる宿泊者限定利用や、店舗でのスポーツバイク貸出などその利用は限定的である。多くの観光客に利用してもらうための広域的な整備は市が行うべき。 類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	令和5年度の事業費に対する収益率は約35％であり、決して高くない。 民間を活用し、ポートの無人化やキャッシュレス決済を令和4年度から導入した。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	本市の観光振興に資する二次交通手段として、観光客の周遊促進に寄与している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	無人化を図り24時間の利用を可能としたため、利用にあたってはスマートフォンが必須となっている。観光案内所においてスマートフォンの貸出を行っている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	令和4年度から、これまでのレンタサイクル事業から形態転換し、シェアサイクル事業を開始した。新たな料金設定やキャッシュレス決済、24時間利用可能な無人ポートを導入し、利用者の利便性向上を図った。今後も、新たなサイクルポートを設置するなど利便性の向上に努め、利用者の増加を図る。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号	0660020	010
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	フォトツーリズム推進事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	委託(民間)	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	令和	2	年度～		年度	根拠法令・関連計画
						—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		本事業は新しい観光の在り方の一つである「写真撮影」を切り口とした「フォトツーリズム」の魅力を発掘・発信し、本市への誘客を図る。		
内容 (手段・手法など)		・「月と岐阜城」の写真撮影体験(「月と岐阜城」スマートフォン撮影ツアー)の商品化 ・フォトスポットをまとめたWEBサイトの運営及び写真展等によるPRを通じた誘客促進		
事業 の 対 象	何を	宿泊助成を伴う「月と岐阜城」スマートフォン撮影ツアーのモニタリング実施 WEBサイトの更新による情報発信 写真展出展による情報発信		
	誰に	20～30代の観光客		
	どのくらい	6回	5コンテンツ	1回
令和5年度からの変 更点 (継続事業の場合)		宿泊助成を伴う「月と岐阜城」スマートフォン撮影ツアーのモニタリング実施。		

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,553	110	3,498	110	3,542	110
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,553	110	3,498	110	3,542	110

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		4,820	5,844	4,538
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	委託料	4,800	5,665	4,304
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		4,820	5,844	4,538

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	8,373	9,342	8,080

【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	2,400	2,833	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	2,400	2,833	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	5,973	6,509	8,080

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	WEBサイト閲覧者	WEBサイト閲覧者	WEBサイト閲覧者
受益者数	17,238	14,351	11,841
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	347	454	682

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	WEBサイト更新回数	単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	2	2	3
実績値	2	2	3

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	ぎふ観光フォトコンテスト応募作品数（（公財）岐阜観光コンベンション協会主催）	単位	点
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	400	400	400
実績値	390	311	303
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	月と岐阜城を重ねて撮影する「月と岐阜城」の写真が、SNSや各種メディアから注目を集める等「フォトツーリズム」に対するニーズが増加しているため、魅力発信を行い誘客に繋げる必要がある。 本市の新たな観光資源の発掘及び情報発信を通して本市への観光客誘致を目的としており、市が担う必要がある。 類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	WEBサイトには、令和3年度以降年間1万回以上のページビューがあり費用対効果は高い。 観光関連事業者等と情報共有や意見交換を行いながら進めている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	写真撮影を通じた情報発信を行うことで、本市でしか体験できないコンテンツをビジュアル的に訴えることができるため、本市に対する誘客効果は高い。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	全ての方が受益対象者であり公平である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	本事業は効率性、有効性、公平性が高いため、現状維持で継続していく必要がある。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660020 011

【1.基本情報】

事業名	ロケツーリズム推進事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	直営	補助等の種類		その他	実施主体	岐阜市
開始・終了年度	令和 2 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	—	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		本市へのロケ誘致を積極的に進め、ロケツーリズム(映画、ドラマ、CM、アニメ等のロケ地を巡る観光の形態)による観光誘客につなげる。
内容 (手段・手法など)		ロケの受け入れ態勢の構築、ロケの誘致、ロケ支援を実施。
事業 の 対 象	何を	ロケ支援
	誰に	映像制作会社
	どのくらい	令和2年度:3件、令和3年度:31件、令和4年度:30件、令和5年度:58件
令和5年度からの変 更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	13,082	405	13,229	416	13,395	416
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	13,082	405	13,229	416	13,395	416

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		550	1,573	1,521
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	545	613	554
	補助金	0	685	687
	その他(消耗品、旅費など)	5	275	280
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		550	1,573	1,521

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		13,632	14,802	14,916

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		13,632	14,802	14,916

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	岐阜市の主要観光地点入込客数	岐阜市の主要観光地点入込客数	岐阜市の主要観光地点入込客数
受益者数	3,736,881	5,926,099	7,213,903
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	4	2	2

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	ロケツーリズム協議会でのロケ営業回数	単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	2	2	4
実績値	2	2	4

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	ロケ支援回数	単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	30	30	40
実績値	31	30	58
達成状況	○(達成)	○(達成)	○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	本事業は観光客を誘致するための手段であり、岐阜市の魅力を発掘・ 発信のために必要な事業である。 本市の新たな観光資源の発掘及び情報発信を通して本市への観光 客誘致を図ることを目的としており、市が担う必要がある。 ロケ誘致及びロケ支援を包括的に行う事業は専門性が高く、また独自の 業務であり、他事業との統廃合はできない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	ロケ誘致及びロケ支援を行うことで、映像制作者の情報発信に加わる ことができ、市独自の宣伝広告をすることなく、岐阜市のPRを行うことが 可能となるため、費用対効果は高い。 ロケ誘致及びロケ支援を行う組織は、市の他にない。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	ロケを誘致することと合わせて、エキストラ募集やロケ候補地の募集な ど、ロケの受け入れ体制の強化を図っており、令和5年度は、本市のロ ケ受け入れは58件となった。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	全ての方が受益者であり公平である。 また情報発信を受けての本市への旅行は、受益者負担となるため適 正である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状 維持	評価項目は全て「高」のため、現状維持で継続していく必要がある。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660020 012

【1.基本情報】

事業名	クアオルトぎふの魅力づくり					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	令和 3 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	—	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		クアオルト健康ウォーキングと本市の歴史資産、温泉等を組み合わせたヘルスツーリズムなど「クアオルト(＝健康保養地)ぎふ」の魅力づくりを推進する。
内容 (手段・手法など)		観光、企業、保険者、医療機関、健康関連事業者等とともに官民一体となってクアオルト健康ウォーキングを推進することにより、民間における滞在プランの開発を促し、市民の健康増進に加え、本市への交流人口の増加を図る。
事業 の 対 象	何を	岐阜市クアオルト健康ウォーキング
	誰に	岐阜市を訪れる観光客
	どのくらい	月3回程度
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	969	30	954	30	966	30
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	969	30	954	30	966	30

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		211	370	538
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	報酬	135	180	105
	報償費	73	73	64
	需用費	2	1	1
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		211	370	538

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		1,180	1,324	1,504

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		36	37	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		36	37	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		1,144	1,287	1,504

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	プラン参加者	プラン参加者	プラン参加者
受益者数	73	30	52
受益者負担額(千円)	281	98	203
受益者負担率(%)	23.8%	7.4%	13.5%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	15,671	42,900	28,923

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	旅行プラン商品数		単位	種類
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	1	1	1	
実績値	3	2	2	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	プラン参加者数		単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	100	100	100	
実績値	73	30	52	
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	ヘルスツーリズム等、観光ニーズの多様化は今後ますます進むものと 予想され、本事業の推進は観光客の満足度向上のためにも必要である。
		市民の健康増進のほか、本市の新たな観光資源の発掘及び情報発信 を通して本市への観光客誘致を目的としており、市が担う必要がある。
		類似の事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	「健康経営」に取り組む企業からの問い合わせや参加が増加しており、 ヘルスツーリズム実践のまちとしての認知度向上に寄与する事業である ことから費用対効果は高い。
		観光、企業、保険者、医療機関、観光関連事業者等からなる協議会を 組織しており、情報共有や意見交換を行いながら事業を進めている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	ヘルスツーリズムに関する取り組みは本事業のみであり、本市の観光 振興に大いに寄与している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	市内外を問わず受益対象者になり得るため公平である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状 維持	本事業は効率性、有効性、公平性が高いため、現状維持で継続して いく必要がある。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660020 013

【1.基本情報】

事業名	笑いと感動のまちづくり事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	補助等	補助等の種類		その他負担金	実施主体	岐阜市笑いと感動のまちづくり実行委員会
開始・終了年度	平成 15 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	—	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		落語の祖・安楽庵策伝ゆかりの岐阜市を拠り所に、日本一元気な県都・岐阜市の実現を目指す。「笑いと感動」を切り口として、まちづくりの観点から、町の活性化や人の健康、及び地域への愛情や誇りを育むことを目的として、本事業を推進する。			
内容 (手段・手法など)		全日本学生落語選手権「策伝大賞」 有料落語会 落語出前授業 親子教室イベント 共催事業 等			
事業 の 対 象	何を	全日本学生落語選手権「策伝大賞」 有料落語会 落語出前授業 親子教室イベント 共催事業 等			
	誰に	落語関係者約150人、観客約1,200人 観客約1,400人 市内小学4年生約210人 市内小学生等約60人 観客等190人			
	どのくらい	選手権開催(2日間) 有料落語会開催(1日間) 落語出前講座(年3回) 親子教室イベント(年1回) 共催事業(年2回)			
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		第21回全日本学生落語選手権「策伝大賞」の開催(予選2月16日、決勝2月17日)、有料落語会の開催(2月18日)、小学4年生対象落語出前講座(3校6月21、28、29日)、親子教室イベント(8月19日)、共催事業(1月8日、2月17日)			

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	4,199	130	4,134	130	4,186	130
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	4,199	130	4,134	130	4,186	130

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		12,824	12,981	12,251
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	12,824	12,981	12,251
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		12,824	12,981	12,251

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	17,023	17,115	16,437

【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	17,023	17,115	16,437

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	策伝大賞参加学生、観覧者	策伝大賞参加学生、観覧者	策伝大賞参加学生、観覧者
受益者数	583	1,216	1,329
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	29,199	14,075	12,368

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	策伝大賞予選会の出場者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	100	150	150
実績値	106	144	159

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	策伝大賞予選会、決勝大会の観覧者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	400	1,000	1,000
実績値	477	1,072	1,170
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統合はできるか 【1】【2】から	中	策伝大賞決勝大会観覧者アンケートの結果から、事業に対する感想として「良い」とされる意見が9割ほどあり、自由記述を見ても継続を望む市民は多く、ニーズに合っている。 イベント自体が市のPRに直結しているとともに、事業の拠り所である安楽庵策伝の所縁は岐阜市にあり、市で行うべき。 全国的にみて少ないアマチュア学生落語大会の中でこの規模で数十年続いている大会は他にはなく、全国の落語プレーヤーからみて唯一無二の存在となっている。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	桂文枝師匠、立川志の輔師匠の知名度を考えると、本事業の予算内で実施できることは落語を通じた縁があってこそであり、費用対効果は高い。 落語愛好者や落語に理解のある団体、落語にゆかりのある市内団体と連携することで、効率的に事業を実施している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	笑いと感動を切り口として続けられてきた事業として、着実に認知度は高まっている。令和3年度、令和4年度は、予選会を無観客、決勝大会の観覧者数制限した場合でも目標値を達成し、決勝大会の観覧希望者数は常に定員を超える申し込みがある。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	策伝大賞の学生エントリー、観覧希望者、各イベントの周知は制限なく広く実施されており、有料落語会は実行委員会で適正な観覧料を徴収している。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	令和5年度のアンケートの結果からも事業の継続を望む声が多く、全国から本市に集う学生に、本市の魅力をPRすることができる貴重な事業であるため、継続実施していくべき。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660020 014

【1.基本情報】

事業名	岐阜観光コンベンション協会運営負担金(コンベンション推進)					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	補助等	補助等の種類		その他負担金	実施主体	(公財)岐阜観光コンベンション協会
開始・終了年度	平成 17 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	—	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		岐阜市及び周辺の産業、技術及び文化、歴史などの資源を活用し、コンベンションの誘致、開催支援、及び国際会議観光都市岐阜の広報、宣伝等の事業を行うことにより、岐阜市におけるコンベンション並びに観光の振興を図り、もって国際相互理解の増進並びに地域経済の活性化及び文化の向上に資すること
内容 (手段・手法など)		・コンベンション振興のための広報、宣伝、誘致及び受入 ・コンベンションの開催に係る支援 ・観光及びコンベンションに係る環境基盤
事業 の 対象	何を	本市のコンベンション関連情報
	誰に	コンベンション主催者となり得るすべての人々
	どのくらい	定期的なコンベンション主催者に対する誘致活動、国内観光客誘致、海外旅行客誘致など
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	32	1	32	1
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	32	1	32	1	32	1

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		20,802	19,813	20,727
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	20,802	19,813	20,727
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		20,802	19,813	20,727

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		20,834	19,845	20,759

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		20,834	19,845	20,759

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	岐阜市の主要観光地点入込客数	岐阜市の主要観光地点入込客数	岐阜市の主要観光地点入込客数
受益者数	3,736,881	5,926,099	7,213,903
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	3	3

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	公益目的事業 コンベンション開催助成	単位	千円
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	10,000	10,000	10,000
実績値	920	2,140	6,436

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	市内コンベンション開催件数	単位	件
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	300	300	300
実績値	118	203	255
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	本市においてコンベンション推進は重要な施策であり、市や民間事業者が協働して進めるべき観光施策の実働部隊として協会が機能している。 協会の財源として賛助会費、商工会議所負担金などだけでは運営困難であり、協会設置の目的から市も担う必要がある。 市内にコンベンション推進を担う類似団体はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	効率的な事業展開により、200件以上のコンベンション誘致につながっている。 市負担金だけでなく、商工会議所負担金、賛助会員会費等により運営されている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	協会の事業運営により、多くのコンベンション開催実績につながっている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	地域やターゲット、時期など幅広く情報発信することが本市へのコンベンション誘致につながっており、情報を享受した個々からの受益者負担はなじまない。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	岐阜市の観光・コンベンション振興を担う唯一の組織であり、今後も引き続き負担金による支援を継続すべきである。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660020 015

【1.基本情報】

事業名	岐阜観光コンベンション協会運営負担金(観光振興)					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	補助等	補助等の種類		その他補助金	実施主体	(公財)岐阜観光コンベンション協会
開始・終了年度	平成 17 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	—	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		岐阜市及び周辺の産業、技術及び文化、歴史などの資源を活用し、コンベンションの誘致、開催支援、及び国際会議観光都市岐阜の広報、宣伝等の事業を行うことにより、岐阜市におけるコンベンション並びに観光の振興を図り、もって国際相互理解の増進並びに地域経済の活性化及び文化の向上に資すること
内容 (手段・手法など)		・観光及びコンベンションに係る環境基盤の整備 ・観光振興のための広報、宣伝、誘致及び受入 ・岐阜市の運営する観覧船事業の支援
事業 の 対象	何を	本市の観光情報
	誰に	旅行会社等観光関係事業者および観光客
	どのくらい	各種商談会参加、宿泊キャンペーン開催、観光展出演
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	32	1	32	1
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	32	1	32	1	32	1

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		37,144	37,787	36,694
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	37,144	37,787	36,694
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		37,144	37,787	36,694

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		37,176	37,819	36,726

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		37,176	37,819	36,726

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	岐阜市の主要観光地点入込客数	岐阜市の主要観光地点入込客数	岐阜市の主要観光地点入込客数
受益者数	3,736,881	5,926,099	7,213,903
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	10	6	5

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	鵜飼等招請事業での会社数	単位	社
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	40	40	40
実績値	中止	33	22

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	長良川温泉旅館宿泊者数(県内を除く)	単位	人泊
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	250,000	250,000	250,000
実績値	72,865	129,733	181,411
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	本市において観光振興は重要な施策であり、市や民間事業者が協働して進めるべき観光施策の実働部隊として協会が機能している。 協会の財源として賛助会費、商工会議所負担金などだけでは運営困難であり、協会設置の目的から市も担う必要がある。 岐阜市の観光・コンベンション振興を担う唯一の組織であり、類似団体はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	低	効率的な事業展開により多くの入込客数を記録し、観光振興につながっている。 市負担金だけでなく、商工会議所負担金、賛助会員会費等により運営されている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	低	旅行会社等の招請により、各社の旅行商品が増加し、ひいては観光客誘致につながっている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	地域やターゲット、時期など幅広く情報発信することが本市への観光客誘致につながっており、情報を享受した個々からの受益者負担はなじまない。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	岐阜市の観光・コンベンション振興を担う唯一の組織であり、今後も引き続き負担金による支援を継続すべき。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660020 016

【1.基本情報】

事業名	岐阜・下呂・郡上観光宣伝協議会					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	補助等	補助等の種類		その他補助金	実施主体	岐阜・下呂・郡上観光宣伝協議会
開始・終了年度	平成 16 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	—	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		岐阜県を代表する主要観光地である岐阜市、下呂市、郡上市の3市が共同して観光客の誘致及び宣伝を行い、お互いの相乗効果を図るとともに、パブリシティの効用を一層高めること
内容 (手段・手法など)		3市への観光客誘致宣伝活動
事業 の 対 象	何を	岐阜市の観光情報
	誰に	観光客となりうる全ての人々(外国を含む)
	どのくらい	旅行商品9種、WEB記事4社
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,230	100	3,180	100	3,220	100
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,230	100	3,180	100	3,220	100

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		2,000	2,000	2,000
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	2,000	2,000	2,000
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		2,000	2,000	2,000

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		5,230	5,180	5,220

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		5,230	5,180	5,220

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	岐阜市・下呂市・郡上市	岐阜市・下呂市・郡上市	岐阜市・下呂市・郡上市
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	香港市場における広告発信回数	単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	10	10	10
実績値	47	21	19

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	香港からの宿泊客数(長良川温泉)	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	7,000	7,000	7,000
実績値	0	398	3,996
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	インバウンドは、宿泊日数が長期に及ぶため、観光コンテンツが少ない各市町村単位でのプロモーションでは効果はあまり望めない。近隣の市町村の連携による誘客事業はインバウンド誘致の面から重要である。 下呂市・郡上市はそれぞれインバウンド誘客に向けて積極的に事業展開しており、3市で協議会を設立し、共同して観光客の誘致及び宣伝を展開していく上では、岐阜市としても事業を担う必要がある。 類似の事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	1市単独ではできない事業を3市でそれぞれ負担し、県や国からの補助金を得て実施しているため、費用対効果は高い。 3市の協議会で実施していることに加え、近年では中部国際空港等とも連携して、情報を収集し、事業を広域に展開するなど効率的に実施できている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	効果的な誘客を図るためには、テーマ性を持った広域連携は必要不可欠である。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	低	受益者は市になるため、受益者負担の面では公平であるが、3市の負担金割合の面では負担金額に差があり、検討の必要がある。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	改善	新型コロナウイルス感染症の流行にともない、岐阜市・下呂市・郡上市のインバウンドの情勢が変化しており、新型コロナウイルス感染症の流行前に各市でインバウンドの流入が見られた台湾市場での誘客が、令和4年度以降伸び悩んでいる。 ポストコロナのインバウンド市場を見据え、ターゲットを香港から台湾に変更し、観光庁の補助金事業を利用して、3市を周遊するドライブツーリズム商品造成事業を実施し、旅行商品を造成することで、OTAでの販売を通じて、台湾からの誘客を図る。今後も効果的なPR方法を検討し、エリア一体の認知度をさらに上げていく必要がある。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660020 017

【1.基本情報】

事業名	東海地区外国人観光客誘致促進協議会					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	補助等	補助等の種類		加入団体負担金	実施主体	東海地区外国人観光客誘致促進協議会
開始・終了年度	平成 10 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	—	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		外国人観光客の誘致	
内容 (手段・手法など)		岐阜県、静岡県、愛知県、三重県及び名古屋市、静岡市、浜松市及び観光関係団体などが連携し、東海地区への外国人観光客の誘致を目指し、海外プロモーション、海外エージェンツ、プレス招聘事業などを行っている。岐阜市は岐阜県部会の会員として、岐阜県、県内市町村、観光関係団体などと連携を図り、各種事業を行っている。	
事業 の 対 象	何を	岐阜市の観光情報	
	誰に	外国人観光客	
	どのくらい	海外向けプロモーション(台湾、シンガポール、タイ、フィリピンほか) など	
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	32	1	966	30
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	32	1	32	1	966	30

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		200	200	200
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	200	200	200
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		200	200	200

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		232	232	1,166

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		232	232	1,166

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	市	市	市
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)）

活動指標名	プロモーション及び商談会の実施件数	単位	件数
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	6	6	6
実績値	6	6	19

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	長良川温泉宿泊者数	単位	千人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	300	300	300
実績値	114	184	227
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	インバウンドは、宿泊日数が長期に及ぶため、観光コンテンツが少ない各市町村単位でのプロモーションでは効果があまり望めない。県や近隣の市町村等の連携による誘客事業はインバウンド誘致の面から重要である。 県が中心となり各市町村が主体となって行うべき事業である。 類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	1市単独では実施できない事業を県及び参加団体の負担で行うため、費用対効果は高い。 現状として県が中心となり実施している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	インバウンド誘客で広域連携することにより、岐阜市のみならず他市の観光コンテンツに魅力を感じて訪日した外国人観光客が岐阜市に立ち寄ることで、誘客が図れる場合があり、その効果は岐阜市単独で観光PRするよりも高い。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	受益者は市となり、公平である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	岐阜市単独で、海外からの個人旅行者の誘客を図ることは費用対効果を考えると難しいため、協議会による広域連携を活かしたPRは必要である。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660020 018

【1.基本情報】

事業名	外国人観光客誘致促進事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	補助等	補助等の種類		その他補助金	実施主体	岐阜市
開始・終了年度	平成 28 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	岐阜市外国人観光客受入環境整備支援事業補助金交付要綱	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		外国人観光客を受け入れる民間事業者の受入環境整備の面から事業者をサポートすることで外国人観光客の誘客を促進する。
内容 (手段・手法など)		外国人観光客の受入環境整備を行う事業者を岐阜市外国人観光客受入環境整備支援事業補助金交付要綱に基づき、多言語化対応他支援メニューにより、支援する。
事業 の 対 象	何を	多言語化対応・無料講習無線LAN(Wi-Fi)整備・施設内トイレ整備・クレジットカード・電子マネー決済対応などの支援メニュー
	誰に	岐阜市内の観光施設・宿泊施設・飲食施設・小売業など
	どのくらい	外国人観光客受入環境整備の支援
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		要綱改正により、補助対象事業の2社以上の見積書の提出を義務化した。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,100	65	2,067	65	2,093	65
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,100	65	2,067	65	2,093	65

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		558	507	1,200
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	補助金	558	507	1,200
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		558	507	1,200

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		2,658	2,574	3,293

【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	2,658	2,574	3,293

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	補助対象事業者	補助対象事業者	補助対象事業者
受益者数	195	1,066	2,936
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	7.3%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	13,628	2,415	1,122

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	交付件数	単位	件
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	5	5	5
実績値	2	2	4

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	岐阜市観光案内所外国人利用者件数	単位	件
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	3,000	3,000	3,000
実績値	195	1,066	2,936
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	令和3年度・令和4年度と比べ、岐阜市観光案内所の外国人利用者件数が1,000件以上増加しており、岐阜市内のインパウンドのニーズが急増している。民間事業者のみでは費用が高額となるインパウンドの受入環境整備に対応する必要があるため、市民・社会のニーズを合っていると思われる。 岐阜市が主体となって実施すべき事業である。 類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	岐阜市内に訪れる訪日外国人観光客の受入を行うには、民間事業者での受入環境整備は必須であるため、補助金の活用を通じ、民間事業者に受入環境整備を促すことができる。 補助金の交付を通じて、民間事業者と連携して、訪日外国人観光客の受入環境整備事業を実施している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	訪日外国人観光客は増加しており、補助金の交付申請も増加しているため、岐阜市内の受入環境整備に寄与している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	ターゲットとなる訪日外国人観光客が滞在することで、岐阜市内の民間事業者にも岐阜市全体にも利益が出てくるため、受益者負担としては公平である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	現在、岐阜市内の訪日外国人観光客は増加傾向にあり、それにも伴い現状の受入環境では訪日外国人観光客に対応できない恐れがでてくるため、引き継ぎ訪日外国人観光客の受入環境整備は必要である。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660020 019

【1.基本情報】

事業名	境川ふれあい夏祭り花火大会負担金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	補助等	補助等の種類		その他負担金	実施主体	境川ふれあい夏祭り花火大会実行委員会
開始・終了年度	平成 14 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	—	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		市民をはじめ、本市を訪れる多くの県内外の人々にゆとりと潤い、そして安らぎを与えている自然いっぱいの境川緑道公園一帯を会場に、多くの人々がともにふれあい、交流を深め地域の連帯感を醸成し、活力とにぎわいあふれる地域づくりに寄与し、地域振興を図るイベントとして、柳津地域のみならず市南部最大のイベントとして位置付けるとともに岐阜圏域の最後の花火大会を飾るにふさわしいイベントとして開催する。
内容 (手段・手法など)		境川緑道公園での花火大会の開催。郷土芸能「天保宮下太鼓」「うずら太鼓」の披露等
事業 の 対 象	何を	境川ふれあい夏祭り花火大会の開催
	誰に	境川ふれあい夏祭り花火大会実行委員会
	どのくらい	年1回
令和5年度からの変 更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	32	1	32	1
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	32	1	32	1	32	1

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	6,000
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	0	0	6,000
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	0	6,000

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	32	32	6,032

【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	32	32	6,032

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	—	—	来場者
受益者数	-	-	15,000
受益者負担額(千円)	-	-	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	402

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	境川ふれあい夏祭りの開催回数	単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	-	-	1
実績値	-	-	1

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	来場者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	-	-	20,000
実績値	-	-	15,000
達成状況	—	—	× (未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	夏季における市南部地域の主要イベントとして定着しており、約15,000人の観光客が来場するため、社会のニーズに合っている。 主体的な運営は実行委員会が行っているため、市としては人的支援は抑え負担金を拠出するべきである。 類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	約15,000人の来場者があることは、市南部地域において一定の経済効果があるといえる。 市民協働により地域の活性化に寄与する事業であり、市が財政支援を行うことは効率的な方法である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	夏季における市南部地域の主要イベントとして定着しており、市民だけでなく市外・県外から例年一定の観光客を集めている。また、市外へ向けて岐阜市のPRが行われており事業効果が得られている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	一般の観覧、来場が可能であり、全ての市民が受益対象者となるため公平性・公益性は高い。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	改善	夏季における市南部地域の主要イベントであるため、負担金は継続して拠出し、周知啓発においては可能な限り実施すべきである。しかし、受益者ひとり当たりのコストが高く、他のイベントとのバランスを考慮し、金額の見直しが必要。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660020 020

【1.基本情報】

事業名	長良川流域観光推進協議会					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	補助等	補助等の種類		加入団体負担金	実施主体	長良川流域観光推進協議会
開始・終了年度	平成 28 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	—	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		長良川上・中流域に存在する魅力的な地域資源を観光資源として活用し、当該流域を周遊・滞在する観光地づくりについて、観光事業者・地域連携DMOとともに推進する。
内容 (手段・手法など)		当該流域における周遊・滞在型観光造成事業、情報発信事業
事業 の 対 象	何を	当該流域における周遊・滞在型観光
	誰に	市民、企業等
	どのくらい	通年利用ができる体験プログラムの他、交通機関と連動した観光企画を各時期に展開
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,615	50	1,590	50	1,610	50
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,615	50	1,590	50	1,610	50

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		916	1,000	1,000
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	916	1,000	1,000
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		916	1,000	1,000

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		2,531	2,590	2,610

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		457	500	500
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		457	500	500

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		2,074	2,090	2,110

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	岐阜市・関市・美濃市・郡上市	岐阜市・関市・美濃市・郡上市	岐阜市・関市・美濃市・郡上市
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	着地型商品数	単位	種類
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	30	30	30
実績値	97	101	106

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	長良川温泉宿泊者数	単位	千人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	300	300	300
実績値	114	184	224
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	4市連携のスケールメリットを生かした誘客を図っていくため、今後も必要と考えられる事業である。 協議会の事務局は県が担い、NPO法人ORGANや民間の協力も得ながら各種事業を実施している。岐阜市への誘客推進を図るため、市も事業を担う必要がある。 長良川流域の観光資源をPRし周遊に繋げる広域的取り組みであり、類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	本市の新たな体験型観光商品の開発や、1市単独ではできない事業について、国の補助金を得たうえ4市で実施しているため、費用対効果は高い。 4市の協議会で実施し、かつ観光関連事業者の協力も得られており、効率的に事業を進めている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	これまでに多様な観光商品が造成されており、これを生かし効果的な誘客を図るためには、テーマを有する広域連携が不可欠である。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	ガイドマップ、WEBサイト等、広く市民にも情報を発信しており、公平性は高い。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	新型コロナウイルス感染症の影響により、成果指標としている長良川温泉宿泊者数の目標は未達となったものの、世界農業遺産など、長良川流域におけるテーマを有する広域連携が生み出す誘客施策は効果的であり、令和6年度以降も国の補助金を受けながら事業を継続していく必要がある。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660020 021

【1.基本情報】

事業名	日本観光振興協会負担金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	補助等	補助等の種類	加入団体負担金	実施主体	公益社団法人 日本観光振興協会	
開始・終了年度	平成	元	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		本市における国内外の観光客の増加促進	
内容 (手段・手法など)		・全国広域観光振興事業(観光地域づくり基盤形成事業、広域観光促進事業など) ・観光人材育成事業(観光セミナーの開催、研修会等の開催) ・観光交流活性化事業(地域インバウンド推進事業など)	
事業 の 対 象	何を	岐阜市の観光情報	
	誰に	国内外の観光客	
	どのくらい	人材育成研修支援、地域社会支援、観光展開催 など	
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	32	1	32	1
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	32	1	32	1	32	1

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		270	270	270
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	270	270	270
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		270	270	270

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		302	302	302

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		302	302	302

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	市	市	市
受益者数	-	-	-
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	日本観光振興協会負担金	単位	千円
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	270	270	270
実績値	270	270	270

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	市が参加した観光展及び商談会	単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	4	4	4
実績値	0	0	0
達成状況	—	—	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	国が新たな観光ビジョンを策定し、観光先進国に向けて事業展開する 中、本市においても、国と連携した観光誘客施策は重要である。
		市単独では実施できない観光展に参加できるなど、会員となるメリット は大きく、同協会への支出は必要である。
		類似の事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市単独では実施できない観光展に参加できるなど、スケールメリットを 生かした事業に参加でき、費用対効果は高い。
		同協会は、我が国の観光振興に関する中枢機関として活動している公 益社団法人であり、代替の方法はない。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	同協会が主催する観光展への参加や、フォーラムなどに参加すること で効果的な誘客活動、情報収集ができています。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	市が受益者として、同協会の観光展やフォーラムに参加することで、幅 広い誘客活動につながっている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状 維持	外国人観光客を誘致するうえで、国と連携し、事業展開することは重要 であり、今後も同協会への加入は必要である。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660020 022

【1.基本情報】

事業名	岐阜県観光連盟負担金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	補助等	補助等の種類	加入団体負担金	実施主体	一般社団法人岐阜県観光連盟	
開始・終了年度	平成	元	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		本市における観光客の誘致
内容 (手段・手法など)		・旅行商品販売促進事業(国内誘客促進事業、海外誘客促進事業など) ・情報発信促進事業(インターネットメディア事業、観光情報発信事業など) ・DMO強化事業
事業 の 対 象	何を	本市を含む国内観光情報
	誰に	国内外の観光客・旅行会社など
	どのくらい	商談会、国内観光物産展、ホームページ「ぎふの旅ガイド」運営など
令和5年度からの変 更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	162	5	159	5	161	5
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	162	5	159	5	161	5

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		423	423	423
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	423	423	423
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		423	423	423

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		585	582	584

【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	585	582	584

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	国内外観光客の岐阜市宿泊者数	国内外観光客の岐阜市宿泊者数	国内外観光客の岐阜市宿泊者数
受益者数	430,897	610,910	603,901
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1	1	1

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	負担金	単位	千円
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	423	423	423
実績値	423	423	423

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	国内外観光客の岐阜市宿泊者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	700,000	700,000	700,000
実績値	430,897	610,910	603,901
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	観光情報源が多様化する中、同連盟が運営するHP「ぎふの旅ガイド」は個人・団体等様々なユーザーに活用されており、本市への誘客促進を図るうえで重要である。 市単独で誘客を図るにも限界があり、会員になることで広域的な連携のもと誘客に取り組むことが可能になる。 同連盟は、県内の観光振興の取りまとめを担う一般社団法人であり、代替できる組織は存在しない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市単独では実施が難しい観光展への参加、広域連携が図られたHPの運営など、スケールメリットを生かした事業に参画できることから、費用対効果は高い。 同連盟は、県内の観光振興の取りまとめを担う一般社団法人であり、代替できる組織は存在しない。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	同連盟が主催する観光展への参加や、広域連携が図られたHPの運営に協力することにより、効果的な誘客促進につながっており、今後も効果が見込まれる。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	岐阜市内に宿泊した観光客が受益者となるが、観光客は宿泊代や飲食代を支払っており、適正である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	国内外への誘客促進に取り組む中で、広域連携を進めることは重要であり、今後も同連盟への加入が必要と考えられる。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660020 023

【1.基本情報】

事業名	ぎふ長良川花火大会負担金									
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部					担当課名	観光コンベンション課			
実施方法	補助等			補助等の種類		その他負担金	実施主体	ぎふ長良川花火大会実行委員会		
開始・終了年度	令和	4	年度～		年度	根拠法令・関連計画	—			

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		岐阜市の夏の風物詩であった、長良川全国花火大会、全国選抜長良川中日花火大会が2019年を最後に中止となったことから、オール岐阜の一大イベントとして、観光資源としての認知度が高く、観光誘客のコンテンツとして極めて有効なイベントである花火大会を「ぎふ長良川花火大会」として開催し、観光誘客、シビックプライドの醸成に寄与することを目的とする。
内容 (手段・手法など)		岐阜市内長良川河畔
事業 の 対象	何を	ぎふ長良川花火大会の開催
	誰に	ぎふ長良川花火大会実行委員会
	どのくらい	年1回
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	8,268	260	16,744	520
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	8,268	260	16,744	520

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	20,000	25,000
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	0	20,000	25,000
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	20,000	25,000

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	0	28,268	41,744

【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	25,000
計(F)	0	0	25,000

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	0	28,268	16,744

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	—	—	来場者
受益者数	-	-	100,000
受益者負担額(千円)	-	-	103,840
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	248.8%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	167

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	大会開催数	単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	-	-	1
実績値	-	-	1

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	来場者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	-	-	100,000
実績値	-	-	100,000
達成状況	—	—	○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	夏季における市主要イベントとして定着しており、毎年約10万人程の 観光客が来場するため、社会のニーズに合っている。 主体的な運営は実行委員会が行っているが、市政財界が取り組むべ き大規模事業であり、負担金を拠出するべきである。 類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	約10万人の来場者があり、市内の観光振興に経済効果があるといえ る。 市政財界が取り組むべき大規模事業であり、応援席を有料とすること で、受益者負担も一定程度導入していることから、負担金額も妥当と考 える。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	夏季における主要イベントとして定着しており、市民だけでなく市外・県 外から例年一定の観光客を集めている。また、市外へ向けて岐阜市の PRが行われており事業効果が得られている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	応援席の購入者のほか、周辺において一般の観覧者も見ることができ るため公平性・公益性は高い。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状 維持	夏季における市主要イベントであるため、負担金は継続して拠出し、周 知啓発においては可能な限り実施すべきである。今大会より応援席を 購入してもらうことで運営費用の一部を賄っており、受益者負担を求め ている。他のイベントと比べても、市負担金に対する費用対効果は得ら れていると考える。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660020 024

【1.基本情報】

事業名	岐阜駅構内岐阜市観光案内所運営管理					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	委託(その他)	補助等の種類		実施主体	(公財)岐阜観光コンベンション協会	
開始・終了年度	平成	9	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		観光案内所利用者に対し、観光情報をはじめとする様々な情報を提供し、案内業務を行うことでホスピタリティの向上を図るとともに、本市の魅力をわかり易く伝え、観光客の満足度向上及び観光消費額の増加を目指す。
内容 (手段・手法など)		観光客をはじめとする本市へお越しになられた方々に対し、観光情報をはじめとする様々な情報を提供する案内業務を行うほか、観光案内所の運営管理を行う。
事業 の 対 象	何を	観光情報をはじめとする本市の情報
	誰に	観光案内所利用者
	どのくらい	60,000人
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,292	40	954	30	966	30
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,292	40	954	30	966	30

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		13,812	15,102	15,195
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	委託料	13,051	13,821	14,160
	修繕料	205	269	0
	工事請負費	0	327	415
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		13,812	15,102	15,195

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		15,104	16,056	16,161

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		15,104	16,056	16,161

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	観光案内所利用者	観光案内所利用者	観光案内所利用者
受益者数	24,152	45,931	51,163
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	625	350	316

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	観光案内所開庁日数	単位	日
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	365	365	366
実績値	305	365	366

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	観光案内所利用者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	40,000	60,000	60,000
実績値	24,152	45,931	51,163
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	本市の玄関口であるJR岐阜駅において、観光情報を提供しホスピタリティ向上を図ることで、観光客の満足度向上及び観光消費額の増加につながっている。 本市の観光情報発信拠点の設置に関しては市が担うべきである。 類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	岐阜市観光案内所は、JNTO認定外国人観光案内所カテゴリー2（英語対応可能なスタッフが常駐、広域案内を提供）に認定されていることなど、本市の観光事業への費用対効果は高いと考える。 観光情報や案内業務のノウハウを持つ（公財）岐阜観光コンベンション協会へ委託しているが、より効率的に運営ができる手法を検討する。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	本市の玄関口であるJR岐阜駅において、観光情報を提供することは、有効である。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	観光案内業務の性質上、受益者負担は適さない。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	改善	案内所利用者に対し、効果的な観光情報を提供することで、観光客の満足度向上及び観光消費額の増加につながるため、今後も事業継続の必要がある。 より効率的に運営ができる手法を検討する。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号	0660020	025
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	道の駅柳津交流センター運営管理					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	委託(民間)	補助等の種類		実施主体	株式会社チューキョーP&G	
開始・終了年度	平成	16	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市道の駅柳津交流センター条例

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		一般道の利用者等に対し、良好な休憩の場を提供するとともに、地場製品の販売等を通して商業をはじめとする産業の活性化を図るため、施設を供与する。
内容 (手段・手法など)		道の駅柳津交流センターの運営(利用受付、物販館等の貸出、利用料金の徴収など)、施設内外の保全、施設および設備等の保守管理。
事業 の 対 象	何を	道の駅柳津交流センターの施設等
	誰に	施設利用者
	どのくらい	65,000人
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	969	30	954	30	966	30
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	969	30	954	30	966	30

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		11,818	12,950	16,468
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	委託料	11,738	12,458	12,176
	工事費	0	125	4,202
	負担金	80	80	80
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		3,484	3,484	3,484
計(D)=B+C		15,302	16,434	19,952

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		16,271	17,388	20,918

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		1	1	1
計(F)		1	1	1

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		16,270	17,387	20,917

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	施設利用者(レジ通過者)	施設利用者(レジ通過者)	施設利用者(レジ通過者)
受益者数	32,912	54,081	53,078
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	494	321	394

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	開館日数	単位	日
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	310	310	362
実績値	199	335	362

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	来場者数(レジ通過者)	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	65,000	65,000	65,000
実績値	32,912	54,081	53,078
達成状況	× (未達成)	× (未達成)	× (未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	主要道路の休息地点や地域住民の交流の場となっている他、地元農産物の販路を確保することで、地域産業の活性化に寄与している。また、岐阜県の事業により駐車場にマンホールトイレが設置され、防災の面においても必要性が高い。 利用料金制の指定管理者制度のもと、民間による運営管理を実施済みである。 類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	指定管理料や維持管理費用に対して利用料等の収入は少ない。 利用料金制の指定管理者制度の導入により、民間ノウハウの活用を実施済みである。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	利用料金制の指定管理者制度の導入により、民間ノウハウを活用した利用料金収入増加や、経費削減が図られている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	物販館、農産物を販売するスペースは公に開かれており、施設利用に係る制限は少なく、平等に利用できる。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	道の駅の本来としての役割のほか、地域農産物販売等で地域産業の活性化に寄与している。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号	0660020	026
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	長良川うかいミュージアム(岐阜市長良川鵜飼伝承館)運営管理					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	委託(民間)	補助等の種類		実施主体	JNFうかいミュージアム	
開始・終了年度	平成	24	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市長良川鵜飼伝承館条例

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		岐阜市を代表する伝統文化である「ぎふ長良川の鵜飼」を「護り」「伝え」「広める」活動を通して、その魅力を広く紹介・発信するため、施設を供与する。
内容 (手段・手法など)		長良川うかいミュージアム(岐阜市長良川鵜飼伝承館)の運営(利用受付、貸室等の貸出し、利用料金の徴収など)、「長良川鵜飼文化」の発信、施設内外の保全、施設および設備等の保守管理、指定事業および自主事業の実施を行う。
事業 の 対 象	何を	長良川うかいミュージアム(岐阜市長良川鵜飼伝承館)の施設等
	誰に	観光客、市民などの施設利用者
	どのくらい	155,000人
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,164	67	2,131	67	2,157	67
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,164	67	2,131	67	2,157	67

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		121,963	132,182	127,393
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	委託料	121,631	128,668	100,220
	工事請負費	0	990	25,193
	備品購入費	332	468	165
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		19,728	19,728	19,728
計(D)=B+C		141,691	151,910	147,121

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		143,855	154,041	149,278

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	20,300
使用料・手数料		21	21	22
その他		2,136	2,770	3,001
計(F)		2,157	2,791	23,323

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		141,698	151,250	125,955

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	来場者	来場者	来場者
受益者数	53,321	115,008	128,932
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2,657	1,315	977

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	開館日数	単位	日
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	331	332	333
実績値	261	332	332

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	来場者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	102,700	140,000	155,000
実績値	53,321	115,008	128,932
達成状況	× (未達成)	× (未達成)	× (未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	岐阜市の重要な観光資源である鶺鴒の文化を広く紹介・発信し、護り、その魅力を伝えることができる唯一の施設として不可欠である。 利用料金制の指定管理者制度のもと、民間による運営管理を実施済みである。 類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	低	展示室への来館者数が目標値に対して伸びておらず、費用対効果が低い。 利用料金制の指定管理者制度の導入により、民間ノウハウの活用を実施済みであり、経費を削減している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	魅力的な企画事業を実施し、地域振興という意味では効果が得られているものの、展示室への入館には結びついておらず、鶺鴒の文化の発信という意味でさらなる工夫が必要。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	施設利用に係る制限は少なく、平等に利用できる。
(総合評価) ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	来場者数及び展示室入館者数(有料)は、コロナ禍前の水準まで回復していない。「長良川鶺鴒文化」の魅力を広く紹介、発信できるよう、指定管理者と連携した維持管理に努める。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660020 027

【1.基本情報】

事業名	長良川国際会議場運営管理					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	委託(民間)	補助等の種類		実施主体	トリニティぎふ	
開始・終了年度	平成	7	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市長良川国際会議場条例

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		国際コンベンション都市づくりの拠点として、産業、学術及び文化の向上を図るとともに、市民福祉の向上を図るため、施設を供与する。
内容 (手段・手法など)		長良川国際会議場の運営(利用受付、貸室等の貸出し、利用料金の徴収など)、イベント・コンベンションの誘致、施設内外の保全、施設及び設備等の保守管理、自主事業の実施。
事業 の 対 象	何を	長良川国際会議場の施設等
	誰に	施設利用者
	どのくらい	280,000人
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,938	60	1,908	60	4,315	134
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,938	60	1,908	60	4,315	134

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		258,992	205,967	273,026
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	委託料	209,507	199,843	220,299
	工事請負費	43,832	869	45,688
	備品購入費	4,861	4,579	5,007
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		288,810	288,810	288,810
計(D)=B+C		547,802	494,777	561,836

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		549,740	496,685	566,151

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		30,100	3,100	96,800
使用料・手数料		397	346	379
その他		15,404	25,251	11,835
計(F)		45,901	28,697	109,014

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		503,839	467,988	457,137

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	施設利用者	施設利用者	施設利用者
受益者数	91,668	185,632	189,530
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	5,496	2,521	2,412

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	開館日数	単位	日
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	359	359	359
実績値	359	359	359

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	利用者数	単位	千人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	280	280	280
実績値	92	186	190
達成状況	× (未達成)	× (未達成)	× (未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	MICEの推進は市としても重要であり、その中心的な施設として不可欠である。 利用料金制の指定管理者制度のもと、民間による運営管理を実施済みである。 文化産業交流センター(じゅうろくプラザ)と類似性はあるが、施設の規模が全く異なることから、統廃合は困難と考える。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	管理経費(事業費)には多額の費用を要するものの、高い利用者満足度から費用対効果はあると考える。 利用料金制の指定管理者制度の導入により、民間ノウハウの活用を実施済みであり、経費の削減が図られている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	施設料金稼働率(45.7%)が、前年度(45.4%)から0.3%増加した。 国際交流や地域間交流を促進し、産業、学術及び文化の向上に資しており、今後も効果が見込まれる。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	施設利用に係る制限は少なく、平等に利用できる。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	施設の設置目的を果たし、多くの利用者に高い満足度のもと利用されている。天井落下防止対策及び老朽化に係る課題を解決するため、令和6年度から大規模改修工事を実施する。 引き続き、設置目的を果たすため、指定管理者とともに運営管理に努める。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660020 028

【1.基本情報】

事業名	じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)運営管理					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	委託(民間)	補助等の種類		実施主体	T・H・Bファシリティズ	
開始・終了年度	平成	19	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市文化産業交流センター条例

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		地域交流、文化活動および産業活動の拠点として、地域交流の促進、文化の向上および産業の振興を図るため、施設を供与する。
内容 (手段・手法など)		じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)の運営(利用受付、貸室等の貸出し、利用料金の徴収など)、イベント・コンベンションの誘致、施設内外の保全、施設および設備等の保守管理、自主事業の実施。
事業 の 対象	何を	じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)の施設等
	誰に	施設利用者
	どのくらい	114,000人
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,938	60	1,908	60	1,932	60
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,938	60	1,908	60	1,932	60

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		87,054	66,838	33,642
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	委託料	77,297	51,047	30,391
	工事請負費	6,809	10,450	2,228
	備品購入費	2,948	5,341	1,023
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		7,429	7,429	7,429
計(D)=B+C		94,483	74,267	41,071

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		96,421	76,175	43,003

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	1,800	0
使用料・手数料		3,702	3,596	4,262
その他		10,102	21,374	10,793
計(F)		13,804	26,770	15,055

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		82,617	49,405	27,948

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	施設利用者	施設利用者	施設利用者
受益者数	70,047	96,435	113,263
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,179	512	247

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	開館日数	単位	日
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	359	359	359
実績値	289	359	359

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	利用者数	単位	千人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	100	100	160
実績値	70	96	114
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	岐阜駅前に位置しており、地域交流の促進、文化の向上および産業の振興を図ることができる中心的な施設として不可欠である。 利用料金制の指定管理者制度のもと、民間による運営管理を実施済みである。 長良川国際会議場と類似性はあるが、岐阜駅前に位置している点及び施設の規模が全く異なることから、統廃合は困難と考えられる。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	指定管理料は運営経費の2割程度であることから、費用対効果の高い施設である。 利用料金制の指定管理者制度の導入により、民間ノウハウの活用を実施済みであり、経費の削減が図られている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	施設料金稼働率（48.2％）が、前年度（42.1％）から6.1％増加した。地域交流、文化活動および産業活動の拠点として、地域交流の促進、文化の向上および産業の振興に資しており、今後も効果が見込まれる。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	施設利用に係る制限は少なく、平等に利用できる。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	本市のコンベンション及び文化産業の推進に役立つとともに、利用料金収入、利用者数の増加が見込める施設である。引き続き、設置目的を果たすため、指定管理者とともに運営管理に努める。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660020 029

【1.基本情報】

事業名	岐阜城運営管理					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和 31 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	岐阜城条例	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		岐阜城は、岐阜市を代表する観光施設の1つである。住民の福祉を図り、郷土の史蹟の保存および周辺の観光施設への誘客のため、施設の運営管理を行う。
内容 (手段・手法など)		岐阜城の運営、施設内外の保全、施設及び設備の保守管理。
事業 の 対 象	何を	岐阜城及び岐阜城資料館
	誰に	観光客、市民
	どのくらい	330,000人
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,101	96	3,053	96	3,220	100
パートタイム会計年度任用職員A	3,224	313	5,252	520	5,252	520
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	6,325	409	8,305	616	8,472	620

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		51,648	43,598	46,076
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	委託料	44,340	31,962	33,218
	工事請負費	0	0	0
	消耗品費	709	562	660
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		1,979	1,979	1,979
計(D)=B+C		53,627	45,577	48,055

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		59,952	53,882	56,527

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		26,020	46,115	52,931
その他		1,772	2,033	1,158
計(F)		27,792	48,148	54,089

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		32,160	5,734	2,438

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	入場者	入場者	入場者
受益者数	143,378	252,383	287,556
受益者負担額(千円)	26,020	46,115	52,931
受益者負担率(%)	43.4%	85.6%	93.6%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	224	23	8

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	開館日数	単位	日
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	365	365	366
実績値	295	365	366

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	利用者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	230,000	230,000	240,000
実績値	143,378	252,383	287,556
達成状況	×（未達成）	○（達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	令和5年度は約29万人の有料入場者がありニーズに合っている。 市が国有林野の貸付を受けており、城郭・資料館・沿路を含めた山頂部の包括的な管理が必要となる。林野庁や文化庁など他官庁との調整も多いため、市が直営で管理する必要がある。 岐阜市を代表する唯一無二の観光施設である。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	施設単体での費用対効果は高くないが、周辺にある観光施設への間接的な経済効果が高い施設である。 市が主体的に運営管理しているが、日常の維持管理業務については民間を活用しており、経費を削減している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	成果指標である利用者数について、令和5年度は目標値であった24万人を大きく上回り約29万人の利用者があった。今後も同様の効果が見込まれる。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	現在は、施設の老朽化等の要因もあり受益者負担は適正と考えられるが、施設の改修等を実施した際には、受益者負担の増額を検討する必要がある。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	ホスピタリティの向上も行い、引き続き本市の観光シンボルとして、運営を行う。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660020 030

【1.基本情報】

事業名	岐阜城天守閣耐震化事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成 28 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	岐阜城天守閣耐震化計画	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		平成28年度実施の地質調査、平成30年度実施の耐震診断の結果、岐阜城には耐震性が不足している階層があることが判明したため、耐震性を向上させる必要がある。また、設備の経年劣化や展示の内容など、過去から残る課題を解決するため、岐阜城天守閣の耐震化工事等を実施する。
内容 (手段・手法など)		岐阜城天守閣、資料館の耐震化及び展示内容の変更
事業 の 対 象	何を	岐阜城及び岐阜城資料館
	誰に	観光客、市民
	どのくらい	330,000人
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		令和4～5年度にかけて岐阜城耐震化工事に係る実施設計を行った。工事における各種許可申請や展示基本計画を作成する。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,421	44	1,399	44	4,315	134
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,421	44	1,399	44	4,315	134

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		8,460	12,887	28,440
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	委託料	8,193	12,887	28,440
	報酬	219	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		8,460	12,887	28,440

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		9,881	14,286	32,755

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		9,881	14,286	32,755

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	入場者	入場者	入場者
受益者数	143,378	252,383	287,556
受益者負担額(千円)	26,020	46,115	52,931
受益者負担率(%)	263.3%	322.8%	161.6%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	69	57	114

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	岐阜城天守閣耐震化等実施設計		単位	-
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	-	-	-	
実績値	-	-	-	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	岐阜城天守閣耐震化工事着手		単位	-
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	-	-	-	
実績値	-	-	-	
達成状況	—	—	—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統合はできるか 【1】【2】から	高	平成28年度実施の地質調査、平成30年度実施の耐震診断の結果、岐阜城には耐震性が不足している階層があることが判明したため、耐震性を向上させる必要がある。
		市が直営で管理しているため必要である。
		類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	岐阜城天守閣耐震化等実施設計を実施し、工事概算費用や工程が概ね決定した。
		競争入札により、適切な業者選定を行っている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	耐震性を向上させることで、観光客の安全性を担保する。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	低	耐震化工事等に合わせ、受益者負担について検討する必要がある。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	本市の観光のシンボルである岐阜城は、約33万人の入場者数があり、岐阜城天守閣耐震化計画に基づき、耐震化事業を継続していく必要がある。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号	0660040	001
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	鵜飼観覧船事業						
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	鵜飼観覧船事務所		
実施方法	直営		補助等の種類			実施主体	岐阜市
開始・終了年度	昭和	2	年度～		年度	根拠法令・関連計画	岐阜市観覧船に関する条例

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		全国から観光客を誘客し、鵜飼観覧船に乗船してもらうことにより観光産業の活性化及び経済波及効果を上げる。
内容 (手段・手法など)		鵜飼観覧船事業を行い、全国から観光客を誘客する。 鵜飼は、毎年5月11日から10月15日まで鵜飼休みの日を除き毎夜行われ、鵜飼観覧船を運航する。
事業 の 対 象	何を	鵜飼観覧
	誰に	観光客及び市民
	どのくらい	5月11日～10月15日(鵜飼休みの日及び増水による中止の日を除く)
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、船内に設置したアクリル板を撤去したほか、一部の観覧船を除き乗船人数の制限を撤廃して本来の定員数での運航を行った。高級観覧船でない通常の観覧船で、椅子席型の観覧船を新たに建造し、就航した。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	53,909	1,669	49,608	1,560	50,232	1,560
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	2,453	511	2,390	478	0	0
計(A)	56,362	2,180	51,998	2,038	50,232	1,560

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		272,454	275,939	332,807
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	報償費	104,684	110,842	111,068
	船員報酬(賃金)	80,631	128,313	154,970
	委託料	58,113	40,236	66,904
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		5,072	5,072	5,072
計(D)=B+C		277,526	281,011	337,879

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		333,888	333,009	388,111

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		7,497	0	6,556
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		44,928	184,715	236,166
その他		3,062	1,565	1,264
計(F)		55,487	186,280	243,986

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		278,401	146,729	144,125

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	観光客及び市民	観光客及び市民	観光客及び市民
受益者数	13,910	52,889	73,101
受益者負担額(千円)	45,222	184,715	236,166
受益者負担率(%)	13.5%	55.5%	60.9%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	20,014	2,774	1,972

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	鵜飼観覧船乗船者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	75,000	75,000	85,000
実績値	13,910	52,889	73,101

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	鵜飼観覧船乗船者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	75,000	75,000	85,000
実績値	13,910	52,889	73,101
達成状況	× (未達成)	× (未達成)	× (未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	ぎふ長良川の鵜飼は日本の宝であり世界に誇るべき伝統文化である。 この事業を通じて、市民にとってかけがえのない文化を守り続けてきて いる。 収益事業であるが、伝統文化継承という点から、民間が実施することは 慎重な検討が必要となる。 類似の事業なし。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	「岐阜市鵜飼観覧船事業のあり方検討委員会(諮問機関)」の答申に おいて、雇用も含め、約20億円の経済波及効果があるとされ、未来永 劫継続していくべきものとされている。 伝統文化継承に配慮しながら、多様な運営主体について検討する必 要がある。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	年間約10万人が観覧する本市の基幹的な観光資源であり、雇用、宿 泊などの消費への波及効果は大きい。また、鵜飼漁の技術は、国重要 無形民俗文化財に指定されるなど、世界遺産登録に向けても観覧船 事業の重要性は高い。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	観光客や地域観光事業者など鵜飼観覧船事業における受益者負担 のあり方を検討する必要がある。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	改善	鵜匠、船頭の後継者育成なども含め、鵜飼観覧船事業を持続可能な 形態へシフトすることが不可欠である。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660040 002

【1.基本情報】

事業名	船員互助会助成金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	鵜飼観覧船事務所		
実施方法	補助等	補助等の種類		その他補助金	実施主体	岐阜市鵜飼観覧船船員互助会
開始・終了年度	平成 9 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	岐阜市鵜飼観覧船船員互助会助成金交付要綱	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		船員福利厚生事業の実施				
内容 (手段・手法など)		船員互助会に対して助成を行う。				
事業の 対象	何を	助成金				
	誰に	岐阜市鵜飼観覧船船員互助会				
	どのくらい	船員互助会の令和5年度会費の4分の1を助成。ただし岐阜市予算額以内とする。(25万円)				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		船員互助会の令和5年度会費の4分の1を助成した。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	65	2	64	2	0	0
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	65	2	64	2	0	0

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		70	98	0
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	補助金	70	98	0
	-	0	0	0
	-	0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		70	98	0

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		135	162	0

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		135	162	0

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	船員互助会会員	船員互助会会員	船員互助会会員
受益者数	48	79	0
受益者負担額(千円)	282	515	0
受益者負担率(%)	209.5%	318.7%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2,804	2,046	0

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	助成金額	単位	千円
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	225	225	225
実績値	70	98	0

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	互助会会員数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	90	90	90
実績値	48	79	0
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	地方公務員法第42条の規定に基づき実施しており必要である。 岐阜市鵜飼観覧船船員は地方公務員法第22条第5項の規定に基づき市で雇用しており市が助成を行うもの。令和2年度からは会計年度任用職員となった。 類似の事業なし。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	船員互助会の会費の4分の1としており、岐阜市互助会における会費は、給料月額1,000分の4、助成金が給料月額1,000分の1であり、会費に対して助成金の割合は4分の1であり、妥当である。 船員互助会が最も船員のことを把握しており、ここに助成を行うことが効率的である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み 【2】【7】から	高	岐阜市鵜飼観覧船船員互助会助成金事業報告書において各種事業が実施されており有効であった。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	船員互助会の会費の4分の1としており、岐阜市互助会における会費は、給料月額1,000分の4、助成金が給料月額1,000分の1であり、会費に対して助成金の割合は4分の1であり、妥当である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	船員不足の状況下で、年間10万人の乗船客が見込まれる観覧船事業を支えるために市が助成しているもの。今後も助成を行っていく。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号	0660040	003
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	船員組合補助金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	鵜飼観覧船事務所		
実施方法	補助等	補助等の種類	団体事業補助金	実施主体	長良川鵜飼観覧船船員組合	
開始・終了年度	平成	9	年度～	令和	5	年度 根拠法令・関連計画 岐阜市観光事業補助金交付要綱第3条

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		船員の資質向上となる研修事業の実施
内容 (手段・手法など)		船員の資質向上に資する研修事業を行う船員組合に補助。
事業 の 対 象	何を	補助金
	誰に	長良川鵜飼観覧船船員組合
	どのくらい	岐阜市観光事業補助金交付要綱第3条により、交付対象事業の実施に要する経費の2分の1以内
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	0	0	0	0

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	補助金	0	0	0
	-	0	0	0
	-	0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	0	0

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	船員互助会会員	船員互助会会員	船員互助会会員
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	視察研修の回数	単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	-	-	-
実績値	-	-	-

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	研修参加者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	-	-	-
実績値	-	-	-
達成状況	—	—	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	満足度の高い鵜飼観覧船の乗船環境を提供するためには、安全運航が必要不可欠であり、多様化する観覧者のニーズに対応する船員の資質向上は必要である。
		市の観光に資する観点から、事業主体である市が行うもの。
		類似の事業なし。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	事業費の1 / 2の補助であり、他の事業と比較し妥当である。
		満足度の高い鵜飼観覧船の乗船環境を提供するためには、安全運航が必要不可欠であり、多様化する観覧者のニーズに対応する船員の資質向上は必要である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	視察研修会は開催出来なかった。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	船員不足の状況下で、年間10万人の乗船客が見込まれる観覧船事業を支えるために市が助成しているもの。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	廃止	船員組合の活動がコロナ禍以降からあまり行われず、運営の担い手不足で、今後も活発になる見込みがないため。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660040 004

【1.基本情報】

事業名	観覧船建造事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	鵜飼観覧船事務所		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	2	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		古く傷みの激しい船を廃船し、ニーズに合った新たな船に切り替えて安全運航に努める。また、鵜飼観覧のイメージアップを図り、多くの観光客の誘客を図る。
内容 (手段・手法など)		安全かつ質の高い鵜飼観覧を実施するため、老朽化した船の廃船及び観覧船乗船客のニーズに合った新造船の建造を計画的に行う。観覧船の建造過程を自由に見学できるようにし、まちなか歩きの推進に寄与する。鵜飼観覧船造船技術の継承を行う。
事業 の 対 象	何を	鵜飼観覧船
	誰に	観光客及び市民
	どのくらい	年1隻
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		16人乗り椅子席観覧船「珠玉丸」1隻を建造(R6年5月進水)

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	162	5	159	5	161	5
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	162	5	159	5	161	5

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		9,304	9,304	10,130
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	原材料	5,796	5,796	5,796
	賃金	3,508	3,508	4,334
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		9,304	9,304	10,130

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		9,466	9,463	10,291

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		9,466	9,463	10,291

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	観光客及び市民	観光客及び市民	観光客及び市民
受益者数	13,910	52,889	73,101
受益者負担額(千円)	45,222	184,715	236,167
受益者負担率(%)	477.8%	1952.0%	2294.9%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	680	179	141

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	新造船の建造		単位	隻
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	1	1	1	
実績値	1	1	1	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	新造船の建造		単位	隻
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	1	1	1	
実績値	1	1	1	
達成状況	○(達成)	○(達成)	○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	鵜飼事業に必要不可欠な観覧船建造事業において、安定的かつ継続して観覧船の建造を行うことは必要である。 本市の中心的な観光資源である鵜飼と一体であり、技術者を保護し、後継者を育成しながら、貴重な和船の製造技術を継承する必要がある市が実施すべきである。過去から本市の事業であり、国や県が実施することは、困難と思われる。 類似の事業なし。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	仕入れた原材料から自前で建造することで低廉に建造している。 本市の中心的な観光資源である鵜飼と一体であり、技術者を保護し、後継者を育成しながら、貴重な和船の製造技術を継承する必要がある市が実施すべきである。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	年度中に1隻の船が完成した。造船所の見学により、観光客の滞在時間の延長にも寄与している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	鵜飼事業に必要不可欠な観覧船建造事業において、安定的かつ継続して観覧船の建造を行うことは必要であり、適正である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	鵜飼事業に必要不可欠な観覧船建造事業において、安定的かつ継続して観覧船の建造を行うことは今後も必要である。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号	0660040	005
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	ウミウ捕獲技術保存協議会					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	鵜飼観覧船事務所		
実施方法	補助等	補助等の種類		加入団体負担金	実施主体	ウミウ捕獲技術保存協議会
開始・終了年度	平成	16	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		(H15年の鵜捕り場の崩落を受け、岐阜市長の提案によりH16年に設立され現在に至る。) 鵜飼の伝統文化継承に必要なウミウの安定供給に貢献すること。 岐阜市の宝である「鵜飼」をウミウの安定供給により支えることで観光に寄与すること。
内容 (手段・手法など)		・ウミウ捕獲技術保存に関すること及びウミウの安定供給に関すること。 ・鵜飼文化振興のため環境整備に関すること。 ・ウミウの捕獲から鵜飼実施までにに関する情報交換及び課題の協議。 ・ウミウ捕獲場に関すること。
事業 の 対 象	何を	負担金(加入団体負担金)
	誰に	ウミウ捕獲技術保存協議会
	どのくらい	事業規模は約445万円で日立市(1/2)と有田市を除く11鵜飼開催地(1/2)が拠出する。負担額は、均等割額(10万円)と羽数割(1/4の110万円に過去15年間の鵜の供給割合を乗じて算出した額)で、R5年度は353,000円。
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	323	10	318	10	322	10
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	323	10	318	10	322	10

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		358	358	353
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	358	358	353
	-	0	0	0
	-	0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		358	358	353

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		681	676	675

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		681	676	675

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	観光客及び市民	観光客及び市民	観光客及び市民
受益者数	13,910	52,889	73,101
受益者負担額(千円)	45,222	184,715	236,166
受益者負担率(%)	6640.5%	27324.7%	34987.6%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	49	13	9

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	ウミウ捕獲数(岐阜市分)		単位	羽
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	11	13	13	
実績値	11	13	13	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	ウミウ捕獲数(岐阜市分)		単位	羽
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	11	13	13	
実績値	11	13	13	
達成状況	○(達成)	○(達成)	○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	日立市にあるウミウ捕獲場は、平成23年の東日本大震災で捕獲場に亀裂が入り、崩落の可能性もあるなど、今後のウミウの安定供給のためにも捕獲場の維持は欠かせない。また、ベテランの鷺取り師が引退するなど、後継者育成も課題となっている。協議会を通し、捕獲場の維持及び後継者の育成に寄与している。 鷺飼観覧船事業の主体であり、市域の観光振興を図る市が行う事業である。 類似の事業なし。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	負担金は協議会の平成4年からの累計捕獲数に単価を乗じる形で算出され、毎年負担金が増加していた。このため、平成22年度から算出期間に期限(過去15年間の捕獲総数)を設けることを岐阜市が提案し、増加することに対し歯止めを掛けている。 この協議会のみがウミウ捕獲対策の検討を行っている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	毎年、ウミウを鷺匠に供給(令和3年度11羽、令和4年度13羽、令和5年度13羽) 毎年、約1回捕獲場の補修のほか、通年管理
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	ウミウの安定供給のため、各開催地の負担により実施している。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	岐阜市の宝である「鷺飼」をウミウの安定供給により支えており、今後も必要である。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660040 006

【1.基本情報】

事業名	長良川遊覧船事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	鵜飼観覧船事務所		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成 29 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	岐阜市観覧船に関する条例	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		岐阜市に來られた観光客に本市の遊覧船をPRするとともに、国の重要文化的景観に選定された景色を船上から楽しんでいただくことを目的に遊覧船を運航する。	
内容 (手段・手法など)		鵜飼観覧船乗り場を発着とする遊覧船をGW期間・花見期間に運航する。運航時間は10:00～16:00とし、1時間に1便、1日6便を運航する(最終便15:00出航)。遊覧時間は40分～45分。	
事業 の 対 象	何を	遊覧船	
	誰に	観光客及び市民	
	どのくらい	GW期間(9日間)、花見期間(4日間)	
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	129	4	127	4	129	4
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	129	4	127	4	129	4

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		330	728	563
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	賃金	311	697	547
	報償費	0	0	0
	印刷製本費	0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		330	728	563

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		459	855	692

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	1,269	928
その他		293	0	0
計(F)		293	1,269	928

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		166	-414	-236

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	観光客及び市民	観光客及び市民	観光客及び市民
受益者数	432	1,424	1,017
受益者負担額(千円)	293	1,269	929
受益者負担率(%)	63.8%	148.4%	134.3%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	385	-291	-232

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	開催日数	単位	日
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	17	15	14
実績値	6	14	13

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	遊覧船乗船者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	1,728	1,425	1,316
実績値	432	1,424	1,017
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	開催日においては、多数の方に利用していただき、本市の観覧船をPRすることが出来た。 本体部分の鵜飼事業を市が行っており、この事業のみを民間が実施することは難しい。 類似の事業なし。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	開催日には、令和5年度1,017人の参加があった。多数の乗船者があり効果的である。 長良川周遊航路における定期航路事業の許可を市として受けており、観覧船のPRも十分行っていくことが出来ており直営が適当である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	開催日においては、多数の方に利用していただき、本市の観覧船をPRすることが出来た。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	受益者である乗船者に必要な負担を求めている。観光振興の観点で他市においても自治体の負担により実施している。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	本市の遊覧船を十分PRすることが出来て、景色を船上から楽しんでもいただくことが出来た。目標を十分達成出来ている。 今後も事業全体の収支改善を図る。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660050 001

【1.基本情報】

事業名	アートライブ・ウエルカム！アーティスト					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化芸術課		
実施方法	補助等	補助等の種類		その他負担金	実施主体	アートライブ・ウエルカム！アーティスト実行委員会
開始・終了年度	平成 19 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、文化芸術推進基本計画	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		子どもたちが文化芸術を体感できる機会の充実と文化芸術を担う人材の育成を図る。
内容 (手段・手法など)		岐阜市出身、あるいはゆかりのある芸術家の地元での発表機会を提供し、パフォーマンスを交えながら子どもたちにアーティストの情熱や生き方等を語り伝える。
事業 の 対 象	何を	アーティストの発表の場及び児童・生徒との交流
	誰に	市内の小中学生
	どのくらい	市内の小学校47校、中学校25校を3年間で一巡する。
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	711	22	700	22	1,159	36
パートタイム会計年度任用職員A	1,133	110	1,111	110	1,111	110
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,844	132	1,811	132	2,270	146

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		1,999	2,282	2,436
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	1,999	2,282	2,436
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		1,999	2,282	2,436

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		3,843	4,093	4,706

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		1,999	1,000	1,000
計(F)		1,999	1,000	1,000

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		1,844	3,093	3,706

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	市内の小中学生	市内の小中学生	市内の小中学生
受益者数	4,721	5,061	8,821
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	391	611	420

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	発表の場・学校数	単位	組・校
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	26・26	25・25	24・24
実績値	22・22	24・24	24・24

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	受講児童・生徒数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	6,517	6,266	7,121
実績値	4,721	5,061	8,821
達成状況	× (未達成)	× (未達成)	○ (達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	令和2年度に実施した岐阜市文化芸術に関する市民意識調査において「子どもたちが文化芸術を体感できる機会が必要」との結果が出ており、市民・社会のニーズに合っている。 市内の小中学生を対象に実施するとともに、地元アーティストの活躍の場を拡充する側面もあるため、市を含む実行委員会が実施するのが妥当である。 類似の事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	5,000人以上の小中学生の受益者があり、子どもたちが文化芸術を体感できる機会を創出しており、効果は高い。 市内の小中学校を通じて、学校が希望し依頼した地元アーティストの協力のもと、多くの小中学生へ文化芸術が提供されており、効率的である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	教師のアンケート結果においても大変好評であり、児童・生徒の感想からも本物の文化芸術に触れた感動やアーティストの考えなどを聞くことで新しい発見を得られるなど、満足度も高いため、期待した効果が得られている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	3年間で全小中学校を一巡するように計画している。学校側の判断で学年単位の受講となる場合もあるが、基本的には全ての小中学生が在校中に一回は受講できるようにしている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	学校教育と連携して子どもたちが文化芸術を体験できる機会の充実を図るといふ「岐阜市文化芸術推進基本計画」の施策の方向に合うものであり、地元アーティストの活躍の場を広げ、未来への投資と考えられるとともに、今後岐阜の文化芸術を担うアーティストの育成にもなるため、現状維持すべきである。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660050 002

【1.基本情報】

事業名	岐阜市民文化祭(市民芸術祭)					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化芸術課		
実施方法	補助等	補助等の種類		その他負担金	実施主体	岐阜市民芸術祭実行委員会
開始・終了年度	昭和 63 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、文化芸術推進基本計画	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		岐阜市で活躍する芸術文化団体または個人の優れた活動及び伝統芸能を多くの市民が鑑賞できる機会を作り、岐阜市の芸術文化の高揚を図る。
内容 (手段・手法など)		洋楽、邦楽、洋舞、邦舞、演劇の5部門ごとに、市内の舞台芸術団体または個人が公演を企画、実施する。
事業 の 対 象	何を	岐阜市民芸術祭
	誰に	参加者(出演者及び入場者)
	どのくらい	洋楽、邦楽、洋舞、邦舞、演劇の5部門
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	258	8	318	10	322	10
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	258	8	318	10	322	10

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		5,133	6,433	5,690
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	5,133	6,433	5,690
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		5,133	6,433	5,690

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		5,391	6,751	6,012

【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	5,391	6,751	6,012

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	参加者、観覧者	参加者、観覧者	参加者、観覧者
受益者数	2,114	3,499	5,013
受益者負担額(千円)	7,703	9,901	13,176
受益者負担率(%)	142.9%	146.7%	219.2%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2,550	1,929	1,199

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	公演日数	単位	日
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	31	31	25
実績値	13	31	27

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	出演者数・観覧者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	400・5,600	490・5,000	490・5,500
実績値	136・1,978	313・3,186	504・4,509
達成状況	× (未達成)	× (未達成)	× (未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	舞台芸術活動の創造により市の文化芸術の振興を図ることを目的としている。コロナ禍を除き例年4,000人以上が鑑賞し、鑑賞機会の提供に貢献している。 市民の創作意欲を高め、文芸創作活動の振興と地域文化の向上を図ることを目的としており、岐阜市の文化芸術の振興のため、市を含む実行委員会が実施するのが妥当である。 類似の事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	約5,000人の受益者があり、多くの発表及び鑑賞の機会を創出しており、費用対効果は高い。 市民の舞台活動の発表の場であり、市民が主体となって舞台芸術の創作を行っている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	アーティストの舞台芸術発表の場を多く創出することができており、市民が身近なところで気軽に文化芸術に親しみ、取り組めるような環境づくりにも寄与している。また、演劇においては、聴覚障がい者が楽しめるように字幕による観劇支援も行っている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	行政負担以外に各部会の参加者負担金及びチケット収入があり、それが事業費の約3分の2を占めており、適正である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	令和2年度に実施した市民意識調査結果によると、文化芸術活動に参加したい人の中で、約3割強が「音楽」、約2割が「演劇・踊り」に興味を示しており、様々な舞台芸術を創出し、鑑賞する機会を提供する本事業は、市民の文化芸術の振興に寄与し、岐阜市文化芸術推進基本計画に合致する事業であり、現状を維持すべきである。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660050 003

【1.基本情報】

事業名	岐阜市民文化祭(美術展覧会)					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化芸術課		
実施方法	補助等	補助等の種類		その他負担金	実施主体	岐阜市美術展覧会実行委員会
開始・終了年度	昭和 23 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、文化芸術推進基本計画	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		美術を愛好する市民に広く発表の機会と場を提供するとともに、良い作品を鑑賞することを通して市民の美術文化への関心と情操豊かな市民性を育てる。	
内容 (手段・手法など)		日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、グラフィックデザインの7部門について、作品を公募・審査して、優秀作品を展示し、表彰する。	
事業 の 対象	何を	岐阜市美術展覧会	
	誰に	参加者(応募者及び入場者)	
	どのくらい	日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、グラフィックデザインの7部門	
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		プレイベントとして企画展「岐阜で活躍する美術家たち」を開催し、美術展覧会に関わる作家の作品を展示しながら美術展覧会の開催をPRした。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	258	8	318	10	322	10
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	258	8	318	10	322	10

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		811	5,633	4,880
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	811	5,633	4,880
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		811	5,633	4,880

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		1,069	5,951	5,202

【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	1,069	5,951	5,202

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	出品者・来場者	出品者・来場者	出品者・来場者
受益者数	0	370・2539	326・2,607
受益者負担額(千円)	0	581	532
受益者負担率(%)	0.0%	9.8%	10.2%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	発表の場及び鑑賞可能日数	単位	日
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	9日	10日	10日
実績値	-	10日	10日

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	応募者数・観覧者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	450・3,500	450・3,500	450・3,500
実績値	-	370・2539	326・2,607
達成状況	—	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	75回を迎えた事業であり、多くの来場者に鑑賞してもらい、美術文化への関心と情操豊かな市民性を育てており、必要性がある。 発表の場を提供するとともに、良い作品を鑑賞することを通じて、市民の美術文化への関心と情操豊かな市民性を育てることを目的としており、公共性があり市を含む実行委員会が実施するのが妥当である。 類似の事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市民の発表の場として適切な出品料を徴収する一方、入場料を無料とすることで多くの方に鑑賞できる機会を提供できており、費用対効果が高い。 市民協働で、企画運営しており、更にボランティアを募集し活動している。また、作品の中には広域からの応募もあり、様々な芸術作品を鑑賞できる機会を創出している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	多くの来場者に鑑賞できる機会を提供し、岐阜市美術展覧会を周知することができ、高い効果を得られている。また、市美展を目的に来場していない利用者も鑑賞できており、身近なところで気軽に文化芸術を親しむ機会が創出されている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	岐阜市は出品料を有料としている。岐阜県美術館のぎふ美術展や他市も有料としているが、他市の一部は無料としている。市民から広く作品を募集する本事業においては、受益者負担の観点より適正であると考える。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	令和2年度に実施した市民意識調査結果によると、文化芸術分野の中で、絵画、書、工芸、写真などを鑑賞、活動している人が多く、市民の「美術」への関心度が高いため、本市の文化芸術を推進する基幹事業として、文化芸術の発表の場の創出及び鑑賞の場の提供に貢献している。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660050 004

【1.基本情報】

事業名	岐阜市民文化祭(市民文芸祭)					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化芸術課		
実施方法	補助等	補助等の種類		その他負担金	実施主体	岐阜市文芸祭実行委員会
開始・終了年度	昭和 40 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、文化芸術推進基本計画	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		市民の創作意欲を高め、文芸創作活動の振興と地域文化の向上を図る。	
内容 (手段・手法など)		一般の部では、短編小説、児童文学、現代詩、歌謡、短歌、俳句、川柳、連句、狂俳の9ジャンル、小・中学生の部では、創作、詩、短歌、俳句、川柳、狂俳の6ジャンルを、広く市民から公募し、優秀作品を展示するとともに作品集を出版している。	
事業 の 対 象	何を	岐阜市文芸祭	
	誰に	参加者(応募者及び入場者)	
	どのくらい	一般の部9ジャンル、小・中学生の部6ジャンル	
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		小・中学生の部の開催20回目を記念して、小・中学生の部にて新たに狂俳を募集した。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	323	10	318	10	483	15
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	323	10	318	10	483	15

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		1,664	1,733	1,501
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	1,664	1,733	1,501
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		1,664	1,733	1,501

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		1,987	2,051	1,984

【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	1,987	2,051	1,984

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	応募者・観覧者	応募者・観覧者	応募者・観覧者
受益者数	6,191	7,399	8,085
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	321	277	245

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	鑑賞可能日数	単位	日
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	11	11	12
実績値	11	12	15

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	応募者数・観覧者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	6,000・3,000	5,400・2,600	5750・2800
実績値	5,391・800	5,799・1,600	6235・1850
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	昭和40年から続く事業で毎年多くの応募があり、市民の中に浸透し、文芸創作活動の意欲を高めている。 市民の創作意欲を高め、文芸創作活動の振興と地域文化の向上に貢献するとともに、岐阜市の文化芸術の振興を図ることを目的としており、公共性があり市を含む実行委員会が実施すべきである。 類似の事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	出品料を無料にすることで平均6,000人からの応募があり、多くの文芸創作活動を支えている。また、入場料が無料だからこそ多くの来場者が作品に触れることができるため、これまで文芸に親しみがない市民に観覧してもらう工夫が求められる。 文芸祭の審査員には、岐阜市文芸祭実行委員会より選出された各ジャンルに精通している岐阜市及び近隣居住の専門家に協力していただき、市民協働で開催している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	平均6,000人からの応募があり、多くの文芸創作活動を支えるとともに文芸を発表する場を提供できている。また、小・中学生の部を実施することにより未来を担う子どもたちが文芸に触れられる機会の提供に寄与している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	文芸祭には、一般の部（短編小説、児童文学、現代詩、歌謡、短歌、俳句、川柳、連句、狂俳の9ジャンル）及び小・中学生の部（創作、詩、短歌、俳句、川柳、狂俳の6ジャンル）があり、幅広いジャンルの中から大人から子どもまで応募できる環境が整えられており、公平性が保たれている。また、文芸に気軽に触れ多くの参加を促すには現状が適正である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	令和2年度に実施した市民意識調査結果によると、文化芸術活動をした14.5%の人が「文芸」の分野で活動しており、また、小中学生では、約半数が鑑賞することが好きな分野として「文芸」を挙げている。一般の部、小・中学生の部があり、幅広く応募できる環境が整えられており、文芸に気軽に触れ多くの参加を促すには現状が適正である。ただ、文芸の裾野を広げていくために作品展示や表彰式の方法を見直し、事業効果を高めていく。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号	0660050	005
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	長良川薪能					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化芸術課		
実施方法	補助等	補助等の種類	その他負担金	実施主体	長良川薪能実行委員会	
開始・終了年度	平成	元	年度～	年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、文化芸術推進基本計画

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		長良川、金華山、岐阜城、鶺鴒が揃う岐阜市にしかない特別なロケーションで、一流の演者による伝統芸能の鑑賞機会を提供し、文化芸術に対する興味、関心を高める。 また、長良川薪能におけるサービスの質を高め、観光分野との連携等により、知名度の向上を図り、市民に岐阜市の素晴らしい財産を再認識できる機会とする。
内容 (手段・手法など)		清流長良川と金華山・岐阜城を背景に、鶺鴒のかがり火から火入れを行う全国で唯一の薪能。 毎年一流の演者が河原の舞台で演じる。
事業 の 対 象	何を	薪能
	誰に	市民および観光客
	どのくらい	1,300人
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		金曜日開催から土曜日開催、椅子席主体の会場レイアウト、解説パンフレットの配布 等

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,423	75	3,180	100	3,864	120
パートタイム会計年度任用職員A	381	37	505	50	505	50
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,804	112	3,685	150	4,369	170

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		5,717	11,526	11,914
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	5,696	11,523	11,771
	使用料	16	3	133
	手数料	0	0	10
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		5,717	11,526	11,914

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		8,521	15,211	16,283

【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	333	54	1,221
計(F)	333	54	1,221

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	8,188	15,157	15,062

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	参加者	参加者	参加者
受益者数	112	1,000	1,100
受益者負担額(千円)	0	17	310
受益者負担率(%)	0.0%	0.1%	1.9%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	73,104	15,157	13,693

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	鑑賞機会・体験機会・活動回数	単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	2・4・12	2・4・6	3・4・5
実績値	1・―・3	3・4・5	1・4・7

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	観覧者数・体験者数・サポーター参加者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	1,360・10・40	1,300・35・40	1,300・15・40
実績値	77・―・35	1,000・13・30	1,100・19・28
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	長良川、金華山、岐阜城を背景に、鷺舟の篝火から火入れを行うなど、他市では真似のできない新能であり、一流の能楽師による公演は、来場者からの評価も高く、伝統文化への興味、関心を高めている。 市民が気軽に伝統芸能を鑑賞できる機会を提供するには、市を含む実行委員会が実施するのが妥当である。 類似の事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	座席数を満たす集客かつ、満足度の高い公演を行うには、一流能楽師の出演が不可欠である。また、岐阜市ならではの新能を開催するには、長良川、金華山、岐阜城、鷺飼を背景とする現在の開催場所が適切であり、報酬や会場設営に費用を要する。寄附金や協賛金の積極的な活用など、財源確保について検討を進める。 岐阜青年会議所の協力を得るとともに、市民ボランティアと協働して事業運営を行っている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	長良川河川敷の特設会場で開催することで他の興行との差別化をはかり、定員を大きく超過する観覧申込みがあるほか、来場者アンケートの満足度が高いことから、文化芸術振興の効果が認められる。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	市民が気軽に伝統文化を鑑賞できる機会を提供することを事業目的としており、観覧無料を継続している。一方で、ふるさと納税型クラウドファンディングによる寄附金募集や協賛金募集によって、受益者負担を求めている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	改善	長良川、金華山、岐阜城、鷺飼のある特別なロケーションで、一流の演者による伝統芸能の鑑賞機会を提供することで、市民の文化芸術に対する興味・関心を高めている。 一方で、人件費、物価高騰の影響で、運営にかかる経費が増加しており、市費に依存する現状の運営方法では事業継続が困難となってきた。 受益者負担や企業等からの支援を受けられるよう、今後の財源確保手段などの事業のあり方について、検討する必要がある。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号	0660050	006
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	さんぽde野外ライブ					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化芸術課		
実施方法	補助等	補助等の種類		その他負担金	実施主体	さんぽde野外ライブ実行委員会
開始・終了年度	平成 26 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、文化芸術推進基本計画	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		中心市街地に幾つかのライブ会場を設け、市民に演奏発表の場と回遊しながら気軽に音楽と触れ合う機会を提供することで、文化によるにぎわいの創出を図る。	
内容 (手段・手法など)		一般公募アーティストによる音楽ライブを中心市街地の複数会場で実施する。また、楽市JAZZ楽団による1時間のスペシャルライブを合わせて実施。	
事業 の 対 象	何を	さんぽde野外ライブ	
	誰に	市民	
	どのくらい	年1回	
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		音楽ライブの会場を5会場から4会場に変更した。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,230	100	4,770	150	3,220	100
パートタイム会計年度任用職員A	206	20	202	20	202	20
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,436	120	4,972	170	3,422	120

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		2,255	2,292	1,859
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	2,255	2,292	1,859
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		2,255	2,292	1,859

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		5,691	7,264	5,281

【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	5,691	7,264	5,281

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	出演者及び来場者	出演者及び来場者	出演者及び来場者
受益者数	1,282	1,337	5,617
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	4,439	5,433	940

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	参加組数・開催日数	単位	組・日
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	30・3	30・1	30・1
実績値	36・1	42・1	36・1

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	参加者数・観客数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	150・1,000	190・1,200	200・1500
実績値	194・1,088	237・1,100	211・5406
達成状況	○(達成)	×(未達成)	○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	市民の芸術活動発表の場の創出を図っており、令和5年度は36組の募集に対して72組の応募と2倍の応募団体があることから、必要性がある。 中心市街地のにぎわい創出に寄与するとともに、誰もが気軽に音楽に触れることのできる場を提供することで、広く文化芸術の醸成を図ることができるため、市を含む実行委員会が実施するのが妥当である。 ぎふ信長まつりに「音楽・ダンスステージ」があったが、令和5年度からはダンスに特化したステージとなり、類似の事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	例年、多くの団体から応募があり、市民の芸術活動発表の場として定着しつつあり、令和5年度は5,406人と多数の来場者がいることから、効果が高い。 当日は運営にボランティアの協力を得て、市民協働で実施している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	ぎふメディアコスモスや柳ヶ瀬界隈で野外ライブを開催しており、中心市街地のにぎわいの創出に寄与しており、市民が発表する場として機能するとともに様々なジャンルの音楽に触れる機会が提供できていることから文化芸術振興の効果が認められる。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	出演者を募集し、無料で発表の場を設けているため、誰もが気軽に参加することができる。また、野外で無料のライブを幅広い市民が鑑賞できるため、公平性も高い。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	令和2年度に実施した市民意識調査結果によると、振興が必要な分野に「音楽」を挙げる人が多く、市民の文化発表の場の創出を図るとともに、様々なジャンルの音楽に触れる機会を提供する場として継続する。 ただ、出演応募について事業運営にかかる資金財源の確保や受益者負担の観点から出演料の徴収を検討する。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660050 007

【1.基本情報】

事業名	岐阜文化再発見～民話ライブ～					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化芸術課		
実施方法	補助等	補助等の種類		その他負担金	実施主体	岐阜文化再発見実行委員会
開始・終了年度	平成 17 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、文化芸術推進基本計画	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		岐阜市に残る伝統的建造物や文化財を会場として、地域に伝わる民話を、コンサート等の芸術家によるライブ公演とともに市民に紹介し、地域文化を再発見、再認識してもらう。
内容 (手段・手法など)		岐阜市に残る伝統的建造物や文化財において、その地域にまつわる民話の朗読と、地元ゆかりのあるアーティストとのコラボレーションで開催する。
事業 の 対 象	何を	次代に残したい岐阜市にある伝統的建造物や文化財と、地域に伝わる民話、音楽などの芸術
	誰に	市民
	どのくらい	民話ライブを年間5ヶ所で開催
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	162	5	159	5	161	5
パートタイム会計年度任用職員A	2,060	200	2,020	200	2,020	200
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,222	205	2,179	205	2,181	205

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		958	939	890
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	958	939	890
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		958	939	890

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		3,180	3,118	3,071

【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	3,180	3,118	3,071

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	参加者	参加者	参加者
受益者数	156	187	224
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	20,381	16,674	13,710

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	開催場所・出演者数	単位	カ所・人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	5・15	5・15	4・12
実績値	5・26	5・21	5・22

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	応募者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	250	250	240
実績値	239	268	518
達成状況	×（未達成）	○（達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	伝統的建造物や文化財など、普段行かない、個人ではなかなか入れないような場所での開催により市民が地域文化を再発見できる機会を提供するほか、文化施設以外で芸術に触れる機会を提供しているため、必要性が高い。 岐阜市の地域文化への理解を深めることは、市を含む実行委員会が実施するのが妥当である。 類似の事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	出演料や会場費を要するが、伝統的な建物等を維持する為の協力費としての側面もあり、その場所でもしか味わえない雰囲気を経験するためには妥当である。 岐阜市内の伝統的建造物や文化財を会場に使用し、岐阜市に伝わる民話の朗読や建物の説明等を行うことから市と芸術文化協会とで実施している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	市内に残る伝統的建造物等で民話ライブを鑑賞することにより、岐阜に伝わる民話など地域文化を伝承している。 また文化財保護課の職員に建造物など文化財について話をしてもらうことでより詳細に伝承することができ来場者に満足してもらえる。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	参加者は広報ぎふ等で募集し、収容人数を上回った場合は、抽選で選定しており、公平性がある。一方、受益者は参加者に限定されることから、課題がある。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	令和2年度に実施した市民意識調査結果によると、「伝統的建造物・文化財」の振興が必要と答えた人が多く、市民に地域文化を継承していく機会として、開催場所や内容を工夫しながら継続する。 また、今後は、幅広い世代に知ってもらうために広報の仕方や開催会場を検討するとともに、受益者負担の観点から、参加者から参加料を徴収することを検討する。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660050 008

【1.基本情報】

事業名	こよみのよぶね					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化芸術課		
実施方法	補助等	補助等の種類		その他負担金	実施主体	こよみのよぶね実行委員会
開始・終了年度	平成 18 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、文化芸術推進基本計画	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		岐阜の自然や歴史文化、伝統の技を再発見し、新しい冬の風物詩を創造することを目的としている。
内容 (手段・手法など)		岐阜市出身のアーティスト日比野克彦氏の総合監修のもと、毎年冬至の日に、色付けした和紙と竹でつくった大きな数字行灯にあかりを入れ、鵜飼観覧船の屋根に乗せ長良川に流し、今年を振り返るアートイベント(時を感じる叙情作品)である。
事業 の 対 象	何を	こよみのよぶねの行灯制作、イベント
	誰に	市民
	どのくらい	数字(暦)をモチーフとした行灯(1から12)と干支の13個の行灯を制作。及び当日の観覧。
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		巨大数字行灯を取り付ける鵜飼の観覧船が減ることにより、昨年度より運航する船の数が少ない。(令和4年度10艘→令和5年度8艘)

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員A	103	10	101	10	101	10
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	135	11	101	10	101	10

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		500	500	500
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	500	500	500
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		500	500	500

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		635	601	601

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		635	601	601

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	参加者	参加者	参加者
受益者数	1,000	1,000	1,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	635	601	601

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	参加団体数	単位	団体
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	13	13	13
実績値	13	13	13

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	観覧者数・参加者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	3,000・2,000	2,000・2,000	2,000・2,000
実績値	1,000・1,000	1,000・1,000	1,000・1,000
達成状況	× (未達成)	× (未達成)	× (未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	市内外の各市民団体によって1から12の数字と干支の行灯が様々な年代の方の手作りで制作され、岐阜の自然や歴史文化、伝統の技を次世代へ伝え、披露している観点から必要である。 岐阜市ならではの景観のある金華山の麓を流れる長良川で、鵜飼観覧船を利用して開催される岐阜市民を中心とした活動であり、子どもから大人まで伝統的な技法に触れるなどの機会となる観点からも、市が支援する必要がある。 類似の事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	市以外からも負担金や協賛金を集めて運営されており効率性が高い。 市民主体で開始した活動であるが、学校や民間団体等の協力を得ながら制作をしている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	県内各地で約1,000人の市民の手で行灯製作をした。 例年は、岐阜県内外で制作された巨大数字行灯や制作に携わった方々など、イベント当日に岐阜市の長良川河畔、金華山の麓に集結し、約1,000人以上の人々が集まる岐阜市のイベント、冬の風物詩となっている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	こよみのよぶねの制作やワークショップ、当日のイベントは全て無料で誰でも参加できる。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	岐阜市の冬の風物詩として定着しており、岐阜の自然や歴史文化、伝統の技を再発見し、継承していく市民主体の活動として支援しながら継続していく。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660050 009

【1.基本情報】

事業名	各種芸術文化団体への補助金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化芸術課		
実施方法	補助等	補助等の種類		団体育成(運営)補助金	実施主体	文化団体
開始・終了年度	平成 2 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、文化芸術推進基本計画 岐阜市文化団体補助金交付要綱	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		岐阜市の文化団体を支援することにより、市民の芸術鑑賞の機会を確保し、文化芸術の振興を図る。
内容 (手段・手法など)		文化芸術の発展及び振興のための事業に係る経費、文化団体の広報活動に係る経費を補助する。
事業 の 対 象	何を	補助金
	誰に	市内の文化団体
	どのくらい	当該年度の予算の範囲で、補助対象経費の2分の1以内
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	969	30	954	30	966	30
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	969	30	954	30	966	30

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		1,228	1,102	1,138
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	補助金	1,228	1,102	1,138
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		1,228	1,102	1,138

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		2,197	2,056	2,104

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		2,197	2,056	2,104

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	文化団体	文化団体	文化団体
受益者数	4	4	4
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	549,250	514,000	526,000

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	補助金額・補助団体	単位	千円・団体
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	1,308・5	1,138・4	1,138・4
実績値	1,228・4	1,102・4	1,138・4

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	文化芸術事業数	単位	事業
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	12	19	19
実績値	12	19	19
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	芸術文化の振興と普及を目的とする文化団体を支援することにより、広く市民への芸術文化の提供がされている。
		岐阜市を拠点に芸術文化の振興と普及に寄与することを目的としている団体への補助であり、市が実施する必要がある。
		類似の事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	岐阜市の文化芸術振興に寄与する事業実施団体への補助であり、市民の文化芸術に関する鑑賞機会の提供等がなされている。
		文化団体を通じて、広く市民への芸術文化が提供されている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	市民に対して各団体による様々なジャンルの芸術文化の提供がされており、有効である。文化芸術団体と連携することで、市民の文化芸術活動を推進している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	低	岐阜市を拠点に芸術文化の振興と普及に寄与する団体に対し、市民が多様な芸術文化に触れる機会を拡充することを目的としているものの、特定団体への補助金であるため、公平性については改善の余地がある。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	改善	補助金交付団体の運営状況を鑑みたくえで、補助金減額や交付終了などの処置を進め、市の文化芸術振興において必要不可欠な事業については、運営補助から事業補助への切り替えを進めるなど、補助金制度のあり方について検討を行う。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660050 010

【1.基本情報】

事業名	文化会館施設整備					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化芸術課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	42	年度～	年度	根拠法令・関連計画 文化芸術基本条例、文化芸術推進基本計画 岐阜市文化会館条例・規則	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		市民の文化及び教養の向上と福祉の増進を図る。	
内容 (手段・手法など)		文化会館(市民会館及び文化センター)の施設整備	
事業 の 対 象	何を	改修工事	
	誰に	文化会館	
	どのくらい	必要箇所	
令和5年度からの変 更点 (継続事業の場合)		—	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,584	80	2,544	80	2,576	80
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,584	80	2,544	80	2,576	80

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		31,563	317,256	332,140
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	委託料	7,810	36,393	18,379
	工事請負費	22,268	263,768	287,961
	備品購入費	0	17,095	24,972
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		31,563	317,256	332,140

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		34,147	319,800	334,716

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		18,000	246,200	256,200
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		18,000	246,200	256,200

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		16,147	73,600	78,516

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	施設利用者	施設利用者	施設利用者
受益者数	114,976	153,176	177,095
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	140	480	443

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	実施工事数	単位	件
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	2	6	8
実績値	2	7	12

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	施設利用者	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	300,000	300,000	300,000
実績値	114,976	153,176	177,095
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	本市の芸術文化の拠点としての役割を維持するため、老朽化に伴い 計画的に整備する必要がある。 市所管施設であり、市が実施すべき。 類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	市民の円滑な施設利用のため、必要最小限の工事を行っている。ま た、複数工事を同時期に施行することで会館の休館期間の短縮に努 めている。 施設の老朽化や設備の経年劣化状況を考慮した計画を策定し、可能 な限り効率的に修繕している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	施設の老朽化が進んでいるため、市民が安心・安全に施設を利用でき るよう適切な改修等を実施し、予期せぬ故障や事故等の発生を防いで いる。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	施設利用者に不便がないよう改修や備品購入を行っている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状 維持	両施設とも老朽化が進んでいることから、岐阜市文化会館個別施設計 画に基づき、継続的に改修を行っている。財政的負担の軽減及び平 準化を図るよう今後も計画的な施設整備に努める。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660050 011

【1.基本情報】

事業名	文化会館指定管理					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化芸術課		
実施方法	委託(出資団体)	補助等の種類		その他	実施主体	(一財)岐阜市公共ホール管理財団
開始・終了年度	平成 18 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	文化芸術基本条例、文化芸術推進基本計画 岐阜市文化会館条例・規則	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		市民の文化及び教養の向上と福祉の増進を図る。	
内容 (手段・手法など)		文化センター及び市民会館の運営管理及び文化芸術事業の実施	
事業 の 対 象	何を	文化センター及び市民会館	
	誰に	市民	
	どのくらい	年間約30万人	
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,584	80	2,544	80	2,576	80
パートタイム会計年度任用職員A	124	12	121	12	121	12
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,708	92	2,665	92	2,697	92

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		338,466	351,786	348,939
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	指定管理料	338,466	351,786	348,939
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		338,466	351,786	348,939

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		341,174	354,451	351,636

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		62,219	74,078	73,245
その他		9,250	12,503	9,257
計(F)		71,469	86,581	82,502

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		269,705	267,870	269,134

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	施設利用者	施設利用者	施設利用者
受益者数	114,976	153,176	177,095
受益者負担額(千円)	71,469	86,581	82,502
受益者負担率(%)	20.9%	24.4%	23.5%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2,346	1,749	1,520

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	指定事業数	単位	事業
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	11	11	11
実績値	11	11	10

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	施設利用者数・両館平均稼働率	単位	人・%
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	300,000・35	300,000・35	300,000・35
実績値	114,976・30	153,176・33	177,095・32
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	市民の文化及び教養の向上と福祉の増進を図るために、鑑賞型事業、市民参画創造型事業、普及・育成事業を効果的に実施しており、地域文化の拠点施設としての役割を果たしている。 貸館事業のみならず、本市の文化の拠点として、文化芸術事業の実施や文化芸術活動を支援する機能を有する施設として市が設置している。 類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	指定管理料や老朽化に伴う施設整備費等に対して使用料等の収入は少ない。 文化芸術事業や活動をコーディネートするノウハウを有する指定管理者が運営を行っている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	いずれも中心市街地という好立地に位置し、様々なシーンに対応できる施設機能を有することから（文化センター：小劇場500席、催し広場2,000席、市民会館：大ホール1,501席）、練習室や会議室などの稼働率も高く、市民の文化の拠点として高い効果を得ている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	使用料等に関しては、周りの施設の状況を踏まえ、引き続き検討する必要がある。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	貸館事業のみならず、本市の文化の拠点として、文化芸術事業の実施や文化芸術活動を支援する機能を有し、市の文化芸術振興に重要な役割を担っている。ただし、指定管理料に対して使用料等の収入は少ない（受益者負担割合の目標40％に満たない）ことから、収入増、支出減の方策を検討する。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号	0660050	012
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	「清流の国ぎふ」文化祭2024開催準備事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化芸術課		
実施方法	補助等	補助等の種類	その他負担金	実施主体	「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜市実行委員会	
開始・終了年度	令和4年度	～	令和6年度	根拠法令・関連計画	国民文化祭開催要綱、障害者芸術・文化祭開催要項、 「清流の国ぎふ」文化祭2024基本構想	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		令和6年度に開催される第39回国民文化祭、第24回全国障害者芸術・文化祭において、岐阜市で実施する全国文化交流事業、及び地域文化発信事業の円滑な運営を図ることで、岐阜市の魅力を発信するとともに、アフター・コロナ時代の新しい未来の創造につなげる。
内容 (手段・手法など)		岐阜市主催事業を実施する部署・文化芸術団体等と連携して事業計画案を固めるほか、県実行委員会との連絡・調整により、広報宣伝などを実施して開催の機運を盛り上げる。
事業 の 対 象	何を	市実行委員会総会開催、先催市調査、実施計画案の策定等開催準備
	誰に	実行委員会委員、先催市、文化芸術団体、事業参加者
	どのくらい	総会の開催年1回、先催市調査3都市、実施事業計画案29事業
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		市負担金と県実行委員会からの補助金を財源に、文化団体等に対して補助金を交付するようになった。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	4,134	130	41,860	1,300
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	4,134	130	41,860	1,300

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	218	3,472
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	0	0	3,472
	旅費	0	132	0
	消耗品費ほか	0	86	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	218	3,472

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	4,352	45,332

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	4,352	45,332

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	—	参加者	参加者
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	実施調整を行う事業数		単位	事業
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	-	10	29	
実績値	-	10	29	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	実施計画案を策定した事業数		単位	事業
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	-	10	29	
実績値	-	10	29	
達成状況	—	○（達成）	○（達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	清流がもたらした自然、歴史、伝統、技、文化などをあらためて知り学び、岐阜 県の魅力として発信するとともに、文化芸術の新しい未来の創造につなげるも のであることから、市民・社会のニーズに合うと考える。 国、県、県内全市町村の参加により開催される文化祭であり、県実行 委員会から市実行委員会に対して補助をうける形をとるため、必要で ある。 類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	必要最小限の費用により、事業計画案の策定及び総会の開催ができ た。 実行委員会及び文化芸術団体に主体的に担っていただいている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	事業計画案が策定でき、関係団体が連携するための実行委員会開催 や団体との打ち合わせ、先催市調査ができたことから、令和6年度の開 催に着実につなげることができた。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	準備段階であるため受益者自体がごくわずかであるほか、受益者が負 担すべき内容も現時点ではごくわずかである。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	拡充	準備を加速していく。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号

0660060

001

【1.基本情報】

事業名	岐阜市多文化交流推進事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	国際課		
実施方法	委託(出資団体)	補助等の種類		実施主体	(公財)岐阜市国際交流協会	
開始・終了年度	平成	22	年度～		年度	根拠法令・関連計画 岐阜市多文化共生推進基本計画

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		市民に対し、様々な分野での国際交流の機会を提供し、国際理解の推進を図るとともに、外国人市民の定住化や長期滞在化に伴う多文化共生社会の実現に向けた取り組みを行う。
内容 (手段・手法など)		国際交流及び多文化共生に関する事業
事業 の 対 象	何を	国際理解の推進及び多文化共生社会の実現
	誰に	市民
	どのくらい	年間350日(みんなの森 ぎふメディアコスモスの通常開館日数)
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	4,199	130	4,134	130	4,186	130
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	4,199	130	4,134	130	4,186	130

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		35,244	37,257	43,992
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	国際交流推進事業	484	876	2,335
	多文化共生推進事業	34,760	36,381	41,657
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		35,244	37,257	43,992

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	39,443	41,391	48,178

【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	1,607	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	1,607	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	37,836	41,391	48,178

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	403,683	401,779	400,470
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	94	103	120

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	国際交流・多文化共生推進事業及び講座開催回数	単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	20	20	20
実績値	24	21	24

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	国際交流・多文化共生推進事業及び講座参加人数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	10,665	10,665	10,665
実績値	1,990	2,260	4,313
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	外国人市民の定住化や長期滞在化が進む中、数多くの事業や講座を実施し、外国人市民にとって安心・安全な生活環境をつくり、本市における国際交流・多文化共生社会の推進を図ることに繋がっている。 友好姉妹都市との交流事業及び「岐阜市多文化共生推進基本計画」に基づく各種事業等、広く市民を対象とした多文化交流推進事業を実施するため、市が（公財）岐阜市国際交流協会に事業を委託している。 類似事業なし。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	国際交流・多文化共生社会の推進を図るために活動する（公財）岐阜市国際交流協会に業務を委託することは、事業実施において効率的である。 （公財）岐阜市国際交流協会が、民間及び市民と行政とのパイプ役を担っており、市民協働で事業を進められている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み 【2】【7】から	高	みんなの森ぎふメディアコスモス内の「多文化交流プラザ」を中心として、様々な事業を展開することにより、多くの外国人市民や日本人市民が多文化交流の推進を図ることが出来ている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	各種事業は、全市民を対象に多文化交流の推進を図るものであり、受益者負担は適正である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	（公財）岐阜市国際交流協会と連携し、みんなの森ぎふメディアコスモス内の「多文化交流プラザ」を本市における多文化交流の中核的な場所として各種事業を実施することで、多文化共生と国際交流の推進を図れている。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660060 _ 002

【1.基本情報】

事業名	外国人のための日本語講座事業補助金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	国際課		
実施方法	補助等	補助等の種類		団体事業補助金	実施主体	(公財)岐阜市国際交流協会
開始・終了年度	平成 17 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	日本語教育の推進に関する法律、岐阜市補助金等交付規則、岐阜市外国人のための日本語講座補助金交付要綱	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		外国人等が日本語を習得する機会の確保及び環境の整備
内容 (手段・手法など)		外国人のための日本語講座の実施団体に対し、補助金を交付して当該講座の運営を補助する。
事業 の 対 象	何を	外国人のための日本語講座に対する補助金
	誰に	当該講座を実施する団体
	どのくらい	事業に要する経費の1/3(ただし、上限240千円(年))
令和5年度からの変 更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	65	2	64	2	64	2
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	65	2	64	2	64	2

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		240	240	240
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	団体事業補助金	240	240	240
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		240	240	240

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	305	304	304

【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	305	304	304

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	外国人市民	外国人市民	外国人市民
受益者数	8,767	9,850	11,095
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	35	31	27

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	講座開講数	単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	150	130	143
実績値	150	130	143

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	講座参加者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	40	40	40
実績値	35	39	62
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	岐阜市の外国人市民は11,095人おり、今後も増加が見込まれる状況。外国人市民に正確な情報を伝え、またコミュニケーションを図る上で、より多くの外国人市民に日本語の学習機会を提供することが必要。 本市における多文化共生の推進を図る事業に対する補助金交付であり、市が担う必要がある。 類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	当該講座は専門・体系的でありつつ、補助金の交付等により授業料は民間日本語学校に比べ安価に設定されており、外国人市民の需要に応えている。 日本語講座の開催実績があり、本市の日本語教育の推進に寄与する者を対象に事業補助を行うことで、効率化を図っている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	当該事業は専門教育を受けた講師による体系的な日本語教育であり、外国人市民にとって効果的な学習機会を提供できている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	講座を実施する団体及び受講する外国人も講座の経費を負担しており、また、外国人市民の日本語能力が向上することで、市の多文化共生の推進につながるため、受益者負担は適当である。
(総合評価) ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	日本語学習機会の確保及びその水準の維持のために必要な事業であり、継続して実施する。外国人市民の日本語能力向上は多文化共生の推進に大きく寄与するものであり、講座を実施する団体と連携し、当該講座の周知等に取り組み、より効果的な事業となるよう努める。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660070 001

【1.基本情報】

事業名	岐阜市スポーツ協会事業補助金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	市民スポーツ課		
実施方法	補助等	補助等の種類		団体育成(運営)補助金	実施主体	岐阜市スポーツ協会
開始・終了年度	昭和 22 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	スポーツ基本法第34条	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		岐阜市スポーツ協会は体育、スポーツの普及・振興を図り、市民の体力向上とスポーツを通じた人格形成を目的として設立された団体であり、市内各スポーツ競技団体を統括する唯一の団体であるため、その事業について補助を行う。
内容 (手段・手法など)		各種目市民大会やスポーツにおいて優秀な成績を収めた者、功労者の表彰事業など、その事業にかかる費用の補助。
事業 の 対 象	何を	事業費補助金
	誰に	岐阜市スポーツ協会
	どのくらい	事務局費及び事業費(加盟団体への支援費(大会開催費用、団体運営費用)を支出) 参考: 令和5年度決算額17,511,829円うち補助金額 R5年度5,200,000円
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,230	100	3,180	100	3,220	100
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,230	100	3,180	100	3,220	100

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		4,504	5,157	5,200
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	補助金	4,504	5,157	5,200
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		4,504	5,157	5,200

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		7,734	8,337	8,420

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		7,734	8,337	8,420

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	種目協会及び協会登録者	種目協会及び協会登録者	種目協会及び協会登録者
受益者数	12,931	15,713	24,327
受益者負担額(千円)	380	380	380
受益者負担率(%)	4.9%	4.6%	4.5%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	598	531	346

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	協会登録者	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	40,000	40,000	40,000
実績値	12,931	20,172	24,327

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	市民スポーツ大会参加者	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	20,000	20,000	20,000
実績値	7,237	7,872	9,475
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	スポーツを通じて、競技力及び体力の向上に貢献し、健康増進のみならず、明るく豊かな生活を望む市民のニーズにかなっている。 岐阜市で行われるスポーツ競技を統括する唯一の団体であり、上部団体である地区、県、国の各スポーツ協会との連携が可能である。 他に類似の事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	各競技団体の協会登録者は、競技委員、指導者及び選手と広範囲に効果が及んでいる。 市民スポーツ大会の参加者も大変多く効率的である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	岐阜市スポーツ協会及び各競技団体の共催で各競技市民スポーツ大会を多数実施し、市民のスポーツ参加、競技力アップの動機づけとなっている。また、生涯を通じてスポーツに親しんでいくという「生涯スポーツの振興」は、市民の健康維持にも効果的な方策となっている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	全競技団体へ、一律2万5千円の協会事業費を補助している。 市民スポーツ大会を開催している競技団体に対しては市民大会開催補助を加算しており、適正であると考える。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	岐阜市スポーツ協会の活動を通して、競技力アップ、生涯スポーツの普及、市民の健康維持に貢献しているため。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660070 002

【1.基本情報】

事業名	市民総合スポーツ大会					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	市民スポーツ課		
実施方法	委託(その他)	補助等の種類		実施主体	岐阜市スポーツ協会	
開始・終了年度	昭和 22 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	スポーツ基本法第23条	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		市民のスポーツ振興とスポーツに親しむことにより、体力の向上や健康の増進のみならず、明るく豊かな生活や生きがいづくりを図る。	
内容 (手段・手法など)		スポーツの日(10月第2日曜日)を中心とする期間に各競技種目において、市民を対象とした総合スポーツ大会を岐阜市主催により開催する。	
事業 の 対 象	何を	市民総合スポーツ大会	
	誰に	市民	
	どのくらい	30競技	
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	323	10	318	10	322	10
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	323	10	318	10	322	10

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		998	2,086	1,946
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	委託料	998	2,086	1,946
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		998	2,086	1,946

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		1,321	2,404	2,268

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		1,321	2,404	2,268

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	大会参加者	大会参加者	大会参加者
受益者数	5,694	7,841	8,453
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	232	307	268

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	競技種目数	単位	種目
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	30	30	30
実績値	14	27	28

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	大会参加者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	20,000	20,000	20,000
実績値	5,694	7,841	8,453
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	実施競技種目数も多く、気軽に参加できる生涯スポーツの大会を実施している。 市民に広く競技スポーツを実施する民間団体はなく、市が担うが、大会運営に於いては、各競技団体のスキル及びノウハウが必要である。（運営役員・審判の手配、試合の組合せ等） 類似の事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	国、県もそれぞれ競技スポーツの大会を開催しているが、市民が気軽に参加できるわけではない。対して本大会は、参加者自身が競技レベルを測るのに効果がある。 岐阜市が岐阜市スポーツ協会に委託している。それぞれの大会運営は、岐阜市スポーツ協会に加盟する各競技団体が行っており、現行が最も効率的であると考えている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	大会をスポーツの日近辺で実施するよう、期間を限定しているので、毎年、岐阜新聞と中日新聞にある程度まとめて掲載され、出場者や保護者である市民の注目も高く、参加者のスポーツに対するモチベーションアップに効果がある。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	大会役員の人数を根拠とし、また、会場費は8割と一定部分を補助している。 経費が多くかかる種目は、個人負担とするなど各競技協会に対応している。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	岐阜市内で各種目団体が実施している大会以外に、市民を対象としたスポーツ大会は他になく、参加者の運動意欲、市民のスポーツに親しむ機会を維持するために大会形式のイベントは必要と考えられる。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660070 003

【1.基本情報】

事業名	各種スポーツ大会派遣補助事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	市民スポーツ課		
実施方法	補助等	補助等の種類		団体事業補助金	実施主体	岐阜市スポーツ協会
開始・終了年度	昭和 24 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	岐阜市スポーツ協会振興補助金交付要綱	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		各種国際大会や全国大会に参加することにより、グローバルな市民育成、国際親善に寄与するとともに競技力向上をはかるため。	
内容 (手段・手法など)		国際大会や全国大会、その他の大会に出場する選手を支援するために、補助金を交付する。	
事業 の 対 象	何を	補助金	
	誰に	・市内に在住、在勤、若しくは在学する者又は本市出身者で、国際大会に出場する選手。 ・市内に在住又は本市に所在する小中高等学校に在学する者で、全国大会に出場する選手。	
	どのくらい	オリンピック等 国外50,000円 オリンピック等 国内25,000円 その他の国際大会 国外30,000円 その他の国際大会 国内15,000円 全国大会 宿泊あり10,000円 全国大会 宿泊なし 5,000円	
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	97	3	318	10	451	14
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	97	3	318	10	451	14

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		2,800	5,085	5,680
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	補助金	2,800	5,085	5,680
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		2,800	5,085	5,680

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		2,897	5,403	6,131

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		2,897	5,403	6,131

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	大会参加者	大会参加者	大会参加者
受益者数	184	348	477
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	15,744	15,526	12,853

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	大会件数	単位	件
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	90	90	150
実績値	58	135	147

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	大会参加者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	300	300	400
実績値	184	348	477
達成状況	×（未達成）	○（達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	国際大会、全国大会への出場等にかかる費用の負担を軽減することは、高い水準で競技を続けるために必要不可欠なものである。 市ゆかりの選手が国際大会や全国大会に出場し、活躍することで、市民のシビックプライドの醸成や地域への愛着の向上につながるため、市が担う必要がある。 類似の事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	国際大会や、全国大会等高い水準で開かれる大会に出場する選手を支援することは岐阜市のスポーツ振興、競技力向上に寄与している。 岐阜市の選手を補助するのは岐阜市に縁のある者が行うべきと考えられ、民間には補助事業は難しいことから岐阜市が取り組むのが妥当である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	令和5年度ではのべ477人の国際大会、全国大会出場者の負担を軽減することができた。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	競技人口等により、大会数や出場資格が種目によって異なり、補助金を受給できる競技に差がでる。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	国際大会、全国大会に出場する選手を補助し、スポーツの振興、競技力の向上に寄与しているため、必要な支援である。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号	0660070	004
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	新春ぎふシティマラソン大会					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	市民スポーツ課		
実施方法	委託(その他)	補助等の種類		実施主体	岐阜市スポーツ協会	
開始・終了年度	昭和25年度～		年度	根拠法令・関連計画	岐阜市スポーツ推進計画	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		昭和25年の越年マラソン大会に始まり、過去には高橋尚子さんが出場し優勝している歴史深い大会であり、市民が気軽に参加できるマラソン大会として継続すべき事業である。
内容 (手段・手法など)		年齢・性別などに分けて、マラソン6部門を行う。
事業 の 対 象	何を	マラソン大会
	誰に	中学生以上の健康な市民
	どのくらい	年齢・性別などに分けて、マラソン6部門を行う。
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,615	50	1,590	50	1,610	50
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,615	50	1,590	50	1,610	50

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		1,855	1,505	1,927
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	委託料	1,855	1,505	1,927
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		1,855	1,505	1,927

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		3,470	3,095	3,537

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		3,470	3,095	3,537

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	大会参加者	大会参加者	大会参加者
受益者数	698	571	593
受益者負担額(千円)	0	0	315
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	8.9%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	4,971	5,420	5,965

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	申込人数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	1,250	1,250	1,250
実績値	834	757	678

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	大会参加者	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	1,000	1,000	1,000
実績値	698	571	593
達成状況	× (未達成)	× (未達成)	× (未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	歴史深く、市民に親しまれている大会であり、市民の健康意識を高める良い機会となっている。 主に市民を対象とした大会であり、市が運営する規模として適正である と考える。 類似事業なし
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	警備費等の大会運営コストが増加する中、令和5年度からは受益者負担として 参加費を徴収することで参加者一人当たりのコスト低減を図っている。 低廉な参加費と適切なコース設定によって身近で誰もが気軽に参加できる大会 となっている。 岐阜市スポーツ推進委員連絡協議会や岐阜市スポーツ指導員連絡 協議会、高校生補助員などの協力を得ながら実施しており、完全な民 営化は難しい。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	身近で誰もが気軽に参加できる大会となっており、市民の健康づくりの一 翼を担っている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	参加費も低廉であり、市民の誰もが気軽に参加できる大会として定着 している。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状 維持	歴史深く、市民に親しまれている大会であり、市民の健康意識を高め る良い機会となっているため、現状維持により継続していく。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660070 005

【1.基本情報】

事業名	「岐阜スーパース」連携推進					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	市民スポーツ課		
実施方法	委託(民間)	補助等の種類		実施主体	岐阜バスケットボール株式会社	
開始・終了年度	令和	4	年度～	年度	根拠法令・関連計画	スポーツ推進計画

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		市民に夢と感動を与え、市民の一体感を醸成するプロスポーツチームの活動を、市民の文化として支え育むとともに、これを活かして市民スポーツの推進を図る。	
内容 (手段・手法など)		岐阜スーパース活用事業運営業務委託 ・ホームタウンデーの開催 ・小学生交流事業	
事業 の 対 象	何を	岐阜スーパースを活かした市民スポーツ推進活動	
	誰に	岐阜市民	
	どのくらい	・ホームタウンデー市民無料招待1回 ・小中学生交流事業6回	
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	509	16	515	16
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	509	16	515	16

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	957	957
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	委託料	0	957	957
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	957	957

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	1,466	1,472

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	1,466	1,472

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	—	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	0	400,000	400,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	4	4

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	ホームタウンデー広報案内	単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	-	1	1
実績値	-	1	1

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	ホームタウンデー来場者(岐阜市民)	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	-	2,000	2,000
実績値	-	1,451	1,315
達成状況	—	× (未達成)	× (未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	試合観戦者も多く、市民がこの事業によってトップスポーツに触れることができ、ニーズに合っている。 スポーツの推進を図るために、岐阜市民の方を対象とした事業のため、市が担う必要がある。 事業者が異なるため、「FC岐阜」連携推進事業との統廃合はできない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	市民がプロバスケットボールの試合を現地で観戦することで、スーパースの認知度向上、スポーツ推進活動の促進、家族での外出機会の増加などが見込める。また、観戦による交流人口増加により、公共交通機関の利用等の促進が図られ、費用対効果が高いと考える。 なし
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	ホームタウンデーでは多くの市民の方が来場された。また、市内小中学生との交流事業(プロバスケットプレーヤーによる直接指導やバスケットボール教室開催など)の需要があることから、非常に効果があると考ええる。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	岐阜市民の方を対象とし、機会を与えている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	来場者数の実績から見ても、多くの方に需要があり、スーパースの認知度向上にも繋がっており、今後も継続していく。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660070 006

【1.基本情報】

事業名	岐阜市スポーツ少年団事業補助金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	市民スポーツ課		
実施方法	補助等	補助等の種類		団体事業補助金	実施主体	岐阜市スポーツ少年団本部
開始・終了年度	平成 3 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	岐阜市スポーツ少年団事業補助金交付要綱	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		市内の単位スポーツ少年団の統括団体である岐阜市スポーツ少年団本部の事業を補助する。 岐阜市スポーツ少年団本部はスポーツのもつ教育的な機能を活かし、スポーツ活動を通じた青少年の健全育成及び交流を目的として設立された団体であり、事業の企画・運営、県・地区スポーツ少年団との連絡調整を行っている。	
内容 (手段・手法など)		リーダー研修会、市スポーツ少年団大会、スポーツ少年団表彰、スタートコーチ養成講習会等、 各事業にかかる費用の補助	
事業 の 対 象	何を	事業補助金の交付	
	誰に	岐阜市スポーツ少年団本部	
	どのくらい	事業補助金 1,250,000円	
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	8,398	260	8,268	260	8,372	260
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	8,398	260	8,268	260	8,372	260

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		1,375	1,250	1,250
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	補助金	1,375	1,250	1,250
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		1,375	1,250	1,250

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		9,773	9,518	9,622

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		9,773	9,518	9,622

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	スポーツ少年団団員、指導者	スポーツ少年団団員、指導者	スポーツ少年団団員、指導者
受益者数	4,078	4,023	4,036
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2,397	2,366	2,384

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	スポーツ少年団加入率		単位	%
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	20	20	20	
実績値	15	15	16	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	団員数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	3,877	3,853	3,794
実績値	3,007	3,004	3,084
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	市内各小学校等で小学生のスポーツ活動の場を提供しているスポーツ少年団の岐阜市本部である。
		指導者、リーダーの研修、市大会等開催のため、必要である。 国、県、地区に上部団体がある。
		なし
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	市内3,084名（令和5年度）の団員がスポーツ少年団活動を行い、団員の心と体を育む。
		なし
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	市内各小学校等で小学生のスポーツ活動の場を提供し、また指導者、リーダー候補団員への研修、大会、表彰を行っており、有効性は高い。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	市内の小学生はすべて単位団に加入することができ、市内の単位団すべてに対して指導者研修会、リーダー研修会、各種目大会、表彰を行っており公平である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	スポーツ少年団は子どもたちにスポーツの楽しさを伝えること、スポーツを通して心と体を育てること、スポーツを通じて人々をつなぎ、地域づくりに貢献することを理念として活動している。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号	0660070	007
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	ハイレベル指導者派遣事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	市民スポーツ課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	25	年度～	令和	5	年度 根拠法令・関連計画 —

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		各スポーツリーダー等を学校行事やスポーツ教室等へ派遣し、直接話を聞いたり指導を受けたりすることのできる機会づくりを支援することを通して、子どもをはじめとする市民に夢や希望をもたせ、運動・スポーツを積極的に行おうとする意欲と実践的態度をはぐくみ、体力の維持・向上を図る。
内容 (手段・手法など)		各団体へ国体で活躍したスポーツ選手や県体協スポーツリーダーバンクに登録している指導者等を派遣し、講話や実技指導の機会をもつ。
事業 の 対 象	何を	指導者への謝金
	誰に	市内小中学校、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ
	どのくらい	1団体10回を上限とする
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	517	16	509	16	515	16
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	517	16	509	16	515	16

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		284	158	240
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	報償費	284	158	240
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		284	158	240

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		801	667	755

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		801	667	755

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	派遣先団体の参加者数	派遣先団体の参加者数	派遣先団体の参加者数
受益者数	86	816	1,521
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	9,312	817	497

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	市内団体への案内	単位	団体
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	125	125	125
実績値	125	125	125

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	指導者派遣数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	110	50	40
実績値	44	23	40
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	優秀な指導者から指導をしてもらえる機会をつくるという点が有益である。 岐阜市民に対する事業なので市で行う必要がある。 類似の事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	各団体は無料で優秀な指導者から指導されるので費用対効果は高い と考える。 他に効率的な方法はない。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	各団体がスポーツクラブとしてスポーツを推進していきたいという意気 込みをもってできたことが大きな成果となった。講師に謝金を助成する ことで、指導者も責任をもって取り組むことができた。また、指導者の今 後のモチベーションにもつながる。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	低	市内の各団体（市内の全小・中学校、特別支援学校、スポーツ少年 団、総合型地域スポーツクラブ、岐阜市体育館等）に呼びかけ、機会 を設けているものの、岐阜県スポーツ協会スポーツリーダーバンクが廃 止になったため、新規で指導者を見つけるのが難しい状況であった。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	廃止	派遣可能な指導者の条件である岐阜県スポーツ協会スポーツリー ダーバンクが廃止になったのを受け、団体が新規の指導者を探すのが 困難になり要望はあるものの特定の団体が事業を利用している状況で あったため。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660070 008

【1.基本情報】

事業名	岐阜市スポーツ推進委員支援事業補助金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	市民スポーツ課		
実施方法	補助等	補助等の種類		団体事業補助金	実施主体	岐阜市スポーツ推進委員連絡協議会
開始・終了年度	昭和 42 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	岐阜市スポーツ推進計画	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		生涯スポーツ、地域スポーツの推進を目的に、コミュニティづくり及び多世代が集うスポーツの場を展開できるよう研究及び実施する
内容 (手段・手法など)		協議会の事業費を補助する。 市内全50地域に2名のスポーツ推進委員を配置し、地域のスポーツ振興が充実・発展するよう企画や運営を行う。委員は研修会等に参加し、地域スポーツの研究も行う。また、市の事業にも協力していただく。
事業 の 対 象	何を	事業費補助金
	誰に	岐阜市スポーツ推進委員連絡協議会、(市民、参加者)
	どのくらい	補助金:450,000円(全体研修会(3回/年)、生涯スポーツ大会の実施、全国・岐阜地区等の研修会への参加等)
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,584	80	2,544	80	2,576	80
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,584	80	2,544	80	2,576	80

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	450	450
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	補助金	0	450	450
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	450	450

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		2,584	2,994	3,026

【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	2,584	2,994	3,026

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	岐阜市スポーツ推進委員 岐阜市民(事業参加者)	岐阜市スポーツ推進委員 岐阜市民(事業参加者)	岐阜市スポーツ推進委員 岐阜市民(事業参加者)
受益者数	528	1,415	1,818
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	4,894	2,116	1,664

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	事業開催回数	単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	15	15	15
実績値	4	12	12

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	参加者	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	3,000	3,000	3,000
実績値	528	1,415	1,818
達成状況	× (未達成)	× (未達成)	× (未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	市民が気軽に参加できる生涯スポーツ大会等を実施しており、市民の 貴重な運動・スポーツ機会の創出に寄与している。 岐阜市の非常勤公務員であるスポーツ推進委員の協議会であり、国・ 県・地区にも上部団体がある。 類似事業はない
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	幅広い世代の市民が参加できる生涯スポーツ大会等の実施により、市 民のスポーツ振興に寄与するものであるため、費用対効果は高い。 公益性のある事業を企画、実施する協議会の運営費を一部補助する ものであり、民間活用等は難しい。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	様々な生涯スポーツ大会等の実施により、幅広い世代の市民が気軽 に運動できる環境を提供することで、岐阜市のスポーツ振興に寄与し ている。また、研修会等の実施、参加により、スポーツ推進委員自身の 資質向上に努め、市民に還元できている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	委員は、市内各自治会50地域から各2名ずつ選出され、各地域にお いて体育振興会等と協力し、スポーツの推進を図っている。また、市の スポーツ事業運営への協力により、多くの市民へのサービス提供が行 われているため、公平性は高い。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状 維持	本市の生涯スポーツの推進に大きく寄与しているため、現状維持

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660070 009

【1.基本情報】

事業名	岐阜市スポーツ指導員支援事業補助金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	市民スポーツ課		
実施方法	補助等	補助等の種類		団体事業補助金	実施主体	岐阜市スポーツ指導員連絡協議会
開始・終了年度	昭和 55 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	岐阜市スポーツ推進計画	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		スポーツ指導員が参加する研修会、交流会等の開催、各種スポーツ教室、地域のスポーツ行事等へのスポーツ指導員の派遣等、岐阜市スポーツ指導員連絡協議会の事業を補助する。	
内容 (手段・手法など)		全体研修会(3回)実施、総会の実施、指導者の派遣依頼対応、市イベントへの協力	
事業 の 対 象	何を	事業補助金	
	誰に	岐阜市スポーツ指導員連絡協議会	
	どのくらい	事業補助金 52,000円	
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,615	50	1,590	50	1,610	50
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,615	50	1,590	50	1,610	50

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		52	52	52
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	補助金	52	52	52
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		52	52	52

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		1,667	1,642	1,662

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		1,667	1,642	1,662

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	スポーツ教室等受講者、イベント参加者	スポーツ教室等受講者、イベント参加者	スポーツ教室等受講者、イベント参加者
受益者数	147	4,000	4,309
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	11,340	411	386

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	研修会の実施		単位	回数
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	2	2	2	
実績値	1	3	2	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	スポーツ教室等受講者、イベント参加者		単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	-	7,000	7,000	
実績値	-	4,000	4,309	
達成状況	—	×（未達成）	×（未達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	スポーツ指導員への研修会を実施しており、指導者としての資質向上のために必要である。 岐阜市スポーツ指導員連絡協議会は、市内の各種スポーツ教室等で指導を行うスポーツ指導員の資質向上のために事業を行う団体であり、市が担う必要がある。 類似の事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市独自の事業であるため広域ではできない。 また業務量、業務期間（年間を通して事務局事務がある）から見ると、委託するより職員が行うことが効率的である。 他に効率的な方法はない。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	指導者の資質向上のための研修を実施しており、スポーツ教室等の質を向上させている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	研修等を受ける指導者は各種スポーツ教室や地域のスポーツ行事等の指導者が多く、それらは広く市民がさんかできるものであるため、公平性が高い。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	スポーツ指導員の資質の維持、向上のため必要である。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660070 010

【1.基本情報】

事業名	「FC岐阜」連携推進					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	市民スポーツ課		
実施方法	委託(民間)	補助等の種類		実施主体	(株)岐阜フットボールクラブ	
開始・終了年度	平成 21 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	スポーツ推進計画	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		市民に夢と感動を与え、市民の一体感を醸成するプロスポーツチームの活動を、市民の文化として支え育むとともに、これを活かして市民スポーツの推進を図る。	
内容 (手段・手法など)		1、F C岐阜活用事業運営業務委託 ・ホームタウンデー市民交流推進事業、シティプロモーション事業 2、F C岐阜スポーツキャラバン運営業務委託事業 ・キャラバン教室、岐阜市スポーツ交流センター活用交流事業	
事業 の 対 象	何を	F C岐阜を活かした市民スポーツ推進活動	
	誰に	岐阜市民	
	どのくらい	・ホームタウンデー市民招待:1回 ・スーパーシート:1試合 ・シティプロモーション:1回 ・体操教室及び巡回サッカー教室:100回 ・サッカー教室:2回 ・サッカー講座:5回 ・健康運動教室:15回 エクササイズ教室:15回	
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		・シティプロモーション2回→1回 ・体操教室30回、巡回サッカー教室80回→体操教室と巡回サッカー教室合わせて100回	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	517	16	509	16	515	16
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	517	16	509	16	515	16

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		25,000	25,000	24,500
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	委託料	25,000	25,000	24,500
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		25,000	25,000	24,500

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		25,517	25,509	25,015

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		25,517	25,509	25,015

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	410,000	400,000	400,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	62	64	63

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	ホームタウンデー広報案内	単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	1	1	1
実績値	1	1	1

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	ホームタウンデー来場者(岐阜市民)	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	3,500	3,300	4,100
実績値	2,364	2,984	3,027
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	試合観戦者も多く、市民がこの事業によってトップスポーツに触れることができ、ニーズに合っている。 スポーツの推進を図るために、岐阜市民の方を対象とした事業のため、市が担う必要がある。 事業者が異なり、「岐阜スーパース」連携推進事業との統合はできない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	市民が全国を舞台に戦うFC岐阜の試合を現地で観戦することで、地域スポーツの普及促進、スポーツが生活に溶け込んだ活気ある魅力的なまちづくりの推進に繋がると見込める。また、観戦による交流人口増加により、公共交通機関の利用等の促進が図られ、費用対効果が高いと考える。 他に効率的な方法はない。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	ホームタウンデーでは多くの市民の方が来場されたり、スーパーシートやキャラバン教室など当選人数・施設を大幅に超える申し込みがあり当該事業を通じて岐阜市の魅力や情報を県内外に発信しており非常に効果がある。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	岐阜市民の方を対象とし、機会を与えている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	来場者数の実績や各種教室の参加人数から見ても、多くの方に需要があり今後も継続していく。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660070 011

【1.基本情報】

事業名	地域体育振興事業補助金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	市民スポーツ課		
実施方法	補助等	補助等の種類		団体事業補助金	実施主体	各地域体育振興会等
開始・終了年度	昭和 40 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	岐阜市体育振興補助金交付要綱	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		市内50地域の体育振興会が行う市民の健康増進及び相互交流のための事業に対し補助を行う。	
内容 (手段・手法など)		各地域で行う事業(グラウンドゴルフ大会、市民運動会)に対し補助金を交付する。	
事業 の 対 象	何を	事業補助金	
	誰に	市内50地域の体育振興会が行う市民の健康増進及び相互交流のための事業に対し補助を行う。	
	どのくらい	各地域 34,500円～39,900円(世帯数による)	
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	969	30	954	30	966	30
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	969	30	954	30	966	30

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		709	1,203	1,515
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	補助金	709	1,203	1,515
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		709	1,203	1,515

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		1,678	2,157	2,481

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		1,678	2,157	2,481

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	市内各世帯	市内各世帯	市内各世帯
受益者数	183,288	183,506	185,365
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	9	12	13

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	補助金案内送付地域数		単位	地域
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	50	50	50	
実績値	50	50	50	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	補助金交付地域数		単位	地域
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	50	50	50	
実績値	24	33	40	
達成状況	×（未達成）		×（未達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	市民の健康増進及び相互交流のため必要である。
		市内の50地域の体育振興会に対する補助のため、市が担う必要がある。
		類似の事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市内各50地域の体育振興会が各地域に合った事業を自主的に行っている。その資金の一部補助であり、費用対効果が高い。
		他に効率的な方法はない。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	40地域の体育振興会から申請があり、各地域がスポーツイベント等を実施した。市民の健康増進及び相互交流のため有効である。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	40地域の体育振興会から申請があり、各地域がスポーツイベント等を実施した。 市内全50地域（全市民）を対象としており公平性は高い。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	市民の健康増進及び相互交流のため有効であるため、現状維持

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660070 012

【1.基本情報】

事業名	強化指定選手事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	市民スポーツ課		
実施方法	補助等	補助等の種類		その他補助金	実施主体	岐阜市
開始・終了年度	平成 26 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	岐阜市スポーツ振興補助金交付要綱 岐阜市スポーツ推進計画 2023-2032	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		岐阜市が指定する将来有望な強化選手に対して支援することにより、オリンピック・パラリンピック出場を目指すアスリートのスポーツに取り組む環境を整える。
内容 (手段・手法など)		岐阜市出身、在住の選手でオリンピック・パラリンピック出場が見込める有望な選手に対して補助金を交付する。
事業 の 対 象	何を	強化指定選手補助金
	誰に	岐阜市出身、在住の選手でオリンピック・パラリンピック出場が見込める選手
	どのくらい	1人あたり500,000円を上限
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		補助対象に、激励金(国際大会又は日本代表選手の選考会を兼ねる全国大会その他これに準ずる規模の全国大会に出場する場合に支給、一律20万円)を追加

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	969	30	954	30	966	30
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	969	30	954	30	966	30

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		1,503	1,852	4,996
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	補助金	0	1,852	4,996
	需用費	1,503	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		1,503	1,852	4,996

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		2,472	2,806	5,962

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		2,472	2,806	5,962

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	東京オリンピック・パラリンピック /北京冬季オリンピック出場選手	強化指定選手	強化指定選手
受益者数	8	14	10
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	309,000	200,429	596,200

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	認定人数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	-	10	10
実績値	-	14	10

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	オリンピック・パラリンピック出場者	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	6	-	-
実績値	8	-	-
達成状況	○（達成）	—	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	岐阜市ゆかりの選手のオリンピック・パラリンピック出場を支援することは、岐阜市全体の活力を生み出すことにつながる。 岐阜市ゆかりの選手を補助する故に、市に縁のある者がすべきであり、補助事業を民間で行うことは難しいと思われる。 類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	選手に、強化指定選手に指定されたという自負が生まれ、競技に対する意識の向上につながる。 競技ごと、選手ごとに競技力の向上に必要な備品、消耗品は異なり、対応するためには補助金の支給が一番効率的である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	2024年パリオリンピック・パラリンピック、2026年ミラノオリンピック・パラリンピックにおいても、多くの岐阜市ゆかりの選手が出場、活躍し、市民の活力が向上することを見込んでいる。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	強化指定選手の選考には、岐阜市の各競技協会等とスポーツ有識者等による検討を重ねた上で決定され、公平性には問題はないと思われる。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	今後開催されるオリンピック・パラリンピックにおいても、引き続き岐阜市ゆかりの選手を支援していくため、現状維持。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660070 013

【1.基本情報】

事業名	学校体育施設開放事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	市民スポーツ課		
実施方法	委託(その他)	補助等の種類		実施主体	開放運営委員会	
開始・終了年度	昭和 50 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	岐阜市立学校等の体育施設の開放に関する要綱	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		地域住民が気軽にスポーツを楽しみ、体力の向上や健康の増進に繋がることを目的とする。また、地域住民同士の交流の場として活用する事業であり、それに伴う事務手続きを円滑に行うための委託である。
内容 (手段・手法など)		学校体育施設開放
事業 の 対 象	何を	学校体育施設開放
	誰に	市民
	どのくらい	学校等体育館、運動場、格技場
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	8,398	260	8,268	260	8,372	260
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	8,398	260	8,268	260	8,372	260

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		60,657	62,974	64,012
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	謝金	32,973	38,986	39,548
	電気料	19,729	20,847	20,468
	修繕費	2,705	2,997	3,996
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		60,657	62,974	64,012

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		69,055	71,242	72,384

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		14,352	21,424	22,126
その他		0	0	0
計(F)		14,352	21,424	22,126

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		54,703	49,818	50,258

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	310,018	465,443	476,386
受益者負担額(千円)	14,352	21,424	22,126
受益者負担率(%)	20.8%	30.1%	30.6%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	176	107	105

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	開放施設数	単位	箇所
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	78	78	78
実績値	78	78	78

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	学校等体育施設利用者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	550,000	550,000	550,000
実績値	310,018	465,443	476,386
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	地域住民がスポーツを楽しみ、体力の向上や健康の増進に繋がることを 目的とする利用率が高い。 岐阜市所管施設のため市が担う必要がある。 類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	既存の学校施設を使用しているため、維持管理等の費用はあまりかか らない。 既存の学校施設を使用しているため、維持管理等の費用はあまりかか らない。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	老若男女の方々が様々なスポーツに取り組み、スポーツ振興につな がっている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	利用者は電気代相当分を負担しており、学校体育施設開放の特性を 考慮すると適正である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状 維持	多くの市民が利用しており、スポーツ振興及び地域貢献となっている。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660070 014

【1.基本情報】

事業名	岐阜市レクリエーション普及事業補助金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	市民スポーツ課		
実施方法	補助等	補助等の種類	団体事業補助金	実施主体	岐阜市レクリエーション協会	
開始・終了年度	平成	元	年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市レクリエーション事業補助金交付要綱

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		2016年に開催した「第70回全国レクリエーション大会in岐阜」の成果を一過性のものとせず、各種団体と協力してレクリエーションの普及・拡大を図り、もって市民の健康づくりや生きがいづくりに寄与する。
内容 (手段・手法など)		岐阜市レクリエーション協会が、岐阜市のスポーツ・レクリエーション団体、教育・福祉施設など、レクリエーションに携わる個人・団体を統括するネットワークの会として、各種目大会や教室を開催し、健康の保持増進のアドバイス、スポーツ・レクリエーション啓発を行う事業の一部を補助する。
事業 の 対 象	何を	事業補助金
	誰に	岐阜市レクリエーション協会
	どのくらい	1,000,000円
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	323	10	318	10	322	10
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	323	10	318	10	322	10

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		1,000	1,000	1,000
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	補助金	1,000	1,000	1,000
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		1,000	1,000	1,000

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		1,323	1,318	1,322

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		1,323	1,318	1,322

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	参加者	参加者	参加者
受益者数	3,365	2,975	3,138
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	393	443	421

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)）

活動指標名	レクリエーション教室・種目大会開催回数	単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	48	30	52
実績値	59	40	42

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	参加者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	3,000	13,000	10,000
実績値	3,365	2,975	3,138
達成状況	○（達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	障がいの有無や世代を問わず、幅広い市民の生きがいづくり及び健康づくり等に寄与するレクリエーションの普及が図られている。 協会の自主財源のみで行う事業だけでなく、市の補助があることで、開催回数や広報等、更に充実させることができる。 類似事業なし
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	協会独自で取り組んできたレクリエーション大会や教室に、本事業により新たな種目や団体が加わることで、より多くの市民がレクリエーションに参加することができる。 レクリエーションを幅広く普及させるためには、レクリエーション活動普及のノウハウがある市レクリエーション協会の事業費に補助する現方法が効率的と考える。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	本事業により、多くの市民が参加し、レクリエーションの体験をすることができた。継続して広報、事業を実施することで、更なる参加者が見込まれる。 障がいの有無や世代を問わず、幅広い市民を対象に事業が行われているため、公平性は高い。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	本事業により、多くの市民が参加し、レクリエーションの体験をすることができた。継続して広報、事業を実施することで、更なる参加者が見込まれる。 障がいの有無や世代を問わず、幅広い市民を対象に事業が行われているため、公平性は高い。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	レクリエーション教室等の開催種目数や開催回数の増加により、普段体を動かす機会の少ない市民等がスポーツ・レクリエーションに触れることができるなど、一定の効果が見られるため、現状維持とする。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660070 015

【1.基本情報】

事業名	屋外体育施設管理					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	市民スポーツ課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和 58 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	岐阜市屋外体育施設条例	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		市民のスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供する	
内容 (手段・手法など)		島西運動場、則松球場、フィールドかけばら、諏訪山運動場、岐陽運動場の管理運営委託 柳津運動場、高桑運動広場、坂巻運動広場の管理運営	
事業 の 対 象	何を	屋外体育施設	
	誰に	市民	
	どのくらい	島西運動場、則松球場、フィールドかけばら、諏訪山運動場、岐陽運動場、柳津運動場、高桑運動広場、坂巻運動広場	
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,230	100	3,180	100	3,220	100
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,230	100	3,180	100	3,220	100

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		16,762	19,749	22,335
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	工事請負費	495	2,199	0
	委託料	12,136	12,579	18,065
	需用費	3,220	4,971	4,270
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		16,762	19,749	22,335

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		19,992	22,929	25,555

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		5,362	6,776	6,227
その他		0	0	0
計(F)		5,362	6,776	6,227

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		14,630	16,153	19,328

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	131,579	172,726	169,207
受益者負担額(千円)	5,362	6,776	6,227
受益者負担率(%)	26.8%	29.6%	24.4%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	111	94	114

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)）

活動指標名	施設数	単位	箇所
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	10	10	10
実績値	10	10	10

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	利用者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	200,000	200,000	200,000
実績値	131,579	172,726	169,207
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	市民の健康志向等により、スポーツに関心が高まっている。
		管理については、地域が主体的に担っている。
		類似事業はない
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	利用者が一部使用料を負担しており、年間の利用者数を考慮しても効果が高い。
		—
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	大会や、個人など様々なニーズで利用実績がある。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	受益者が維持管理経費の一部を負担しており適正である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	市民のスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供できている。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号	0660070	016
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	屋内体育施設管理						
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部			担当課名	市民スポーツ課		
実施方法	委託(出資団体)		補助等の種類			実施主体	(公財)岐阜市教育文化振興事業団 (株)技研サービス
開始・終了年度	令和	4	年度～	令和	8	年度	根拠法令・関連計画 岐阜市体育館条例、岐阜市民プール条例、 岐阜市スポーツ交流センター条例

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		市民のスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供する	
内容 (手段・手法など)		屋内体育施設の整備、管理及び工事等	
事業 の 対 象	何を	屋内体育施設	
	誰に	市民	
	どのくらい	体育館10館、市民プール3箇所、スポーツ交流センター	
令和5年度からの変 更点 (継続事業の場合)		—	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,230	100	3,180	100	3,220	100
パートタイム会計年度任用職員A	8,034	780	7,878	780	7,878	780
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	11,264	880	11,058	880	11,098	880

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		389,800	434,202	468,788
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	委託料	251,176	329,461	339,799
	工事請負費	138,624	100,541	128,989
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		389,800	434,202	468,788

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		401,064	445,260	479,886

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	32	0
県支出金		0	0	0
市債		0	82,600	97,300
使用料・手数料		31,091	43,311	46,572
その他		7,583	30,567	18,922
計(F)		38,674	156,510	162,794

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		362,390	288,750	317,092

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	313,557	492,519	545,081
受益者負担額(千円)	331,091	39,817	45,872
受益者負担率(%)	82.6%	8.9%	9.6%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,156	586	582

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	利用者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	700,000	700,000	700,000
実績値	313,557	492,519	545,081

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	稼働率	単位	%
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	90	90	90
実績値	66.26	91.60	88.80
達成状況	×（未達成）	○（達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	生活習慣病の予防の観点からも、スポーツ施設を利用する需要は高まっている。 民間のノウハウを取り入れた運営により、利用者ニーズをより取り込んでいる。 類似の事業はない
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	現時点では、指定管理による運営が最良であると判断している。 —
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	民間のスキルを取り入れた事業計画の提案があり、十分な効果が見込める。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	妥当である
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状 維持	運動、競技目的の人々が集まる場としての役割と、地域の人々が集まる場としての双方からの需要があることから、今後も継続していく。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660070 017

【1.基本情報】

事業名	岐阜市公共施設予約システム事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	市民スポーツ課		
実施方法	委託(その他)	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成 11 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	岐阜市公共施設予約システム利用に関する規則	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		市民が主体的にスポーツ活動に取り組むためには、スポーツに関する様々な情報を容易に入手できる環境が整備されていることが望ましい。当事業は、スポーツ施設の利用に関して手続き等を簡潔にするものである。
内容 (手段・手法など)		市内の有料スポーツ施設(屋内外)を、インターネットを利用し、パソコン・携帯電話・スマートフォンで利用申請できるシステムの運用。
事業 の 対 象	何を	スポーツ施設予約システム
	誰に	市民
	どのくらい	インターネット・スマートフォンでの申請を提供する。
令和5年度からの変 更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,230	100	3,180	100	3,220	100
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,230	100	3,180	100	3,220	100

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		4,521	4,521	4,521
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	管理運用業務委託料	3,936	3,936	3,936
	事務処理委託	264	264	264
	事務機器借上料	321	321	321
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		4,521	4,521	4,521

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	7,751	7,701	7,741

【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	7,751	7,701	7,741

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	336	369	366
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	23,068	20,870	21,150

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	利用者カード登録累計数	単位	枚
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	12,000	12,500	13,000
実績値	11,406	11,775	12,141

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	施設利用者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	800,000	800,000	800,000
実績値	528,217	741,594	1,176,713
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	市民がどこでも自由な時間にスポーツ施設を予約する事ができる。
		施設使用料が口座振替となり、収入金額の管理が容易である。
		類似事業はない
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市民が計画的に施設を活用する事ができる。
		申請書を入手できる場所が限られているため利用者に不便をかけている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	新たなシステム登録数はあまり増えていないが、施設利用者数は増えている事から何度も利用される方が増えていると思われる。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	抽選予約となるため、公平性は担保されている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	市民のスポーツ施設を気軽に活用する方法として、一定の成果があり、今後も維持管理が必要。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660070 018

【1.基本情報】

事業名	屋外体育施設管理							
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部				担当課名	市民スポーツ課		
実施方法	委託(その他)		補助等の種類			実施主体	岐南町	
開始・終了年度	令和	4	年度～	令和	8	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市屋外体育施設条例

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		市民のスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供する	
内容 (手段・手法など)		厚八運動場、厚八テニスコートの指定管理	
事業 の 対 象	何を	屋外体育施設	
	誰に	市民	
	どのくらい	厚八運動場、厚八テニスコート	
令和5年度からの変 更点 (継続事業の場合)		—	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,230	100	3,180	100	3,220	100
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,230	100	3,180	100	3,220	100

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		2,754	2,260	2,260
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	委託料	2,259	2,260	2,260
	工事請負費	495	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		2,754	2,260	2,260

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		5,984	5,440	5,480

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		389	252	286
その他		0	0	0
計(F)		389	252	286

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		5,595	5,188	5,194

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	14,242	20,097	24,306
受益者負担額(千円)	380	252	286
受益者負担率(%)	6.4%	4.6%	5.2%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	393	258	214

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	利用者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	25,000	25,000	25,000
実績値	14,242	20,097	24,306

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	利用料収入	単位	円
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	300,000	300,000	300,000
実績値	253,675	251,540	285,865
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	生活習慣病の予防の観点からも、スポーツ施設を利用する需要は高まっている。 敷地内は岐阜市と岐南町が土地を共有している。 類似の事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	現時点では、指定管理による運営が最良であると判断している。 —
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	大会や個人利用など様々なニーズの利用がある。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	受益者が維持管理経費の一部を負担しており適正である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	市民のスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供できている。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号	0660070	019
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	スポーツスタートアップ事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	市民スポーツ課		
実施方法	委託(民間)	補助等の種類		実施主体	岐阜市スポーツ協会	
開始・終了年度	平成	14	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		市内小中学生を対象に、市内にある体育施設等を利用して、優れた指導者の下で競技人口の拡大と競技力の向上を目指す。	
内容 (手段・手法など)		一般種目クラスは、卓球・バドミントン・ソフトテニス・陸上・柔道・体操・剣道・サッカーの8競技のクラブ活動を実施する。 特定種目クラスは、ホッケー・自転車・レスリング・相撲・ビームライフル・硬式テニスの6競技のクラブ活動を実施する。 アクションスポーツクラスは、パルクールを実施する。	
事業 の 対 象	何を	小中学生が参加するスポーツクラブを開催する。	
	誰に	受講を希望する市内小中学生(募集学年は競技によって異なる)	
	どのくらい	一般種目クラス、アクションスポーツクラスは年間15回 特定種目クラスは年間30回	
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		アクションスポーツクラスが追加	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,261	70	2,226	70	2,254	70
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,261	70	2,226	70	2,254	70

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		4,050	5,259	6,104
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	委託料	4,050	5,259	6,104
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		4,050	5,259	6,104

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		6,311	7,485	8,358

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	966	1,167
計(F)		0	966	1,167

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		6,311	6,519	7,191

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	各競技受講者	各競技受講者	各競技受講者
受益者数	470	600	718
受益者負担額(千円)	464	966	1,167
受益者負担率(%)	7.4%	12.9%	14.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	13,428	10,865	10,015

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	競技数	単位	競技
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	15	14	14
実績値	13	13	12

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	参加者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	1,000	1,000	1,000
実績値	470	600	718
達成状況	× (未達成)	× (未達成)	× (未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	例年、種目によっては定員を超える申込があり、ニーズが高く、広くスポーツの振興、普及に寄与している。 各種競技において民間のスポーツ教室が開設されているため、行政として一定の役割を終えたと考えている。 —
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	一般種目クラスは活動回数15回で1500円、特定種目クラスは活動回数30回で3000円、アクションスポーツクラスは15回で3000円と市内小中学生の誰もが参加できる教室となっている。 各種競技において民間のスポーツ教室が開設されている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	この事業をきっかけに、現在、トップレベル(東京オリンピック代表選手、世界選手権、ジュニアワールドカップ等)で活躍する選手がいる。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	市内の小中学生を対象とし、機会を与えている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	改善	各種競技において民間のスポーツ教室が開設されるなど、行政としては一定の役割を終えたと考える。また、スポーツへの多様化が進み、新たな支援も必要になっていくことから、一般種目クラス、特定種目クラスを廃止し、アクションスポーツクラスのみ事業を継続していく。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660070 020

【1.基本情報】

事業名	トップアスリート次世代継承事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	市民スポーツ課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	令和 4 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	—	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		オリンピック・パラリンピックや各競技の世界大会などに出場した、トップアスリートを学校・団体等に派遣し、対象者スポーツを積極的に行おうとする意欲を高め、スポーツを行うきっかけや今後の進路などの選択肢の参考となるような学びを得ることを目的とする。
内容 (手段・手法など)		各学校・団体へオリンピック・パラリンピックや各競技の世界レベルで活躍したスポーツ選手を派遣し、講話や一緒に運動を行う。
事業 の 対 象	何を	講師報償費
	誰に	オリンピック・パラリンピックや各競技の世界レベルで活躍したスポーツ選手
	どのくらい	一回あたり40,000円×10回の上限400,000円を上限＋旅費上限161,280円
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	127	4	97	3
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	127	4	97	3

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	338	328
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	報償費	0	200	280
	旅費	0	138	48
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	338	328

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	465	425

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	169	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	169	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	296	425

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	—	講師	講師
受益者数	0	4	5
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	74,050	84,920

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	講師人数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	-	5	4
実績値	-	4	5

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	派遣回数	単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	-	10	5
実績値	-	9	7
達成状況	—	×（未達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	オリンピック等の世界大会レベルを経験した優秀な選手から指導をしてもらえる貴重な機会を得られる。 市内学校、団体に向けて実施する事業であるため。 類似の事業はなし。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	市から1回40,000円の報償費を支払うことで、各学校や団体は無料で世界大会に出場した選手に指導してもらうことができるため、費用対効果は高いと思われる。 なし
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	各学校や団体から多くの希望があり、世界大会レベルで活躍したトップアスリートと一緒に運動を行う機会を持つことで、小中学生のスポーツに積極的に取り組む意欲を高められた。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	各学校や団体を対象にしているため、平等に機会を与えている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	改善	令和6年度より各学校を対象から外しスポーツ少年団と総合型地域スポーツクラブのみを対象としたため事業縮小。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660070 021

【1.基本情報】

事業名	ぎふアクションスポーツフェスティバル事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	市民スポーツ課		
実施方法	補助等	補助等の種類		その他負担金	実施主体	岐阜市、ぎふアクションスポーツフェスティバル実行委員会
開始・終了年度	令和 5 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	岐阜市スポーツ推進計画 2023-2032	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		本市がアクションスポーツの普及にいち早く取り組み、市民に新たなスポーツに親しむ機会を提供し、スポーツを活用した魅力あるまちづくりに繋げていくため。	
内容 (手段・手法など)		複数のアクションスポーツを一堂に見学・体験できるイベントを開催する。	
事業 の 対 象	何を	・国内トップ選手の一流の技を間近で観戦できる「PARKOUR PREMIRE CUP 2024」 ・複数のアクションスポーツの体験会(パルクール、パルオニ、トランポリン、ボルダリング)	
	誰に	市民、来場者	
	どのくらい	土曜日、日曜日の2日間、来場者計10,000人	
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	1,610	50
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	0	0	1,610	50

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	8,000
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	0	0	8,000
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	0	8,000

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	0	0	9,610

【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	0	0	9,610

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	—	—	来場者
受益者数	-	-	10,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	961

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	イベント(プレイベント含む)開催数	単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	-	-	1
実績値	-	-	1

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	来場者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	-	-	10,000
実績値	-	-	10,000
達成状況	—	—	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	若者のみならず幅広い世代において注目を集めているアクションスポーツにいち早く取り組むことにより、市民に対して新しいスポーツの選択肢を提供している。 市を含む実行委員会形式で実施している。 類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	令和5年度は1万人の来場者があり、多くの市民にアクションスポーツの振興が図られているため、費用対効果は高い。 実行委員会がそれぞれ業務分担し必要な業務を行っており、効率的な方法で実施している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	参加者の満足度は高く、有効性は高い。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	参加費が無料であるため、市民の誰もが気軽に参加できるイベントである。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	拡充	アクションスポーツの普及に継続して取り組んでいくとともに、イベント内容を拡充し、来場者増を図る。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660070 022

【1.基本情報】

事業名	岐阜県民スポーツ大会派遣補助金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	市民スポーツ課		
実施方法	補助等	補助等の種類		団体事業補助金	実施主体	岐阜市スポーツ協会
開始・終了年度	昭和 24 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	岐阜市スポーツ振興補助金交付要綱	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		岐阜県民スポーツ大会は、広く県民のスポーツを振興し、その普及発達とアマチュアスポーツ精神を高揚して、競技力向上並びに県民の健康増進・体力の向上を図り、健康で明るい「生涯スポーツ社会」を築くことを目的としており、選手派遣に費用を補助する。
内容 (手段・手法など)		地区予選及び夏秋季大会35競技、冬季大会2競技にわたり郡市対抗競技に選手を派遣する。
事業 の 対 象	何を	派遣に要する経費の一部を
	誰に	岐阜市スポーツ協会を通じて参加者に
	どのくらい	補助金交付要綱に定める金額
令和5年度からの変 更 点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	969	30	954	30	966	30
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	969	30	954	30	966	30

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	994	1,336
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	補助金	0	994	1,336
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	994	1,336

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		969	1,948	2,302

【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	969	1,948	2,302

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	大会参加者	大会参加者	大会参加者
受益者数	0	428	474
受益者負担額(千円)	0	175	520
受益者負担率(%)	0.0%	9.0%	22.6%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	4,551	4,857

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	参加団体	単位	種目
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	-	37	36
実績値	-	31	30

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	大会参加者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	-	675	675
実績値	-	428	474
達成状況	—	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	県内における各団体の競技力を測る大会である。
		県民スポーツ大会は郡市対抗の大会であり、岐阜市が選手団を派遣 するもので、民間では、実施できない。
		類似の事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	岐阜市選手団は、各団体を通じて選出し、効率的である。
		市町村ごとの参加区分であり、広域連携できないものである。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	岐阜県民スポーツ大会に出場するため、各競技団体で選手選考の大会 を開催するなど、単に参加するだけではなく、競技力向上の効果が 得られるものである。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	派遣補助金の交通費は市条例の半額支給とし、選手も受益者負担を している。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状 維持	岐阜県下、全市町村が出場する大会であり、本市のスポーツ振興のため に必要な支援である。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660070 023

【1.基本情報】

事業名	高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	市民スポーツ課		
実施方法	補助等	補助等の種類		その他補助金	実施主体	高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン実行委員会
開始・終了年度	平成 23 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	岐阜市スポーツ推進計画	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		全国からランナーが集まるマラソン大会であり、競技力の向上及び市民のスポーツ振興に寄与することを目的として開催している
内容 (手段・手法など)		高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン実行委員会(岐阜県・岐阜市・中日新聞社・岐阜陸上競技協会・岐阜県スポーツ協会)が主催し、ハーフマラソン及び3kmが行われ、約1万人のランナーが市内を走る大会である。
事業 の 対 象	何を	開催負担金
	誰に	高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン実行委員会、市民、参加者
	どのくらい	マラソン大会(ハーフマラソン、3km)、負担金6,000,000円
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		感染症対策等により増額していたエントリー費用を低減(R5:13,000円→R6:11,000円) JR岐阜駅前イベント開催、沿道盛り上げ、ランナーサービスの向上等のため、負担金を増額(R5:6,000,000円→R6:10,000,000円)

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	8,398	260	8,268	260	8,372	260
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	8,398	260	8,268	260	8,372	260

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		12,000	16,999	6,000
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	12,000	16,999	6,000
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		12,000	16,999	6,000

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		20,398	25,267	14,372

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	10,999	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	10,999	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		20,398	14,268	14,372

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	大会参加者	大会参加者	大会参加者
受益者数	11,356	9,318	7,699
受益者負担額(千円)	95,862	90,676	90,980
受益者負担率(%)	470.0%	358.9%	633.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,796	1,531	1,867

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	参加者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	10,000	12,000	11,000
実績値	11,356	9,318	7,699

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	会場来場者・沿道応援人数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	-	200,000	200,000
実績値	-	45,000	83,000
達成状況	—	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	世界のトップランナーと大勢の市民ランナーが走る大会である。また、沿道での応援も多く、本市のスポーツ振興に寄与している。 岐阜市で開催される大会で、市が運営する規模として適正であると考える。 類似事業なし
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	例年、多数のエントリーがあり、多くの市民ランナーの競技力向上やスポーツ振興が図られているため、費用対効果は高い。 実行委員会（中日新聞、岐阜県、岐阜市、岐阜陸上競技協会、岐阜県スポーツ協会）の各団体がそれぞれ業務分担し必要な業務を行っていることに加え、沿道自治会や民間ボランティアも活用しており効率的な方法で実施している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	参加者の満足度は高く、また、応援者・ボランティアの方々の満足度も高く有効性は高い。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	市の中心部での事業ということで市民は参加しやすく、また参加しない市民にも世界のトップランナーの走りを感じ取れる機会を提供しており、公平性は高い。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	競技スポーツ、生涯スポーツの両方の観点を兼ね備えた岐阜市最大のスポーツイベントであり、スポーツ振興に大きく寄与しているため、現状維持。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660070 024

【1.基本情報】

事業名	市民スポーツ・レクリエーション活動推進事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	市民スポーツ課		
実施方法	補助等	補助等の種類		その他負担金	実施主体	岐阜市スポーツ・レクリエーション祭実行委員会
開始・終了年度	平成 25 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	岐阜市スポーツ推進計画	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		誰もが気軽に親しむことのできる軽スポーツの啓発・普及促進のための大会、イベントの実施				
内容 (手段・手法など)		春に「スポーツ・レクリエーション祭」(9種目)、秋に「オクトーバー・ラン&ウォーク」を実施する。				
事業の 対象	何を	開催負担金				
	誰に	岐阜市スポーツ・レクリエーション祭実行委員会、市民、参加者				
	どのくらい	開催負担金:410,000円(予算額) ('スポーツ・レクリエーション祭'(9種目)、「オクトーバー・ラン&ウォーク」)				
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,615	50	1,590	50	1,610	50
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,615	50	1,590	50	1,610	50

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		700	340	297
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	700	340	297
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		700	340	297

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		2,315	1,930	1,907

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		2,315	1,930	1,907

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	事業参加者	事業参加者	事業参加者
受益者数	946	2,230	2,544
受益者負担額(千円)	174	544	596
受益者負担率(%)	7.5%	28.2%	31.3%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2,447	865	750

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	事業開催回数	単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	3	2	2
実績値	3	2	2

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	参加者	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	3,000	2,600	2,700
実績値	946	2,230	2,544
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	誰もが気軽に参加できる生涯スポーツの大会を実施している。 実行委員会（スポーツ推進委員、スポーツ指導員、各競技団体、岐阜市）で実施している。 類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	必要最低限の負担金で事業を実施しており、費用対効果は高い。 現在、各軽スポーツ種目協会の協力のもと、実行委員会の事務局を市が担い運営しており、他に効率的な方法がない。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	2,000人を超える参加者があり、誰もが気軽に参加できるイベントである。 幅広い世代の市民が参加できるスポーツイベントである。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	2,000人を超える参加者があり、誰もが気軽に参加できるイベントである。 幅広い世代の市民が参加できるスポーツイベントである。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	オクトーバー・ラン&ウォーク（オンラインイベント）やレクリエーション、軽スポーツ等の大会、教室、体験会のPR強化を実施する。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号	0660080	001
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	文化財説明板設置・修繕事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化財保護課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和38年度～		年度	根拠法令・関連計画	—	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		岐阜市内の文化財及び歴史的な場所についての周知と認識の高揚を図り、まちづくり、人づくりに活用する。
内容 (手段・手法など)		岐阜市の文化財及び歴史的なゆかりのある場所について、広く一般に周知するため、説明板及び案内標識等の設置を行う。
事業 の 対 象	何を	文化財説明板
	誰に	岐阜市民
	どのくらい	設置可能指定文化財で未設置説明板(5件)、新指定文化財のうち2基
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,615	50	1,590	50	2,254	70
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,615	50	1,590	50	2,254	70

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		680	69	324
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	修繕料	610	69	156
	工事請負費	70	0	168
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		680	69	324

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		2,295	1,659	2,578

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		440	33	104
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		440	33	104

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		1,855	1,626	2,474

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	406,000	402,000	401,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	5	4	6

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	新規設置数	単位	基
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	1	1	1
実績値	13	3	6

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	岐阜市民であることに誇りを感じる割合	単位	%
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	50.0	50.0	50.0
実績値	53.2	53.5	46.8
達成状況	○（達成）	○（達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	現地を訪れた全ての人に当該文化財等の由来や歴史的意義を分かりやすく提供するための手段として必要である。 文化財普及啓発事業は教育委員会の所管事務（地方公共団体の長も担当できる）として法令で規定されている。 類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	外国語表記も含めて表現や視覚効果等を考慮して設置しており、身近に歴史的価値を知っていただく手段として有効である。 文化財が所在する現地において、文化財について理解できる方法であり、現地に説明板があるという事に意義があるため、適切な方法である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	本市に所在する文化財や歴史的に重要な意味を有する施設などの情報を市民や来訪者に分かりやすく提供する手段として効果が大きい。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	市民や来訪者が等しく受益するものであり、公平である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	既設の説明板は老朽化が進み、状況に応じて逐次改修や更新をしていく必要がある。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660080 002

【1.基本情報】

事業名	史跡加納城跡整備事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化財保護課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成 12 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	文化財保護法	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		史跡や文化財を活かしたまちづくりを推進するために、市内の歴史遺産を調査・整備し、適切な維持管理と活用を行う必要がある。
内容 (手段・手法など)		加納城跡整備基本構想、史料調査、保存活用計画 本丸内発掘調査、調査報告書作成 本丸北東側堀跡内民有地買い上げ
事業 の 対 象	何を	加納城跡の整備による「歴史遺産を活かしたまちづくり」の推進
	誰に	岐阜市民、全国の歴史ファン、観光客
	どのくらい	岐阜市民及び歴史ファン、観光客にサービスを提供
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,615	50	1,590	50	1,610	50
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,615	50	1,590	50	1,610	50

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		1,604	3,085	3,207
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	委託料	1,078	1,969	2,475
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		1,604	3,085	3,207

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		3,219	4,675	4,817

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		1,100	1,500	967
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		1,100	1,500	967

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		2,119	3,175	3,850

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	市民、観光客	市民、観光客	市民、観光客
受益者数	220,000	220,000	220,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	10	14	18

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	調査面積	単位	m ²
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	200	125	240
実績値	209	137	270

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	岐阜市民であることを誇りに感じる割合	単位	%
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	53	53	46
実績値	53.2	53.5	46.8
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	岐阜市の貴重な歴史文化資源の一つとして全容を明らかにし、今後の 保存及び活用に資するとともに、本市の独自性を全国にアピールして いく上で必要不可欠である。 当該史跡の管理団体である岐阜市が主体的に取り組む必要がある。 当該史跡について類似の事業は実施されていない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	岐阜城に次ぐ歴史資産として、将来的な歴史文化的価値の明確化や 新たな観光資源としての活用につながるものであり、非常に有為であ る。 史跡の調査、整備、活用については管理団体である岐阜市が主体的 に取り組む必要がある。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	石垣の測量により、現状把握及び将来の史跡整備に必要な基礎資料 が得られている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	本市の歴史遺産として市民が等しく受益するものであり適正である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状 維持	国史跡加納城跡として今後保存管理計画や整備計画等を策定し、体 系的な保存・活用の推進が求められている。しかし、文化財保護行政 においては、他に解決すべき課題が多く存在しており、全体の進捗状 況を見ながらバランスよく事業を進めていく必要がある。 維持管理については、関係部局と協議して効率のよい体制を構築して いく。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660080 003

【1.基本情報】

事業名	史跡岐阜城跡整備事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化財保護課		
実施方法	委託(その他)	補助等の種類		実施主体	(公財)岐阜市教育文化振興事業団ほか	
開始・終了年度	平成 19 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	文化財保護法	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		国史跡岐阜城跡の調査や整備、活用を行い、岐阜市の観光振興、地域活性化に資する。史跡の管理団体として、適切な維持管理と整備活用を行う必要がある。
内容 (手段・手法など)		山麓居館の整備及び山上部の発掘調査。整備計画等に基づく石垣等の維持管理、看板設置及び修繕。
事業 の 対 象	何を	史跡岐阜城跡の保存活用による「文化財を活かしたまちづくり」の推進
	誰に	岐阜市民、全国の歴史ファン、観光客
	どのくらい	約40万人の市民及び歴史ファン、観光客にサービスを提供
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		令和4年度の8区に加えて、12区で新たに発掘調査を実施した。石垣変位測量を実施した。山麓居館整備の基本設計業務を開始した。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	22,610	700	22,260	700	22,540	700
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	22,610	700	22,260	700	22,540	700

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		40,672	39,971	46,888
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	委託料	29,517	33,961	43,014
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		40,672	39,971	46,888

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		63,282	62,231	69,428

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		2,305	2,231	8,567
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		2,305	2,231	8,567

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		60,977	60,000	60,861

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	市民、観光客	市民、観光客	市民、観光客
受益者数	220,000	220,000	220,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	277	273	277

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	委員会会議回数	単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	3	3	3
実績値	2	3	3

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	発掘調査現地公開参加者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	800	800	300
実績値	-	-	350
達成状況	—	—	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	市民や歴史ファンの関心度が高く、全国に岐阜市をPRするために欠かせない。 維持管理については金華山国有林の管理者である林野庁も実施しているが、史跡の調査、整備、活用については管理団体である岐阜市が主体的に取り組む必要がある。 当該史跡について類似の事業は実施されていない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	新聞・テレビ等の報道による宣伝効果は非常に高い。 史跡の管理団体である岐阜市が主体的に取り組む必要がある。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	岐阜市の歴史文化を明らかにし、都市の独自性を全国にアピールしていく上で欠かせない。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	当事業による成果は、本市の歴史遺産として市民が等しく受益するものであり適正である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	岐阜市を全国にPRするうえで欠かせない事業と考える。引き続き山上部の発掘調査を実施するとともに、整備基本計画に基づいた整備を行う。山上部の発掘調査における市民・観光客の関心は非常に高い。マスコミ等への情報提供、広報広聴課等との連携により情報発信の質を高めていく。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660080 004

【1.基本情報】

事業名	信長学フォーラム					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化財保護課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成 20 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	—	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		発掘調査事業及び史跡整備等のハード事業に対するソフト事業として、全国の信長公ファンを対象にシンポジウムを実施し、道三公・信長公のまち岐阜としての情報発信を行う。	
内容 (手段・手法など)		シンポジウム『信長学フォーラム』開催	
事業 の 対象	何を	信長公居館発掘調査・活用による「文化財を活かしたまちづくり」の推進	
	誰に	岐阜市民、全国の歴史ファン、観光客	
	どのくらい	岐阜市民及び歴史ファン、観光客にサービスを提供	
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		第17回信長学フォーラム	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,584	80	2,544	80	2,576	80
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,584	80	2,544	80	2,576	80

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		1,894	1,983	1,114
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	報償費	394	370	329
	委託料	1,265	1,386	539
	会場使用料	221	220	219
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		1,894	1,983	1,114

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		4,478	4,527	3,690

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		4,478	4,527	3,690

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	岐阜市民、信長ファン	岐阜市民、信長ファン	岐阜市民、信長ファン
受益者数	150	250	600
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	29,853	18,108	6,150

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	参加者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	150	250	250
実績値	152	190	238

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	満足度(参加者アンケート)	単位	%
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	95	95	95
実績値	82	97	94
達成状況	×(未達成)	○(達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	毎回定員を超える申し込みがあり、ニーズが高い。
		道三公・信長公のまち岐阜をPRする上で直接実施する必要がある。
		類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	岐阜市の独自性を全国にアピールする効果が高い。
		行政だけでなく、民間団体と協働して、道三公・信長公のまち岐阜をPRしていくことで、さらに都市ブランドを構築していくことができる。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	発掘事業とあわせて、本市の歴史的成り立ちを市民が学ぶ機会として、また、都市の独自性を全国にアピールしていく上で有為である。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	信長公の事績を中心に本市の歴史資産の重要性を広く市民と共有するもので、市民が公平に受益するものである。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	改善	「信長学」、「道三公・信長公のまち岐阜」を全国にPRするために、行政だけでなく民間団体と協働して盛り上げていく必要がある。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号	0660080	005
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	信長塾					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化財保護課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	21	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		発掘調査事業及び史跡整備等のハード事業に対するソフト事業として、信長公とその時代に関する歴史講座を開催する。
内容 (手段・手法など)		講座「信長塾」開催
事業 の 対 象	何を	信長公居館発掘調査・活用による「文化財を活かしたまちづくり」の推進
	誰に	岐阜市民、全国の歴史ファン、観光客
	どのくらい	約40万市民及び歴史ファン、観光客にサービスを提供
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		令和5年度「信長塾オンライン」(連続5回講座)をオンライン開催 オンライン受講＆会場でのオンライン受講を実施

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	646	20	636	20	644	20
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	646	20	636	20	644	20

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		175	253	197
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	報償費	140	210	170
	旅費	20	4	0
	会場使用料	15	39	27
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		175	253	197

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	821	889	841

【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	821	889	841

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	岐阜市民、信長ファン	岐阜市民、信長ファン	岐阜市民、信長ファン
受益者数	200	200	200
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	4,105	4,445	4,205

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	参加者数(延べ人数)	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	950	950	550
実績値	412	609	852

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	満足度(参加者アンケート)	単位	%
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	90	90	90
実績値	94	91	94
達成状況	○(達成)	○(達成)	○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	毎回定員を超える申し込みがあり、ニーズは非常に高い。 信長公を通じた本市の歴史的成り立ちや実績を発掘調査成果なども踏まえて 市民と共有し、さらに、道三公・信長公のまち岐阜として全国に発信し、本市の 観光振興にも資するための事業として市が直接実施する必要がある。 類似の事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	信長公を核とする戦国期における本市の歴史的重要性や独自性を学 び、発信する機会として効果が高い。 行政だけでなく、民間団体と協働して「道三公・信長公のまち岐阜」を PRしていくことで、さらに都市ブランドを構築していくことができる。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	本市における信長公の歴史的重要性を広く市民が学ぶとともに、道三 公・信長公のまち岐阜としての本市の独自性をアピールすることに寄 与している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	本市の歴史遺産を学ぶ機会として市民が等しく受益するものであり適 正である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	改善	「信長公」「道三公・信長公のまち岐阜」を全国にPRするために、講座 を通じてふるさとの歴史を市民が学び、来訪者に還元できるように人材 を育成する必要がある。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660080 006

【1.基本情報】

事業名	長良川鵜飼文化未来継承事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化財保護課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市 他	
開始・終了年度	平成 16 年度 ~	年度	根拠法令・関連計画		無形文化遺産保護条約、文化財保護法、重要無形民俗文化財保存活用計画 等	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		長良川の鵜飼文化の価値や魅力を高め、守り、未来へと継承していく。そのための手段として、ユネスコ無形文化遺産登録を目指す取り組みをオール岐阜で推進する。
内容 (手段・手法など)		4つの細事業である【 】ユネスコ申請準備、【 】魅力発信、【 】保存活用、【 】総合調査を一体的に取り組み、SDGs未来都市・岐阜市が推進している持続可能な都市づくりをさらに加速させる。
事業 の 対 象	何を	鵜飼文化の価値や魅力の顕在化、継承及びそれを活かした観光まちづくりの推進
	誰に	鵜飼文化を支えるコミュニティ(岐阜市民約40万1千人、鵜匠家6軒、職人数名(近年現象)、観光業関係者多数、地方自治体 岐阜県・関市・日立市等、国機関 文化庁・宮内庁等、学識経験者多数、NPO多数)
	どのくらい	無形文化遺産登録の達成による市民のシビックプライド向上及び「世界のGIFU」、「世界のUKAI」として観光ブランドの確立
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		【 】ユネスコ申請準備…情報収集及び整理分析 【 】魅力発信…「長良川鵜飼再発見」リニューアルに向けた取材 【 】保存活用…用具の修理・新調、船頭体験教室、船頭養成事業 【 】総合調査…他地域の鵜飼との比較調査、鵜飼屋地区詳細調査、「長良川鵜飼習俗調査報告書」刊行

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	6,460	200	6,360	200	6,440	200
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	6,460	200	6,360	200	6,440	200

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		66,690	74,159	69,721
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	補助金	180	0	0
	委託料	0	0	0
	負担金補助及び交付金	66,260	67,450	67,814
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		66,690	74,159	69,721

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	73,150	80,519	76,161

【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	2,419	96
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	593	773
計(F)	0	3,012	869

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	73,150	77,507	75,292

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	岐阜市民、鶺鴒観覧者等	岐阜市民、鶺鴒観覧者等	岐阜市民、鶺鴒観覧者等
受益者数	220,000	220,000	220,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	333	352	342

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	委員会の開催回数		単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	2	2	2	
実績値	1	2	2	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	「岐阜市の魅力は何か」という質問に対する「鶺鴒」という回答の割合・順位		単位	%・順位
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	58.0%・3位	58.0%・3位	57.0%・3位	
実績値	55.0%・4位	55.2%・4位	55.0%・3位	
達成状況	×（未達成）		×（未達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	鶺鴒文化は市民にとって魅力ある存在であり（R5市民意識調査第3位（55.0%））、さらなるブランディングは社会のニーズに合っている。市民にとって、無形文化遺産登録という夢は、今こそ希望の光となりうる。 鶺鴒文化の価値や魅力を高め、守り、未来へと継承していくには、鶺鴒匠たちの継承者、行政、市民、応援団をはじめとする各種団体など、オール岐阜で取り組む必要がある。その中でも、市がリーダーシップをとり、事業の先導役を担う必要がある。 類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	鶺鴒文化は市にとって重要な観光資源であるとともに、1,300年以上の歴史と伝統を有する文化遺産である。本物志向の観光まちづくりを推進していく上で、鶺鴒文化のさらなるブランディングを行い、国内外にアピールしていく効果は高い。 鶺鴒文化の確実な保存・継承に直接的な効果をもたらす取組が急務であるが、鶺鴒文化を支える技術の担い手は県内各地に分布しており、鶺鴒文化に関連する河川や山林なども複数の市町にまたがるため、広域的な事業展開が求められる。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	【 】成果として、平成27年に「長良川の鶺鴒漁の技術」が国重要無形民俗文化財に指定、「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜が日本遺産に認定、令和4年に「清流長良川の鮎～『里川』における人と鮎のつながり～」が世界農業遺産に認定された。 【 】成果として、令和3年7月に保存活用計画が民俗文化財としては日本で初めて文化庁長官の認定を受けた。また、保存活用計画に基づき、岐阜長良川鶺鴒保存会の体制を整備し、鶺鴒舟の造船・舟大工育成を推進。完成した鶺鴒舟を鶺鴒匠が使用している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	文化財は、わが国の歴史、文化等の正しい理解のため欠くことのできない国民的財産である。国の重要無形民俗文化財「長良川の鶺鴒漁の技術」をはじめ、様々な文化財で構成される長良川鶺鴒文化を未来へと継承する本事業において、その利益は国民、特に市民が等しく享受すべきものである。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	従来「鶺鴒の総合的調査事業」として【 】総合調査を重視してきた本事業だが、令和2年度に事業全体を大きく見直し、「長良川鶺鴒文化未来継承事業」へと改善。鶺鴒文化の未来への継承を真の「目的」とし、ユネスコ無形文化遺産登録を目指す取組を「手段」として位置付けた。事業内容も、【 】魅力発信や【 】保存活用など、多岐にわたる事業が展開できるように再構築。当面は現状維持としつつも、常に課題意識を持ち、必要に応じて事業の改善を進めていく。令和3年度より観光事業特別会計（鶺鴒報償費）から66,000,000円組み換え

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660080 007

【1.基本情報】

事業名	日本遺産推進事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化財保護課		
実施方法	補助等	補助等の種類		その他補助金	実施主体	ぎふ歴史遺産活用推進協議会
開始・終了年度	平成 27 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	—	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		平成27年度に日本遺産第1号に認定された「信長公のおもてなしが息づく戦国城下町・岐阜」を全国にPRする。
内容 (手段・手法など)		情報発信、日本遺産ガイド育成、再現映像作成、日本遺産サミット等におけるPR事業等
事業 の 対象	何を	日本遺産による岐阜市の認知度向上、ブランド化、地域の誇りの醸成
	誰に	岐阜市民、全国の歴史ファン、観光客
	どのくらい	岐阜市民及び歴史ファン、観光客にサービスを提供
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		メタバース岐阜城制作公開事業、岐阜市文化財誘導看板作製・設置事業、岐阜市文化財説明板作製・設置事業および修繕事業、岐阜市日本遺産戦略検討WGマーケティング調査事業、日本遺産サミット等でのPR、日本遺産記事広告掲載、日本遺産文化財めぐりパンフレット作製事業等。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,292	40	1,272	40	1,288	40
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,292	40	1,272	40	1,288	40

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		6,117	15,133	39,002
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	負担金	6,117	15,133	39,002
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		6,117	15,133	39,002

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		7,409	16,405	40,290

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		4,086	8,368	17,472
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		4,086	8,368	17,472

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		3,323	8,037	22,818

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	岐阜市民、歴史ファン	岐阜市民、歴史ファン	岐阜市民、歴史ファン
受益者数	10,000	10,000	10,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	332	804	2,282

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	ツアーガイド育成数		単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	20	30	40	
実績値	18	41	41	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	満足度（ツアー参加者アンケート）		単位	%
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	90	90	90	
実績値	91	90	90	
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	国が認定する日本遺産をPRする事業であり、観光誘客にも効果が高い。 民間団体も含めた協議会で実施しているが、文化庁とも連携する必要があり、道三公・信長公のまちとして全国に発信し、本市の観光振興にも資するための事業として、市が関与する必要がある。 類似の事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	道三公や信長公を活かしたまちづくりや観光誘客を行う上で、効果が高い。 協議会だけでなく、民間団体と協働して道三公・信長公のまち岐阜をPRしていくことで、さらに都市ブランドを構築していくことができる。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	高	期待した効果が得られた。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	高	本市の魅力を来訪者が等しく受益するものであり適正である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	改善	「日本遺産」そのものの知名度を向上させることが必要であり、国や他の認定地域と連携して事業を進める必要がある。 道三公・信長公のまち岐阜を全国にPRするために、岐阜市観光マーケティング調査事業等を通じて、日本遺産を活用した岐阜市観光の情報発信を進める必要がある。 日本遺産の補助金は平成29年で終了。令和2年度から3か年計画にて、地域文化財総合活用推進事業（地域計画等）の補助金制度を活用。事業内容について随時検証していく必要がある。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号	0660080	008
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	岐阜市郷土の宝顕彰事業補助金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化財保護課		
実施方法	補助等	補助等の種類		団体事業補助金	実施主体	「郷土の宝」の顕彰事業を行う市内に活動拠点を有する団体
開始・終了年度	令和	5	年度～	年度	岐阜市補助金等交付規則 ・岐阜市郷土の宝顕彰事業補助金交付要綱	
				根拠法令・関連計画		

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		岐阜市に関わりのある「郷土の宝」を顕彰する事業を行う団体に対して補助することで、市民協働の推進を図るとともに、市民の地域に対する誇りを高める。
内容 (手段・手法など)		補助要綱に規定する「郷土の宝」の顕彰事業(講演会の開催・広報等)を行う団体に対して、補助金を交付する。
事業 の 対 象	何を	補助金
	誰に	補助要綱に規定する「郷土の宝」の顕彰活動を行う市内に活動拠点を有する団体
	どのくらい	講師謝金など補助対象経費の額の2分の1に相当する額(補助金額上限8万円)
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	773	24
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	0	0	773	24

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	160
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	補助金	0	0	160
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	0	160

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	933

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	933

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	-	-	岐阜市民
受益者数	0	0	401,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	2

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	郷土の宝顕彰活動団体数	単位	団体
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	-	-	1
実績値	-	-	2

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	岐阜市民であることに誇りを感じる割合	単位	%
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	-	-	50.0
実績値	-	-	46.8
達成状況	—	—	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	岐阜市に関わりのある「郷土の宝」を顕彰する事業を行う団体に対して補助することで、市民協働の推進に繋がるとともに、市民の地域に対する誇りを高めることに繋がる。 岐阜市に関わりのある「郷土の宝」の顕彰事業に要する経費の一部を補助するものであり、岐阜市が行う必要あり。 類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	補助金の交付に係る市の人的・費用的な負担はあるものの、それ以上の負担を要することになる「郷土の宝」の顕彰事業を市民団体が実施していくことに繋がるため、費用対効果は大きい。 市に代わって、市民団体が「郷土の宝」の顕彰事業を行うことが可能になり、効率的である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	市民団体活動の推進に繋がる上に、郷土の宝の顕彰にも寄与している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	補助対象要件を満たす全ての団体が補助金を申請できる制度であり、公平性は担保されている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	必要性、効率性、有効性、公平性を踏まえ、現状維持が望ましい。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号	0660080	009
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	岐阜市文化財未来継承事業補助金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	文化財保護課		
実施方法	補助等	補助等の種類	団体事業補助金	実施主体	指定文化財の継承事業を行う市内に活動拠点を有する団体	
開始・終了年度	令和5年度	～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市補助金等交付規則 ・岐阜市文化財未来継承事業補助金交付要綱	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		岐阜市に在する指定文化財の継承事業を行う団体に対して、経費の一部を補助することで、市民協働の推進を図るとともに、指定文化財が解除されることなく次世代へ継承していく。	
内容 (手段・手法など)		市内に在する指定文化財の継承事業(祭礼の実施・史跡の美化等)を事業を行う団体に対して、補助金を交付する。	
事業 の 対 象	何を	補助金	
	誰に	市内に在する指定文化財の継承活動を行う市内に活動拠点を有する団体	
	どのくらい	無形民俗文化財に係る芸能等の実施:消耗品費など補助対象経費の1/2に相当する額(補助金額上限180万円) 史跡等の美化活動の実施:消耗品費など補助対象経費の4/5に相当する額(補助金額上限4万円)	
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	2,318	72
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	0	0	2,318	72

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	2,846
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	補助金	0	0	2,846
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	0	2,846

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	5,164

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	5,164

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	-	-	岐阜市民
受益者数	0	0	401,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	13

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	指定文化財継承事業実施団体数	単位	団体
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	-	-	2
実績値	-	-	5

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	継承事業指定文化財解除件数	単位	件
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	-	-	0
実績値	-	-	0
達成状況	—	—	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	岐阜市に在する指定文化財が、解除されことなく次世代への継承されていくことに寄与している。
		岐阜市に在する指定文化財を次世代に継承するための事業に要する費用の一部を補助するものであり、岐阜市が行う必要あり。
		類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	補助金の交付に係る市の人的・費用的な負担はあるものの、それ以上の負担を要する指定文化財の継承事業を、市民団体が実施していくことに繋がるため、費用対効果は大きい。
		市に代わって市民団体が指定文化財の次世代へ継承事業を行うことが可能になり、効率的である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	市民協働の推進に繋がる上に、指定文化財の次世代への継承にも寄与している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	補助対象要件を満たす全ての団体が補助金を申請できる制度であり、公平性は担保されている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	必要性、効率性、有効性、公平性を踏まえ、現状維持が望ましい。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660090 001

【1.基本情報】

事業名	歴史博物館運営管理					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	歴史博物館		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和 60 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	岐阜市歴史博物館条例第3条	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深める生涯学習の場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与する。さらに、岐阜市の歴史的・文化的な魅力を全国に発信する観光拠点施設としての役割を果たす。
内容 (手段・手法など)		総合展示の維持・管理と特集展示、歴博セレクション及び企画展の開催、博物館資料の収集・管理および調査・研究
事業 の 対 象	何を	郷土岐阜の歴史・文化の学習機会と成果の発表の場
	誰に	岐阜市民及び市外からの観光客
	どのくらい	月曜日、祝日の翌日及び年末年始を除く毎日
令和5年度からの変 更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	50,388	1,560	82,680	2,600	66,976	2,080
パートタイム会計年度任用職員A	2,678	260	2,626	260	2,626	260
パートタイム会計年度任用職員B	864	180	900	180	936	180
計(A)	53,930	2,000	86,206	3,040	70,538	2,520

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		154,021	160,212	179,070
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	光熱水費	20,755	43,366	43,332
	資料購入費	0	2,453	4,427
	資料保存処理業務委託	2,200	2,420	2,420
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		154,021	160,212	179,070

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	207,951	246,418	249,608

【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	13	18,718
県支出金	0	0	0
市債	38,500	0	0
使用料・手数料	2,751	7,182	7,067
その他	385	731	307
計(F)	41,636	7,926	26,092

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	166,315	238,492	223,516

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	市民、市外からの観光客	市民、市外からの観光客	市民、市外からの観光客
受益者数	16,925	44,209	52,178
受益者負担額(千円)	2,751	7,182	7,067
受益者負担率(%)	1.3%	2.9%	2.8%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	9,827	5,395	4,284

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	特集展示・歴博セクション・企画展回数	単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	6	6	6
実績値	9	13	10

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	常設展示一日平均観覧者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	80	80	80
実績値	60	74	91
達成状況	× (未達成)	× (未達成)	○ (達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	市民が岐阜市の歴史を学び市の歴史を後世に伝えとともに、魅力を発信する施設として、市民・社会のニーズに込えている。 市民が岐阜市の歴史を学び市の歴史を後世に伝えとともに、魅力を発信する施設として、市が主体的に実施すべきである。 類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	資料の収集・保存及び調査・研究など短期的な収入に結びつきにくい業務があるが、長期的には有効と考えられる。 歴博ボランティアを導入し、総合展示室における体験指導及び補助と展示解説等を行っている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深める生涯学習の場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与できた。さらに、岐阜市の歴史的・文化的な魅力を全国に発信する観光拠点施設として展示等を通じ発信でき、トリップアドバイザー日本HP上で、当館は岐阜市内観光スポット137件中12位に位置している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	受益者(観覧者)に岐阜市歴史博物館条例に定める観覧料の負担を求める一方、岐阜市歴史博物館条例施行規則に定める市内小中学生、70歳以上の市内在住者、身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳交付者とその介護者1名、岐阜県家庭の日に観覧する中学生以下と同伴家族を無料とし、教育的配慮と公平な受益者負担に努めている。
【総合評価】 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くなっていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	平成17年3月にリニューアルして17年が経過した。その間、市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深める生涯学習の場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与できた。さらに、岐阜市の歴史的・文化的な魅力を全国に発信する観光拠点施設として展示等を通じ発信できた。 また、開館以来39年間、岐阜市とその周辺地域を中心とする歴史と文化に関わる資料を中心に収集・保存している。今後総合展示室のリニューアルを契機に更なる発信に努めていく。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660090 002

【1.基本情報】

事業名	歴史博物館総合展示室リニューアル事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名		歴史博物館	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	令和	3	年度～		年度	根拠法令・関連計画 岐阜市歴史博物館条例第3条

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		岐阜公園再整備関連事業と連携してリニューアル事業を行い、展示設備の更新・展示内容の充実を行い、本市固有の歴史文化の発信や活用を通じた地域の魅力向上を図り、入館者数・県外来館者の増加を図る。	
内容 (手段・手法など)		総合展示室の全面改修	
事業 の 対象	何を	郷土岐阜の歴史・文化の学習機会と成果の発表の場	
	誰に	岐阜市民及び市外からの観光客	
	どのくらい	月曜日、祝日の翌日及び年末年始を除く毎日	
令和5年度からの変更 点 (継続事業の場合)		—	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,615	50	8,268	260	8,372	260
パートタイム会計年度任用職員A	0		0		0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0		0		0	0
計(A)	1,615	50	8,268	260	8,372	260

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	463	2,939
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	報酬		100	118
	旅費		316	390
	委託料		0	2,420
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	463	2,939

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	1,615	8,731	11,311

【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金			1,379
県支出金			0
市債			0
使用料・手数料			0
その他			0
計(F)	0	0	1,379

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	1,615	8,731	9,932

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	市民、市外からの観光客	市民、市外からの観光客	市民、市外からの観光客
受益者数	16,925	44,209	52,178
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	95	197	190

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	総合展示室のリニューアル改修一式		単位	—
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	-	-	-	
実績値	-	-	-	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	常設展示一日平均観覧者数		単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	80	80	80	
実績値	60	74	91	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	市民が岐阜市の歴史を学び市の歴史を後世に伝えとともに、魅力を 発信する施設として、市民・社会のニーズに込えている。 市民が岐阜市の歴史を学び市の歴史を後世に伝えとともに、魅力を 発信する施設として、市が主体的に実施すべきである。 類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	展示設備の更新・展示内容の充実を行い、本市固有の歴史文化の発 信や活用を通じた地域の魅力向上を図ることにより、入館者数・県外来 館者の増加が見込める。 専門性を持たせつつ、他の関連事業と連携し広く市民に本誌固有の 文化の発信する展示室とするには、市が実施することが適当である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	岐阜市歴史博物館協議会に設置したりリニューアル部会を3回開催し、 令和4年度に策定した整備基本構想をもとに、岐阜公園の再整備や市 民(博物館ボランティア、中高生博物館学芸員ボランティア、博物館実 習生など)の意見を取り入れながら、市民、子ども、観光客のニーズに 応えることができる岐阜市歴史博物館に必要な機能、コンテンツを審 議し、整備基本計画を策定した。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	受益者(観覧者)に岐阜市歴史博物館条例に定める観覧料の負担を 求める一方、岐阜市歴史博物館条例施行規則に定める市内小中學生、 70歳以上の市内在住者、身体障害者手帳・精神障害者保健福祉 手帳・療育手帳交付者とその介護者1名、岐阜県家庭の日に観覧する 中学生以下と同伴家族を無料とし、教育的配慮と公平な受益者負担 に努めている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状 維持	平成17年3月にリニューアルして17年が経過し展示設備の老朽化及び 展示効果の低減がみられる。このため岐阜公園再整備関連事業と連 携してリニューアル事業を行い、本市固有の歴史文化の発信や活用を 通じた地域の魅力向上と共に入館者数・県外来館者の増加を図る。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号	0660090	003
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	歴史博物館特別展					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	歴史博物館		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	60	年度～	年度	根拠法令・関連計画 岐阜市歴史博物館条例第3条	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		市民が郷土を愛し、わが国および諸外国の歴史と文化に親しみ、その知識と理解を深め、豊かな市民文化の発展に寄与する。さらに、岐阜市の歴史的・文化的な魅力を全国に発信する観光拠点施設としての役割を果たす。	
内容 (手段・手法など)		特別展の開催、特別展に関する資料等の調査・研究	
事業 の 対 象	何を	郷土岐阜の歴史・文化および国内外の歴史・文化の学習および鑑賞機会の場	
	誰に	岐阜市民及び市外からの観光客	
	どのくらい	月曜日、祝日の翌日及び年末年始を除く毎日	
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		特別展「天下統一」を開催	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	25,194	780	0	0	8,372	260
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	25,194	780	0	0	8,372	260

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		28,695	0	7,407
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	開催負担金	23,771	0	0
	委託料等一式	4,618	0	7,407
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		28,695	0	7,407

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		53,889	0	15,779

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		2,139	0	4,251
その他		4,773	0	165
計(F)		6,912	0	4,416

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		46,977	0	11,363

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	市民、市外からの観光客	-	市民、市外からの観光客
受益者数	14,786	0	7,877
受益者負担額(千円)	6,341	0	4,251
受益者負担率(%)	11.8%	0.0%	26.9%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	3,177	0	1,443

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	特別展の開催日数		単位	日
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	80	0	80	
実績値	110	0	38	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	特別展一日平均観覧者数		単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	250	250	250	
実績値	134	0	207	
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	社会教育施設として市民に質の高い歴史、文化に身近に触れる機会を提供することで、学校教育、生涯学習に資するとともに、岐阜市を誇りとするシビックプライドを醸成し、あわせて市外からの集客を図る。 国宝、重要文化財の公開を適切に行うことができる施設及び人材を有している施設として、県内で唯一文化庁から公開承認施設の認定を受けるとともに、深く教育に関わり、市の文化行政と密接な連携を図る必要性から、市が主体的に実施すべきである。 類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	社会教育施設として、短期的な収益の向上のみを目指すのではなく、長期的な教育的効果の向上が重要である。 特別展開催にあたって、新聞社等より出資を得て実行委員会を組織して運営している。また、市民ボランティア及び中高生博物館学芸員の活用を図り事業を実施している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	市民の岐阜市を誇りとするシビックプライドの醸成、岐阜市の友好都市をはじめとする諸外国の文化と歴史の紹介と理解、さらに岐阜市に係る歴史と文化を発信する観光拠点施設として有効性が高い。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	各特別展実行委員会は経費を基に算出した特別展観覧料を設定し受益者（観覧者）に負担を求める一方、岐阜市歴史博物館条例施行規則に定める市内小中学生、70歳以上の市内在住者、身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳交付者とその介護者1名、岐阜県家庭の日に観覧する中学生以下と同伴家族を無料とする議決を行い、教育的配慮と公平な受益者負担に努めている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	市民が郷土を愛し、わが国および諸外国の歴史と文化に親しみ、その知識と理解を深めることができた。さらに、岐阜市の歴史的・文化的な魅力を全国に発信する観光拠点施設として展示を通じ発信できた。なお、学校教育との連携（博学連携）を前提としたものも多く、今後も効果的に展開していきたい。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660090 004

【1.基本情報】

事業名	歴史博物館教育普及					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	歴史博物館		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和 60 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	岐阜市歴史博物館条例第3条	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深め、豊かな市民文化の発展に寄与するとともに、学校教育の支援を行う。	
内容 (手段・手法など)		一般及び子ども・親子を対象にした、郷土の伝統文化に関わるものづくりや教養講座を開催するとともに、小学校の授業支援を行う。	
事業 の 対 象	何を	岐阜市の歴史や文化を学習する機会の提供	
	誰に	市民全般	
	どのくらい	9講座	
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		古文書入門・岐阜提灯を作る・岐阜和傘を作る・子ども歴史講座・夏の子ども教室・土曜講座・まちなか博士サポート講座・出前授業を実施した。 また、中高生博物館学芸員(SMC)による「見どころキャプション」の設置活動により、地域の歴史と文化を学ぶ場を提供した。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	8,398	260	8,268	260	8,372	260
パートタイム会計年度任用職員A	2,678	260	2,626	260	2,626	260
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	11,076	520	10,894	520	10,998	520

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		6,919	4,332	6,129
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	博物館だより印刷	474	478	499
	研究紀要印刷	0	501	0
	館蔵品図録印刷	979	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		6,919	4,332	6,129

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	17,995	15,226	17,127

【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	718	914	1,255
計(F)	718	914	1,255

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	17,277	14,312	15,872

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	市民全般	市民全般	市民全般
受益者数	151	297	344
受益者負担額(千円)	718	914	1,255
受益者負担率(%)	4.0%	6.0%	7.3%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	114,417	48,189	46,140

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	講座開催回数		単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	9	9	9	
実績値	7	8	9	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	講座延べ参加者数		単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値	1,180	1,180	1,180	
実績値	235	462	543	
達成状況	× (未達成)	× (未達成)	× (未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	高	子どもたちの郷土愛を醸成するためにも、学習指導要領に沿う形で郷土の歴史や文化に関する講座を開講することが重要であり、社会教育に対する市民・社会のニーズに合っている。 子どもたちの郷土愛を醸成するためにも、学校指導要領に沿う形で郷土の歴史や文化に関する講座の開講や、中高生博物館学芸員による展示説明等の活動を通し、生きる力とシビックプライドの醸成を図ることが必要である。これらは教育に深く関わることから市が主体的に実施すべきである。 類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) 【1】【3】【4】【5】【6】から	高	子どもたちに対する郷土教育は、今後の人生に対する希望と目標を与えるためのものであり、教育的効果は高いと思われる。 講座の開催にあたり、市が主催ということで、講師やボランティアの積極的な協力が得られている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深め、豊かな市民文化の発展に寄与するとともに、学校教育の支援を効果的にを行っている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	各講座ごとに受講料を設定し、受益者に費用の一部負担を求めている。ただし、土曜講座、まちなか博士サポート講座等、内部講師でありかつ材料費等の費用もかからないものは無料としている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深め、豊かな市民文化の発展に寄与するとともに、学校教育との連携・支援について積極的に調整を図り、効果的に開催することができた。 また、傘・提灯など郷土の伝統工芸品を扱う講座はもちろん、岐阜市の歴史を扱う講座を開講し歴史・文化の発信による市民のアイデンティティの醸成に寄与し、中学生ボランティアによる展示案内・解説等を行うことにより、郷土資源を活かした地域の誇りと、子どもの生きる力の醸成に顕著な成果が認められた。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660090 005

【1.基本情報】

事業名	加藤栄三・東一記念美術館運営管理					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	歴史博物館		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成 6 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	岐阜市歴史博物館条例第3条	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		市民が郷土を愛し、全国レベルの芸術文化に親しむ場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与する。さらに、岐阜市の芸術文化的な魅力を全国に発信する拠点施設として、観光面での大きな役割を果たす。
内容 (手段・手法など)		第1展示室において、加藤栄三・東一両画伯の作品を展示し画業を顕彰する。 第2展示室において、地元で活躍する画家・作家グループなどの作品を展示する。
事業 の 対象	何を	加藤栄三・東一両画伯およびふるさと岐阜にゆかりのある作家の作品を紹介
	誰に	岐阜市民及び市外からの観光客
	どのくらい	月曜日、祝日の翌日及び年末年始を除く毎日
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		-

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員A	7,519	730	7,373	730	7,373	730
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	7,519	730	7,373	730	7,373	730

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		13,651	13,221	15,447
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	ポスター等印刷	1,326	1,405	1,483
	作品輸送業務委託	3,359	4,011	3,467
	会場構成業務委託	491	455	453
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		13,651	13,221	15,447

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		21,170	20,594	22,820

【4.収入】

収入内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	4,200
使用料・手数料		383	516	629
その他		1,030	1,036	1,042
計(F)		1,413	1,552	5,871

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		19,757	19,042	16,949

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	市民、市外からの観光客	市民、市外からの観光客	市民、市外からの観光客
受益者数	5,706	5,777	5,704
受益者負担額(千円)	383	516	629
受益者負担率(%)	1.8%	2.5%	2.8%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	3,462	3,296	2,971

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	開催日数	単位	日
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	303	303	303
実績値	245	305	308

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	観覧者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	12,000	12,000	12,000
実績値	5,706	5,777	5,704
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	全国レベルの加藤栄三・東一両画伯の作品から郷土作家の作品までそれぞれの作品を展示することで、市民文化の発展に寄与している。 加藤栄三・東一両画伯の画業顕彰はもとより、地元作家を発掘し芸術活動を顕彰する場の提供は、専門知識を有し、地元の事情に精通し、調査から展示までを一貫して行うことが必要のため、市が主体的に実施すべきである。 類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	絵画を中心に全国レベルの郷土作家の作品を紹介し、費用以上の内容の展覧会を開催している。 市立美術館という公共性が背景にあって、レベルの高い展覧会の開催が可能となっている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	市民が郷土を愛し、全国レベルの芸術文化に親しむ場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与できた。さらに、岐阜市ゆかりの芸術の魅力年全国に発信するという独自のコンセプトにより、観光面での大きな役割を果たすことができた。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	受益者（観覧者）に岐阜市歴史博物館条例に定める観覧料の負担を求める一方、岐阜市歴史博物館条例施行規則に定める市内小中学生、70歳以上の市内在住者、身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳交付者とその介護者1名、岐阜県家庭の日に観覧する中学生以下と同伴家族を無料とし、教育的配慮と公平な受益者負担に努めている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	市民が郷土を愛し、全国レベルの芸術文化に親しむ場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与し、さらに、岐阜市ゆかりの芸術の魅力年全国に発信する独自のコンセプトによる拠点施設として、観光面での大きな役割を果たしてきた。 一方、加藤栄三・東一両画伯をはじめ郷土作家を中心とする資料を中心に収集・保存している。

事業評価シート(令和5年度事業評価用)

番号 0660090 006

【1.基本情報】

事業名	加藤栄三・東一記念美術館教育普及					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	歴史博物館		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成 6 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	岐阜市歴史博物館条例第3条	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		市民が郷土を愛し、芸術文化に親しみ、その体験・体感的な知識と理解を深める生涯学習の場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与する。	
内容 (手段・手法など)		絹絵・版画教室および親子絵画教室の開催	
事業 の 対 象	何を	芸術文化に親しみ、自ら学ぶための機会の提供	
	誰に	市民全般	
	どのくらい	3講座	
令和5年度からの変更点 (継続事業の場合)		—	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和3年度決算額		令和4年度決算額		令和5年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員A	515	50	505	50	505	50
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	515	50	505	50	505	50

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		243	244	238
直接事業費の 主な内訳		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
項目	報償費	230	230	230
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		243	244	238

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	758	749	743

【4.収入】

収入内訳	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	81	81	199
計(F)	81	81	199

【5.収支】

市負担額一般 財源(E - F)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)	令和5年度決算額(千円)
	677	668	544

【6.コストバランス】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業受益者	市民全般	市民全般	市民全般
受益者数	58	55	50
受益者負担額(千円)	81	81	199
受益者負担率(%)	10.7%	10.8%	26.8%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	11,672	12,145	10,880

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	講座開催回数	単位	回
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	3	3	3
実績値	3	3	3

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	講座延べ参加者数	単位	人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	450	450	450
実績値	210	203	186
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 目的が市民・社会のニーズに合っているか 事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） 類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか 【1】【2】から	中	社会教育施設として市民が芸術文化に親しみ、スキルアップを図るための講座であり、市民・社会のニーズに応えている。 専門家を講師に迎え、芸術文化への入り口及び創作技術の面で、初級者の段階の市民のスキルアップを図る講座であり、広く市民を対象にした講座であるため、市が主体的に実施すべきである。 類似事業はない。
効率性 費用対効果 他に効率的な方法はないか （広域・民間活用・市民協働など） 【1】【3】【4】【5】【6】から	中	講座修了生がより高いレベルの芸術鑑賞者となることが期待でき、市の芸術文化の水準向上が効率的にできると考えられる。 専門性を持たせつつ、広く市民に聞かれた講座とするためには、市が主催することが適当である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か 【2】【7】から	中	市民が郷土を愛し、芸術文化に親しみ、その体験・体感的な知識と理解を深める生涯学習の場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与することが重要であり、効果的に機会を提供できている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か 【2】【6】【7】から	中	各講座ごとに受講料を設定し、受益者に費用の一部負担を求めている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	市民が郷土を愛し、芸術文化に親しみ、その体験・体感的な知識と理解を深める生涯学習の場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与することが重要であり、内容を吟味し効果的に開催することができた。今後も事業を継続し、美術館ならではのノウハウを生かした、教育普及方策の多様化を図っていく。